

岩手医科大学 健康管理センター年報

～平成27・28年度～





はじめに

岩手医科大学
健康管理センター長

石垣 泰

関係各位の皆様におかれましては、平素より健康管理センターの業務にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

私がセンター長の任につき2年近くが経過しましたが、この間にもいくつかの出来事や変更・改訂がありました。現在、健康管理センターは、室長以下事務職員3名、保健師5名、臨床心理士2名に加えて、産業医3名、学校医3名（兼務）のメンバーで内丸地区と矢巾地区を行き来しながら活動しております。長年にわたって管理業務を担っていた看護師長に代わって、今年度から保健師と臨床心理士それぞれに主任を配置いたしました。これまで看護師長はセンターの顔として交渉事を一手に引き受けてこられました。職種毎に責任者がはっきりしたことで業務が見えやすくなったのではないかと思います。

健診は当センターのもっとも重要な業務です。昨年度に引き続き今年度も、病院職員の健診受診率が100%を達成できました。病院長に檄を飛ばしていただいたことに加えて、職員の皆様の高い職業意識のおかげと考えております。職員健診の効率化を図るべく中央臨床検査部と相談を重ね、心電図検査の当日施行や尿検査システムの改訂といった変更を試み、概ね良好な成果が得られているものと思います。

また次年度からは学生健診において胸部レントゲン検査を全学年に施行する、健診内容を効率化するなどの変更を考えています。さらには、臨床実習で患者に接するには健診を受ける必要があることを啓発して、学生の受診率100%を目指していきます。

メンタルケアの重要性が高まっており、健康管理センターへの相談件数も増加しています。臨床心理士が中心となり、問題を抱えた学生に対しては学生部や担任の先生方、教務課と連携しながらきめ細かい対応を行っています。

また職員に対しても、産業医、精神科の先生と保健師及び臨床心理士が協力して対応に努めております。昨年度から職員を対象にストレスチェックを実施しており、自身の精神的不調に早く気づいていただくとともに、プライバシーを守りながら相談できる体制を整えています。

このように、健康管理センターの業務は非常に多岐にわたっており、多くの職員の方々に支えられています。患者さんに健康の大切さを説く私たち医療者は、まず自分たちの健康に対する意識を考えてみなければなりません。

岩手医科大学の職員・学生の皆様が元気で活躍を続けられるよう、健康管理センターの活動を充実させていきたいと考えています。

目次

序文

はじめに：健康管理センター長 石垣 泰	1
---------------------	---

【平成 27 年度】

I 平成 27 年度健康管理センター管理体制

1. 沿革	5
2. 組織図	6
3. 規程	7
4. 健康管理センタースタッフ、運営委員会委員	9
5. 健康管理センター体制	10
6. 各種委員会・会議開催状況	11
7. 健康管理センター各室	12

II 平成 27 年度事業報告

1. スケジュール（健康診断等及びワクチン接種日程）	15
2. 学生健康管理実施状況	
1) 学生健康診断	16
2) 各種ワクチン接種	23
3) 心理検査	25
4) 学生喫煙アンケート	27
3. 職員健康管理実施状況	
1) 職員健康診断	
(1) 一般健康診断	28
(2) 特殊健康診断	33
(3) その他	35
2) 各種ワクチン接種	37
3) 長時間労働者への産業医による面接指導	41
4) 職場巡視	41
5) 針刺し粘膜曝露事故対応	42

III 平成 27 年度健康管理センター利用状況

1. 健康相談	45
2. 健康相談利用状況の比較	46
3. 心理相談（健康管理センター相談室）	46
4. 心理相談利用状況の比較	47
5. 職場復帰支援	47

IV 平成 27 年度メンタルヘルス支援

1. セミナー	49
2. メンタルヘルス講義	50
3. 教職員のための学生相談ハンドブック	50
4. ラインケア研修	50
5. 震災支援	51

V 平成 27 年度健康教育・啓発活動

1. 健康教育	53
2. 啓発活動	54

VI 平成 27 年度学会・研修会

学会・研修会等参加状況	65
-------------	----

【平成 28 年度】

I	平成 28 年度健康管理センター管理体制	
1.	沿革	67
2.	組織図	68
3.	規程	69
4.	健康管理センタースタッフ、運営委員会委員	71
5.	健康管理センター体制	72
6.	各種委員会・会議開催状況	73
7.	健康管理センター各室	74
II	平成 28 年度事業報告	
1.	スケジュール（健康診断等及びワクチン接種日程）	77
2.	学生健康管理実施状況	
1)	学生健康診断	78
2)	各種ワクチン接種	87
3)	心理検査	89
3.	職員健康管理実施状況	
1)	職員健康診断	
(1)	一般健康診断	91
(2)	特殊健康診断	96
(3)	その他	98
2)	各種ワクチン接種	100
3)	長時間労働者への産業医による面接指導	104
4)	ストレスチェック	104
5)	職場巡視	105
6)	針刺し粘膜曝露事故対応	106
III	平成 28 年度健康管理センター利用状況	
1.	健康相談	109
2.	健康相談利用状況の比較	110
3.	心理相談	110
4.	心理相談利用状況の比較	111
5.	職場復帰支援	111
IV	平成 28 年度メンタルヘルス支援	
1.	セミナー	113
2.	メンタルヘルス講義	114
3.	教職員のための学生相談ハンドブック	114
4.	ラインケア研修	114
5.	震災支援	115
V	平成 28 年度健康教育・啓発活動	
1.	健康教育	117
2.	啓発活動	119
VI	平成 28 年度学会・研修会	
1.	学会・研修会等参加状況	129

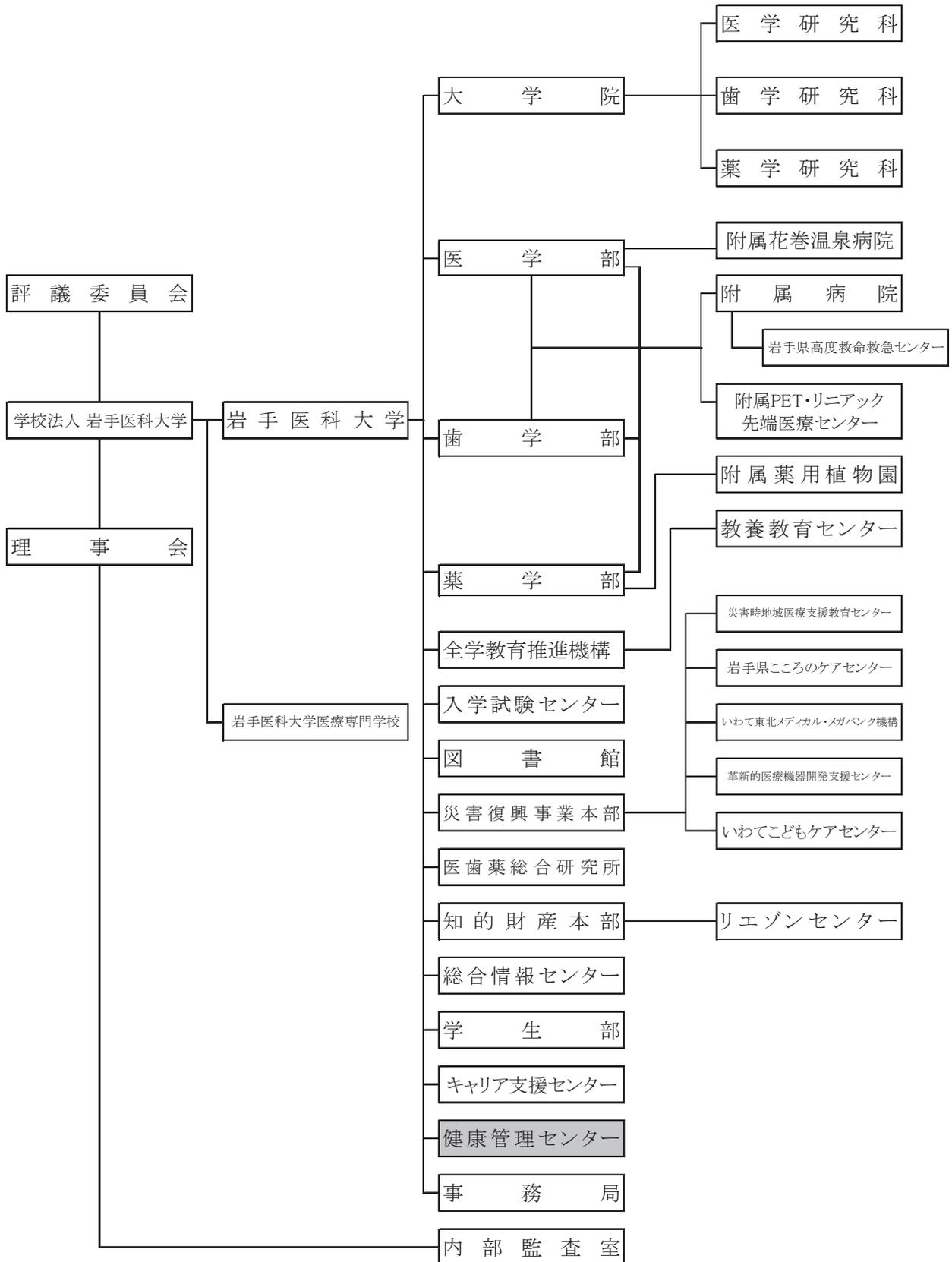
I 平成 27 年度健康管理センター 管理体制

I 平成 27 年度健康管理センター管理体制

1. 沿革

- 平成 17 年 4 月 1 日 健康管理センター設置
- 健康管理センター規程制定
- 鈴木一幸附属病院副院長が健康管理センター長兼務
- 健康管理センターが 8 号館 1 階に新設
- 平成 18 年 6 月 1 日 神経精神科学講座酒井明夫教授がセンター長就任
- 平成 18 年 7 月 25 日 健康管理センターだより創刊号発行
- 平成 19 年 4 月 1 日 矢巾キャンパス竣工 薬学部・共通教育センター開設に伴い、矢巾キャンパスに健康管理センター設置
- 産業医規程、学校医規程、学生健康診断規程制定
- 平成 19 年 10 月 29 日 健康管理センターが現場所 2 号館 2 階に移転
- 平成 20 年 6 月 1 日 整形外科学講座嶋村正教授がセンター長就任
- 平成 22 年 4 月 1 日 健康管理センター事務室設置
- 平成 23 年 12 月 19 日 外来診療棟 3 階に健康管理室（休養室）新設
- 平成 24 年 4 月 1 日 事務局組織機構図の一部改正に伴い、総務部健康管理センター事務室に改正
- 平成 25 年 4 月 1 日 眼科学講座黒坂大次郎教授がセンター長就任
- 平成 26 年 7 月 22 日 休養室が東病棟 1 階に移転

2. 組織図



3. 規程

1) 岩手医科大学組織規程（抜粋）

第8章健康管理センター

（健康管理センター）

第38条 本学に健康管理センターをおく。

- 2 健康管理センターにセンター長、必要により副センター長をおくことができる。
- 3 センター長、副センター長は、学長が人事委員会に諮って選考し、理事会の議を経て理事長が任命する。その任期は3年とし再任を妨げない。
- 4 センター長は所属する職員を指導監督し、健康管理センターの管理運営にあたる。
- 5 副センター長はセンター長を補佐し、センター長事故あるときはその職務を代理する。
- 6 健康管理センターに師長をおく。
- 7 師長は学長が人事委員会の意見を聞いてこれを任命する。
- 8 師長はセンター長、副センター長の指揮の下に所属職員を指導監督し、センターの円滑な管理運営にあたる。
- 9 健康管理センターの管理運営については、別に定める。

（センターの事務）

第38条の2 健康管理センターに健康管理センター事務室を設け、事務員をおくことができる。

- 2 健康管理センター事務室の事務分掌及び業務の処理については別に定める。

2) 岩手医科大学健康管理センター規程

第1条 岩手医科大学の学生、職員等の健康管理を一元的に行うため、健康管理センター（以下「センター」という。）を置く。

第2条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 定期・臨時の健康診断に関すること。
- (2) 健康診断後の必要な指導に関すること。
- (3) 健康相談に関すること。
- (4) 精神衛生に関すること。
- (5) 環境衛生及び感染症の予防に関すること。
- (6) 学内保健計画の立案に関すること。
- (7) 急患に関する応急処置に関すること。
- (8) その他健康管理に関すること。

第3条 センターに次の各号に掲げる職員を置く。ただし、兼務によることを妨げない。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 医師
- (4) 師長
- (5) 看護師
- (6) 保健師
- (7) 臨床心理士
- (8) 事務員

2 センター長は医学部臨床系教授の兼務とし、副センター長は医師の兼務とする。センター長、副センター長の任命は組織規程の定めるところによる。

3 師長は看護師、保健師及び臨床心理士の内から学長が人事委員会の意見を聞いて任命する。

4 センターの業務を円滑に実施するため、関連部署との連携に留意するものとし、特に感染症予防については感染症対策室と密接に連携を図るものとする。

第4条 センターに健康管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第5条 委員会は、センター長を委員長とし、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 副センター長
- (2) 学生部長
- (3) 学生副部長
- (4) 病院長
- (5) 産業医 1 名
- (6) 学校医 1 名
- (7) 事務局長
- (8) 学務部長
- (9) 病院事務部長
- (10) 看護部長
- (11) 総務部長
- (12) 人事職員課長
- (13) 学事総務課長
- (14) 健康管理センター師長
- (15) その他委員会が必要と認める者

第 6 条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 学内保健計画に関する事項
- (2) 健康管理の維持改善に関する事項
- (3) その他センター長が必要と認めた事項

2 委員会は、必要ある場合センター長が招集し、その議長となる。

第 7 条 委員会の事務は健康管理センターが行う。

第 8 条 この規程の改廃は、健康管理センター運営委員会の審議を経て健康管理センター長が行う。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

この規程は、平成18年2月10日から施行する。

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

〃	高橋 俊雄	事務局長
〃	横澤 正浩	学務部長
〃	齊藤 俊哉	病院事務部長
〃	吉田 秀樹	総務部長
〃	三浦 幸枝	看護部長
〃	寺舘 武志	人事職員課長
〃	澤田 幸司	学事総務課長
〃	佐々木 志津子	健康管理センター・師長

健康管理センタースタッフ（平成 27 年 4 月 1 日現在）

<内丸キャンパス>

職名	氏名	備考
センター長（兼）	黒坂 大次郎	眼科学講座・教授 平 25. 4. 1～
師長	佐々木 志津子	平 26. 4. 1～
保健師	名郷根 郁子	平 22. 3. 30～
〃	赤井 純子	平 27. 4. 1～
臨床心理士	畠山 秀樹	平 18. 4. 1～

<矢巾キャンパス>

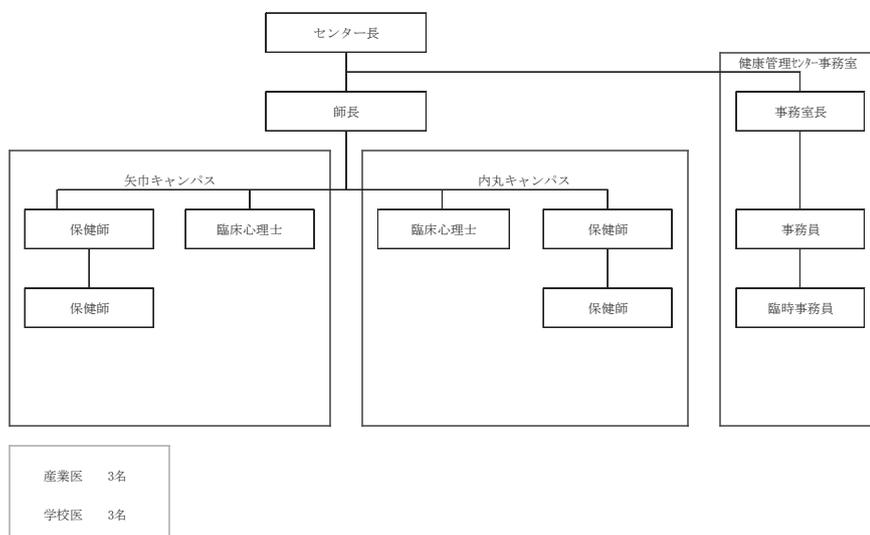
職名	氏名	備考
保健師	藤井 ヌイ子	平 18. 4. 1～
〃	村山 美保	平 21. 11. 1～
臨床心理士	氏家 真梨子	平 26. 4. 1～

<健康管理センター事務室>

職名	氏名	備考
室長	藤枝 重彦	平 26. 4. 1～
事務員	米澤 法子	平 27. 4. 1～
臨時事務員	及川 晴恵	平 23. 11. 1～

5. 健康管理センター体制

<平成 27 年度>



6. 各種委員会・会議開催状況

1) 健康管理センター運営委員会

第1回健康管理センター運営委員会
日時：平成27年7月29日（水）15：00～
場所：循環器医療センター3階 会議室

第2回健康管理センター運営委員会
日時：平成28年2月26日（金）11：00～
場所：創立60周年記念館10階 会議室

2) 学事総務課・教務課・専門学校打ち合わせ会議

第1回学事総務課・教務課・専門学校打ち合わせ会議
日時：平成27年10月2日（金）13：30～
場所：歯学部4階 会議室、矢巾キャンパス本部棟4階小会議室（TV会議）

3) 健康管理センターミーティング

日時：毎月第三水曜日 11：10～
場所：内丸キャンパス健康管理センター

7. 健康管理センター各室
【内丸キャンパス】



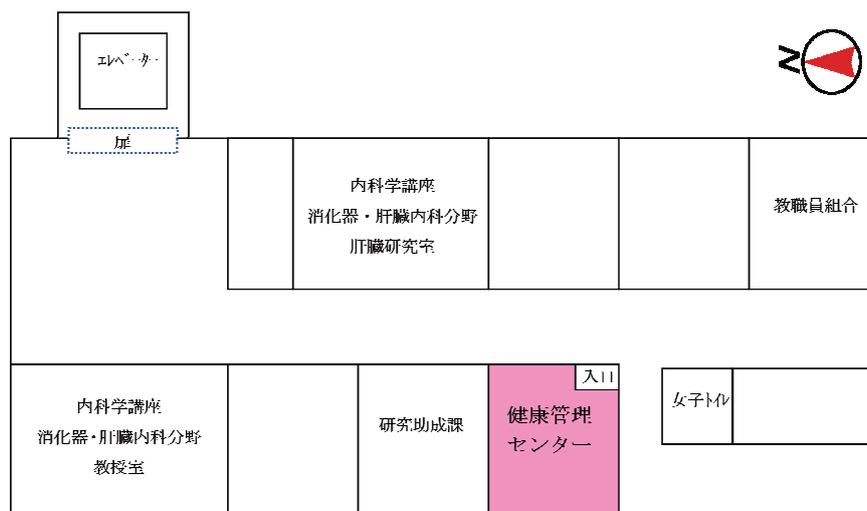
休 養 室



相 談 室



健康管理センター



医学部2号館・2階・214室

※休養室と相談室は別の場所にあります。
※休養室：東病棟1階 相談室：記念館8階

【矢巾キャンパス】



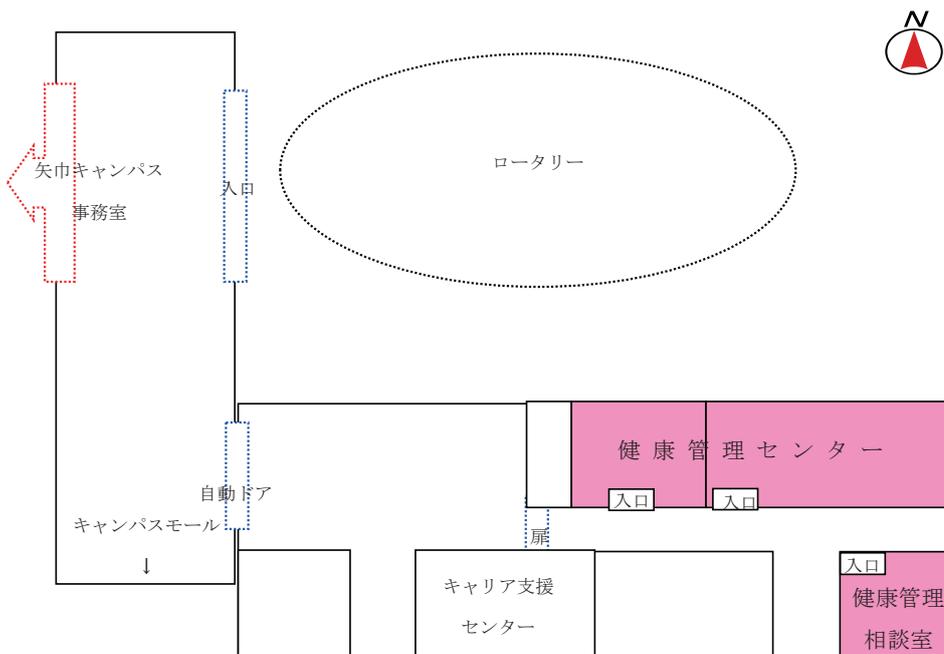
休 養 室



相 談 室



健康管理センター



東研究棟 1階 104・105・106 室

Ⅱ 平成 27 年度事業報告

II 平成 27 年度事業報告

1. スケジュール（健康診断等及びワクチン接種日程）

	職 員	学 生
4月	23日(木)～5月7日(木) 有機溶剤・特定化学物質調査及び問診票(対象者)	
5月	15日(金)～6月5日(金) 電離放射線業務従事者問診票(対象者) 21日(木)・22日(金)花巻温泉病院 25日(月)～29日(金)内丸キャンパス 定期健康診断 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) B型肝炎ワクチン接種前検査(希望者) C型肝炎抗体検査(希望者) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎抗体検査(小児病棟新規配属者)	1日(金)、7日(木)・8日(金)矢巾キャンパス 健康診断 B型肝炎ワクチン接種前検査(医・歯・薬4年) 12日(火)内丸キャンパス 健康診断 B型肝炎ワクチン接種前検査(歯衛生・歯技工1年)
6月	2日(火)・3日(水)矢巾キャンパス 定期健康診断 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) B型肝炎ワクチン接種前検査(希望者) C型肝炎抗体検査(希望者) 25日(木) 石綿健康診断(対象者)	4日(木)・5日(金) B型肝炎ワクチン1回目接種(医・歯・薬4年、歯衛生・歯技工1年)
7月	21日(火)・22日(水) B型肝炎ワクチン1回目接種(対象者) 28日(火)～8月6日(木) VDT健診	2日(木)・3日(金) B型肝炎ワクチン2回目接種(医・歯・薬4年、歯衛生・歯技工1年)
8月	18日(火)・19日(水) B型肝炎ワクチン2回目接種(対象者)	
9月	2日(水)・3日(木) VDT健診(要検査者) 7日(月)～25日(金)内丸キャンパス 28日(月)花巻温泉病院 胃検診(40歳以上の希望者) 15日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種(対象者)	
10月	1日(木)～13日(火) 有機溶剤・特定化学物質調査及び問診票(対象者) 29日(木)～11月13日(金) 電離放射線業務従事者問診票(対象者) 22日(木)・23日(金)矢巾キャンパス・インフルエンザワクチン接種(希望者) 24日(土)～30日(金)内丸キャンパス・花巻温泉病院・インフルエンザワクチン接種(希望者)	
11月	10日(火)～13日(金) 特定業務従事者健康診断(対象者) 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) 17日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種(対象者)	
12月	7日(月)～11日(金) 大腸がん検診(40歳以上の希望者) 17日(木) 石綿健康診断(対象者) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種後採血(対象者)	3日(木)・4日(金) B型肝炎ワクチン3回目接種(医・歯・薬4年、歯衛生・歯技工1年)
1月	19日(火)・20日(水) B型肝炎ワクチン3回目接種(対象者)	7日(木)・8日(金) B型肝炎ワクチン接種後採血(医・歯・薬4年) 14日(木) B型肝炎ワクチン接種後採血(歯衛生・歯技工1年)
2月	16日(火)・17日(水) B型肝炎ワクチン接種後採血(対象者)	4日(木) B型肝炎ワクチン追加接種(医・歯・薬4年、歯衛生・歯技工1年)
3月	1日(火) B型肝炎ワクチン追加接種(対象者) 26日(土) 雇入時健康診断 29日(火)・30日(水) B型肝炎ワクチン追加接種後採血(対象者)	3日(木) B型肝炎ワクチン追加接種後採血(医・歯・薬4年、歯衛生・歯技工1年)

2. 学生健康管理実施状況

1) 学生健康診断

(1) 学部

<健診項目>

全学年共通：身長・体重・血圧測定、内科診察、視力検査、眼科診察、耳鼻科診察

1年生：全学共通＋胸部X線撮影、尿検査、血液検査、歯科健診

4年生：全学共通＋胸部X線撮影、尿検査、血液検査

※健診対象外は、休学・退学者

<実施日>

矢巾キャンパス：平成27年5月1日（金）、7日（木）、8日（金）

内丸キャンパス：平成27年5月12日（火）

<結果集計>

	在籍者		対象者外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳						医療機関受診者					
	男	女					A		B-1		B-2				C-1		C-2	
							特記事項なし	要経過観察	要指導	要治療継続	要受診	要受診						
1年	92	37	129	0	129	100.0%	32	23	0	7	67	36	53.7%					
2年	77	46	123	0	123	100.0%	71	21	2	3	26	7	26.9%					
3年	97	39	136	0	136	100.0%	71	29	0	9	27	8	29.6%					
4年	92	39	131	0	131	100.0%	32	26	0	3	70	19	27.1%					
5年	102	38	140	2	138	98.6%	62	32	2	8	32	6	18.8%					
6年	98	37	135	0	135	100.0%	66	21	0	10	38	6	15.8%					
1年	47	32	79	0	79	98.7%	20	12	0	6	40	18	45.0%					
2年	44	23	67	0	67	100.0%	27	12	0	4	24	7	29.2%					
3年	32	26	58	0	58	100.0%	22	9	2	6	19	1	5.3%					
4年	26	16	42	1	41	100.0%	5	9	0	1	26	4	15.4%					
5年	37	20	57	1	56	100.0%	24	11	1	1	19	1	5.3%					
6年	65	18	83	0	83	100.0%	38	6	1	3	35	9	25.7%					
1年	83	92	175	1	174	97.7%	31	34	1	14	90	39	43.3%					
2年	92	114	206	1	205	100.0%	70	36	2	16	81	30	37.0%					
3年	58	89	147	0	147	98.6%	71	16	2	7	49	9	18.4%					
4年	62	87	149	0	149	100.0%	26	33	0	8	82	26	31.7%					
5年	51	71	122	0	122	100.0%	47	17	1	10	47	9	19.1%					
6年	74	86	160	1	159	99.4%	76	23	2	10	47	15	31.9%					
合計	1229	910	2139	7	2132	2122	99.5%	791	370	16	126	819	30.5%					

<結果>

対象：全学年

要受診判定項目の内訳

		対象者	受診者	内科	高血圧	眼科	耳鼻科
医学部	1年	129	129	2	6	29	0
	2年	123	123	2	1	23	0
	3年	136	136	4	1	24	0
	4年	131	131	4	7	28	0
	5年	138	136	0	4	26	0
	6年	135	135	1	16	21	0
歯学部	1年	79	78	3	7	24	0
	2年	67	67	0	2	22	0
	3年	58	58	1	1	19	0
	4年	41	41	1	2	14	0
	5年	56	56	0	3	18	0
	6年	83	83	1	9	29	0
薬学部	1年	174	170	2	6	64	0
	2年	205	205	6	9	70	0
	3年	147	145	2	2	45	0
	4年	149	149	2	9	36	0
	5年	122	122	0	4	45	0
	6年	159	158	3	4	44	0
合計		2132	2122	34	93	581	0

対象：1・4年

血液検査：要受診項目

		対象者	受診者	WBC	RBC	Hb	Ht	MCH	PLT	クレアチニン	UA	AST	ALT	γ-GTP	HD L-C	LD L-C	TG	血糖	HbA1c
医学部	1年生	129	129	4	0	0	0	0	0	1	2	12	27	9	0	3	1	0	0
	4年生	131	131	6	0	0	0	0	1	4	3	3	14	4	0	8	3	0	0
歯学部	1年生	79	78	1	0	0	0	0	0	0	1	3	12	3	0	0	0	0	0
	4年生	41	41	4	0	0	0	0	1	0	1	3	6	4	0	3	3	1	1
薬学部	1年生	174	170	3	2	0	0	0	1	0	7	6	25	3	0	5	3	0	1
	4年生	149	149	6	1	0	0	0	0	0	5	12	28	10	0	7	7	1	2
合計		703	698	24	3	0	0	0	3	5	19	39	112	33	0	26	17	2	4

対象：1・4年

尿検査：要受診項目

		対象者	受診者	尿糖	尿蛋白
医学部	1年	129	129	0	0
	4年	131	131	0	27
歯学部	1年	79	78	1	5
	4年	41	41	1	9
薬学部	1年	174	170	2	1
	4年	149	149	4	21
合計		703	698	8	63

対象：1・4年
胸部X線撮影

		対象者	受診者	判定内容		
				異常なし	要経過観察	要精密検査
医学部	1年	129	129	128	1	0
	4年	131	131	131	0	0
歯学部	1年	79	78	77	1	0
	4年	41	41	41	0	0
薬学部	1年	174	170	169	1	0
	4年	149	149	146	1	2
合計		703	698	692	4	2

対象：1年
歯科健診

	在籍者			対象外 健診	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳（人数）										医療機関 受診者数 （率）	
	男	女	計					A 良好	B 要指導	要受診			要受診合計						
										C-1 要精密検査	C-2 要治療								
医学部	92	37	129	0	129	129	100.0%	67	(51.9%)	15	(11.6%)	17	(13.2%)	30	(23.3%)	47	(36.4%)	16	(34.0%)
歯学部	47	32	79	0	79	77	97.5%	45	(58.4%)	10	(13.0%)	9	(11.7%)	13	(16.9%)	22	(28.6%)	7	(31.8%)
薬学部	83	92	175	1	174	170	97.7%	71	(41.8%)	35	(20.6%)	18	(10.6%)	46	(27.1%)	64	(37.6%)	11	(17.2%)
合計	222	161	383	1	382	376	98.4%	183	(48.7%)	60	(16.0%)	44	(11.7%)	89	(23.7%)	133	(35.4%)	34	(25.6%)

(2) 大学院生

<健診項目>

職員定期健康診断に準ずる

<実施日>

内丸キャンパス 平成27年5月25日(月)～29日(金)

矢巾キャンパス 平成27年6月2日(火)・3日(水)

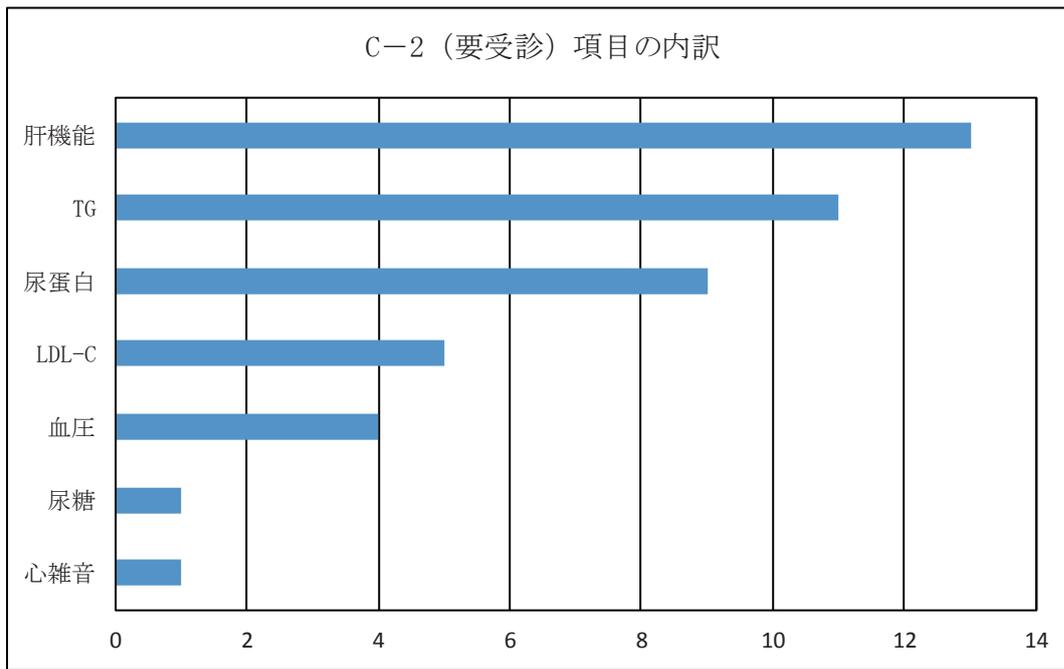
<結果集計>

	在籍者	健診対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳			
						A 特記事項なし	B 要経過観察	C-1 要治療継続	C-2 要受診
医学部 修士	1年	1	0						
	2年	3	2	2	100.0%	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)
医学部 博士	1年	41	18	18	100.0%	7 (38.9%)	7 (38.9%)	0 (0.0%)	4 (22.2%)
	2年	34	13	13	100.0%	7 (53.8%)	2 (15.4%)	1 (7.7%)	3 (23.1%)
	3年	34	7	26	96.3%	12 (46.2%)	6 (23.1%)	3 (11.5%)	5 (19.2%)
	4年	50	8	42	100.0%	12 (28.6%)	17 (40.5%)	2 (4.7%)	11 (26.2%)
歯学部 博士	1年	3	2	2	100.0%	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	2年	11	0	11	100.0%	4 (36.4%)	4 (36.4%)	0 (0.0%)	3 (27.2%)
	3年	13	0	13	100.0%	2 (15.4%)	6 (46.2%)	2 (15.4%)	3 (23.0%)
	4年	5	0	5	100.0%	1 (20.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
薬学部 博士	1年	4	1	3	100.0%	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)
	2年	5	2	3	100.0%	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)
	3年	2	2	0					
合計	206	67	139	138	99.3%	45 (32.6%)	51 (37.0%)	8 (5.8%)	34 (24.6%)

※健診対象外：休学者、本学以外での研修者・勤務者等

※本学以外での研修者・勤務者等の健診結果 52名中40名提出 (提出率：76.9%)

<結果>



n = 34 (複数該当あり)

(3) 医療専門学校

<健診項目>

全学共通：身長・体重・血圧測定、内科診察、視力検査、眼科診察、耳鼻科診察
 1年生：全学共通+胸部X線撮影、尿検査、血液検査、歯科健診
 ※健診対象外は、休学・退学者

<実施日>

内丸キヤンパス：平成27年5月12日（火）
 矢巾キヤンパス：平成27年5月7日（木）

<結果集計>

	在籍者		対象者外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳						医療機関受診者	
	男	女					計	A 特記事項なし	B-1 要経過観察	B-2 要指導	C-1 要治療継続	C-2 要受診	要受診	要受診
歯科技工 学科	1年	11	8	19	0	19	100.0%	2	2	0	0	0	15	3
	2年	1	9	10	0	10	100.0%	2	1	0	1	6	2	
歯科衛生 学科	1年	0	33	33	0	33	100.0%	3	4	1	0	25	22	
	2年	0	37	37	0	37	100.0%	18	8	0	2	9	7	
	3年	0	40	40	0	40	100.0%	21	7	0	5	7	2	
合計	12	127	139	0	139	100.0%	46	22	1	8	62	36		

<結果>

対象：全学年

要受診判定項目の内訳

		対象者	受診者	内科	高血圧	眼科	耳鼻科
技工学科	1年	19	19	0	2	11	0
	2年	10	10	0	0	6	0
衛生学科	1年	33	33	0	1	11	0
	2年	37	37	0	1	9	0
	3年	40	40	0	0	7	0
合計		139	139	0	4	44	0

対象：1年

血液検査：要受診項目

	対象者	受診者	WBC	RBC	Hb	Ht	MCH	PLT	クレアチニン	UA	AST	ALT	γ-GTP	HD L-C	LD L-C	TG	血糖	HbA1c
技工学科	19	19	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	1	0	0
衛生学科	33	33	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6	0	1	0
合計	52	52	2	0	0	0	0	0	0	0	1	5	1	0	6	1	1	0

対象：1年

尿検査：要受診項目

	対象者	受診者	尿糖	尿蛋白
技工学科	19	19	0	3
衛生学科	33	33	0	7
合計	52	52	0	10

対象：1年

胸部X線撮影

	対象者	受診者	判定内容		
			異常なし	要経過観察	要精密検査
技工学科	19	19	19	0	0
衛生学科	33	33	30	1	2
合計	52	52	49	1	2

対象：1年

歯科健診

	在籍者			対象者 対象外	受診者	受診率	総合判定の内訳 (人数)										医療機関 受診者	
	男	女	計				A 良好	B 要指導	要受診				要受診 合計					
									C-1 要精密検査		C-2 要治療							
技工学科	11	8	19	0	19	100.0%	15	(78.9%)	3	(15.8%)	0	(0.0%)	1	(5.3%)	1	(5.3%)	0	(0.0%)
衛生学科	0	33	33	0	33	100.0%	21	(63.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	12	(36.4%)	12	(36.4%)	7	(58.3%)
合計	11	41	52	0	52	100.0%	36	(69.2%)	3	(5.8%)	0	(0.0%)	13	(25.0%)	13	(25.0%)	7	(53.8%)

2) 各種ワクチン接種

(1) B型肝炎ワクチン接種

<対象者>

医学部 4 年、歯学部 4 年、薬学部 4 年

歯科技工学科 1 年、歯科衛生学科 1 年

※本学において、過去に接種済みの学生は対象から除く

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成 27 年 5 月 7 日、12 日

対象者	ワクチン接種前抗体価検査結果		
	陽性	不十分	陰性
339	5	6	328

<ワクチン接種対象者>

334 名：抗体価不十分・陰性と判定された学生

<日程>

ワクチン接種 1 回目	6 月 4 日、5 日
ワクチン接種 2 回目	7 月 2 日、3 日
ワクチン接種 3 回目	12 月 3 日、4 日
ワクチン 3 回接種後抗体価検査	1 月 7 日、8 日、14 日
ワクチン追加接種	2 月 4 日
ワクチン追加接種後抗体価検査	3 月 3 日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	採血者	ワクチン接種後抗体価検査結果		
				陽性	不十分	陰性
1 回接種	6	6	6	6	0	0
3 回接種	328	321	320	260	45	15
3 回接種後追加接種	60	59	53	23	24	6

※追加接種の対象者は、ワクチン 3 回接種後の抗体価検査で不十分・陰性と判定された学生

(2) インフルエンザワクチン接種

<接種日>

内丸キャンパス：平成27年10月24日（土）、26日（月）～30日（金）、11月5日（木）

矢巾キャンパス：平成27年10月22日（木）、23日（金）

学部	学年	対象者数 (人)	接種者数 (人)	本学での接種率 (%)		
				学部・学年	学部	
医学部	1年	129	113	87.6%	82.3%	82.6%
	2年	123	107	87.0%		
	3年	136	107	78.7%		
	4年	131	100	76.3%		
	5年	137	125	91.2%	83.1%	
	6年	135	101	74.8%		
歯学部	1年	79	57	72.2%	78.3%	80.6%
	2年	67	50	74.6%		
	3年	58	46	79.3%		
	4年	40	38	95.0%		
	5年	55	42	76.4%	84.8%	
	6年	83	75	90.4%		
薬学部	1年	174	148	85.1%	84.7%	
	2年	205	175	85.4%		
	3年	147	134	91.2%		
	4年	149	124	83.2%		
	5年	122	105	86.1%		
	6年	159	124	78.0%		
歯科衛生学科	1年	31	30	96.8%	98.1%	
	2年	36	36	100.0%		
	3年	40	39	97.5%		
歯科技工学科	1年	18	10	55.6%	60.7%	
	2年	10	7	70.0%		
合計		2264	1893	83.6%		

※網掛けは矢巾キャンパス

※長期欠席・休学・退学（予定含み）は対象から除いた

3) 心理検査

<実施検査>

UPI (学生精神的健康調査) : 全学部 1~3 年生、薬学部 4~6 年生

<実施日等>

医学部	1年	2年	3年
在籍学生数	129	123	136
実施者数	129	120	130
実施日	H27年5月13日	H27年5月1日, 7日	

歯学部	1年	2年	3年
在籍学生数	79	67	58
実施者数	77	64	56
実施日	H27年5月13日	H27年5月1日, 7日	

薬学部	1年	2年	3年	4年	5年	6年
在籍学生数	175	206	147	149	122	160
実施者数	165	202	143	140	119	141
実施日	H27年5月11日	H27年5月1日, 7日				

<結果>

	実施者数	平均値	ハイスコア者数	割合
医 1	129	12.4	9	6.9%
医 2	120	9.6	2	1.6%
医 3	130	7.8	1	0.7%
歯 1	77	14.5	7	9.0%
歯 2	64	11.6	2	3.1%
歯 3	56	9.0	2	3.5%
薬 1	165	16.9	16	9.6%
薬 2	202	10.9	7	3.4%
薬 3	143	10.5	6	4.1%
薬 4	140	11.8	8	5.7%
薬 5	119	11.3	3	2.5%
薬 6	141	10.3	6	4.2%
全 体	1486	11.5	69	4.6%

<UPI 学生精神的健康調査> 回答数が多かった上位3項目について

医学部

	1年	2年	3年
1位	首すじや肩がこる	気疲れがする	気疲れがする
2位	気疲れがする	首すじや肩がこる	やる気が出てこない
3位	他人の視線が気になる	考えがまとまらない	ものごとに自信がもてない 気をまわしすぎる

歯学部

	1年	2年	3年
1位	なんとなく不安である	気疲れがする	首すじや肩がこる
2位	気疲れがする	なんとなく不安である	気分に波がありすぎる
3位	他人の視線が気になる	気分に波がありすぎる	気疲れがする

薬学部

	1年	2年	3年
1位	なんとなく不安である	気分に波がありすぎる	やる気が出てこない
2位	やる気が出てこない	首すじや肩がこる	根気が続かない
3位	気疲れがする	やる気が出てこない	気分に波がありすぎる

	4年	5年	6年
1位	やる気が出てこない	首すじや肩がこる	首すじや肩がこる
2位	首すじや肩がこる	やる気が出てこない	やる気が出てこない
3位	決断力がない	気疲れがする	根気が続かない
		なんとなく不安である	

4) 学生喫煙アンケート

<実施日>

平成 27 年 5 月 1 日、7 日、8 日、12 日

【医学部・歯学部・薬学部】

<有効回答者数・男女比>

学部	対象者	有効回答					
		男		女		計	
医学部	792	449	68.8%	204	31.2%	653	82.4%
歯学部	384	205	63.1%	120	36.9%	325	84.6%
薬学部	956	347	41.9%	481	58.1%	828	86.6%
計	2132	1001	55.4%	805	44.6%	1806	84.7%

<喫煙状況>

医・歯・薬学部	喫煙者数	喫煙率
男子	162 名	16.2%
女子	18 名	2.2%
全体	180 名	8.4%

【医療専門学校】

<有効回答者数・男女比>

学科	対象者	有効回答					
		男		女		計	
技工・衛生学科	139	9	7.3%	115	92.7%	124	89.2%

<喫煙状況>

技工・衛生学科	喫煙者数	喫煙率
男子	3 名	33.3%
女子	2 名	1.7%
全体	5 名	3.6%

3. 職員健康管理実施状況

1) 職員健康診断

(1) 一般健康診断

① 雇入時健康診断

<健診項目>

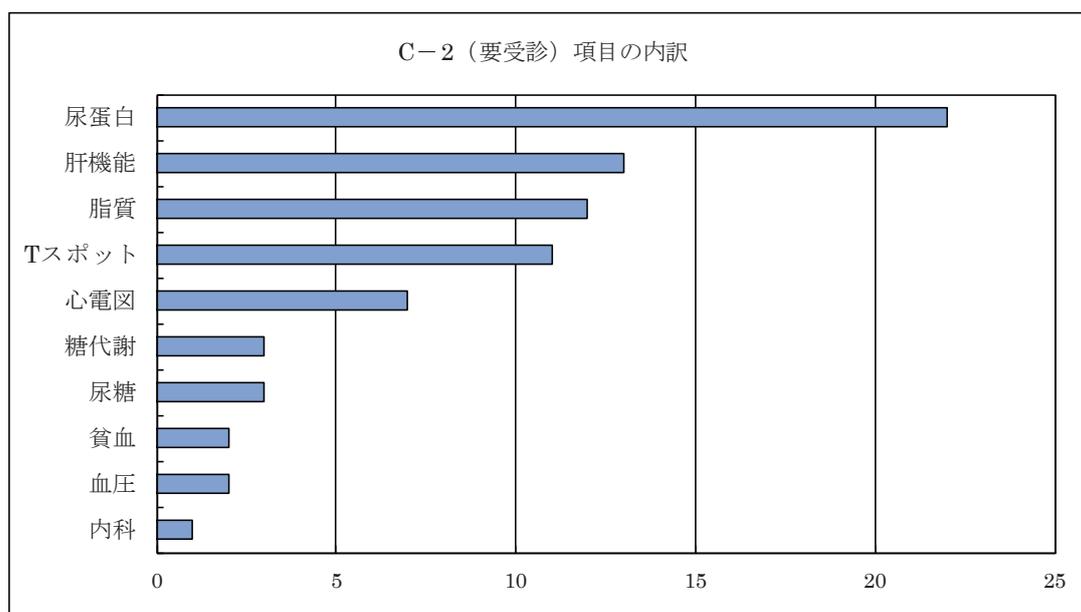
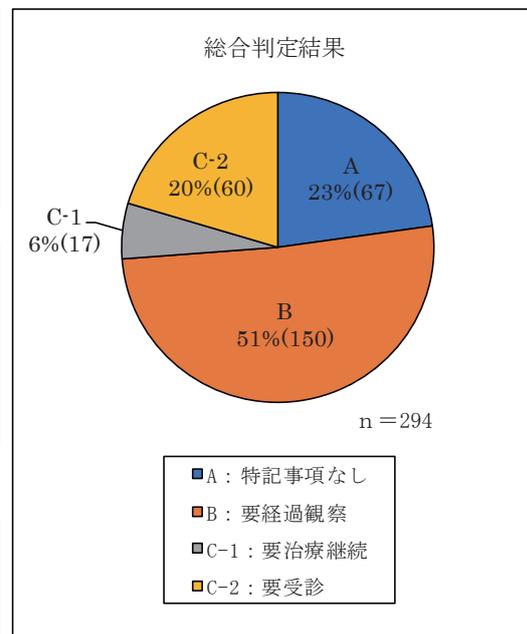
既往歴および業務歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力、胸部X線撮影、血圧、尿検査、血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、心電図検査、内科診察、Tスポット検査

	正規職員	臨時職員	合計
対象者	222	80	302
受診者	214	80	294
未受診者	8	0	8
受診率	96.4%	100.0%	97.4%

	正規職員	臨時職員	合計
A：特記事項なし	53	14	67
B：要経過観察	107	43	150
C-1：要治療継続	9	8	17
C-2：要受診	45	15	60

C-2（要受診）報告書提出状況

	正規職員	臨時職員	合計
提出者	18	7	25
提出率	40.0%	46.7%	41.7%



② 定期健康診断

<受診項目>

既往歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、腹囲（35歳・40歳以上）、視力、聴力、胸部X線撮影、血圧、血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、尿検査、心電図検査（35歳・40歳以上）、内科診察、眼底検査（前年度の健診結果、血糖・脂質・血圧・BMIの4項目有所見者）

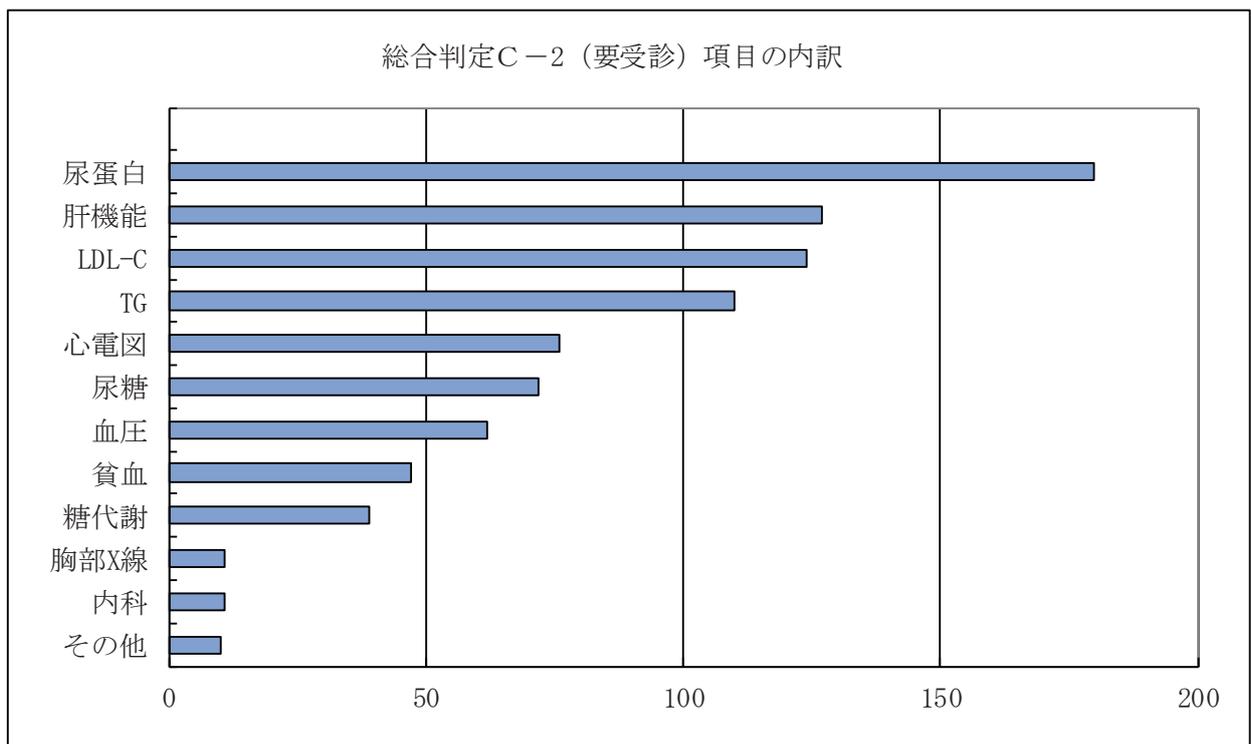
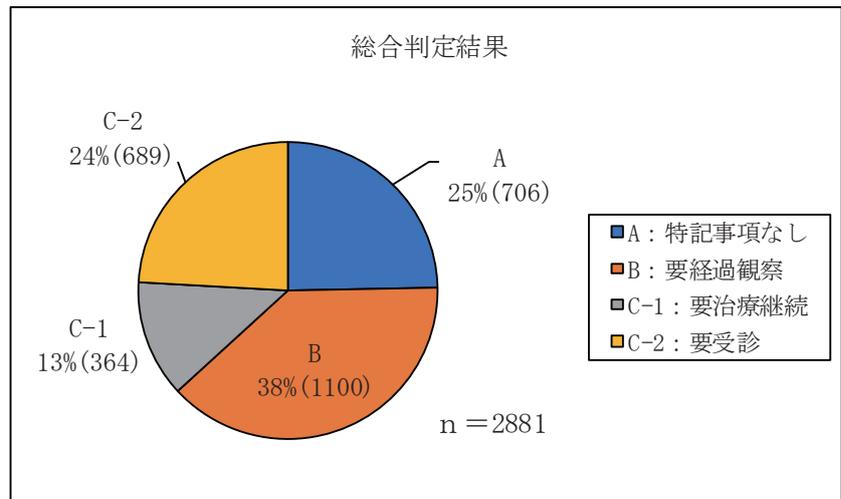
<実施日>

花巻温泉病院：平成27年5月21日（木）、22日（金）
 内丸キャンパス：平成27年5月25日（月）～5月29日（金）
 矢巾キャンパス：平成27年6月2日（火）、3日（水）

対象者	2881
受診者	2859
未受診者	22
受診率	99.2%

C-2（要受診）報告書提出状況

C-2	689
提出者	232
提出率	33.7%



n = 689（複数該当あり）

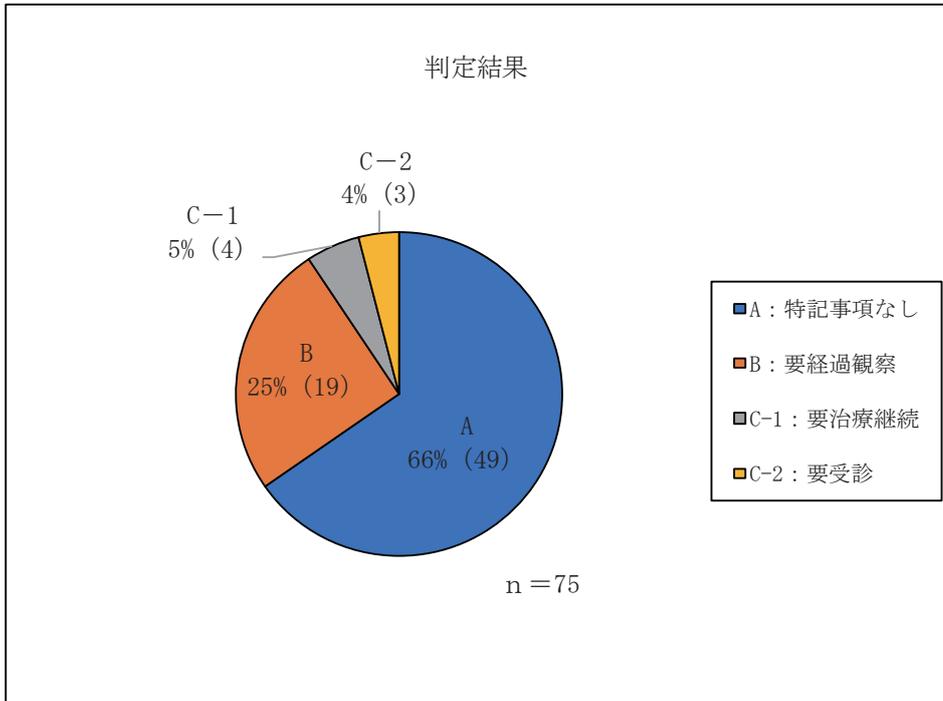
各項目別判定結果

<眼底検査> 前年度の健診結果、血糖・脂質・血圧・BMI の4項目有所見者

対象者	81
受診者	75
未受診者	6
受診率	92.6%



A：特記事項なし	49
B：要経過観察	19
C-1：要治療継続	4
C-2：要受診	3

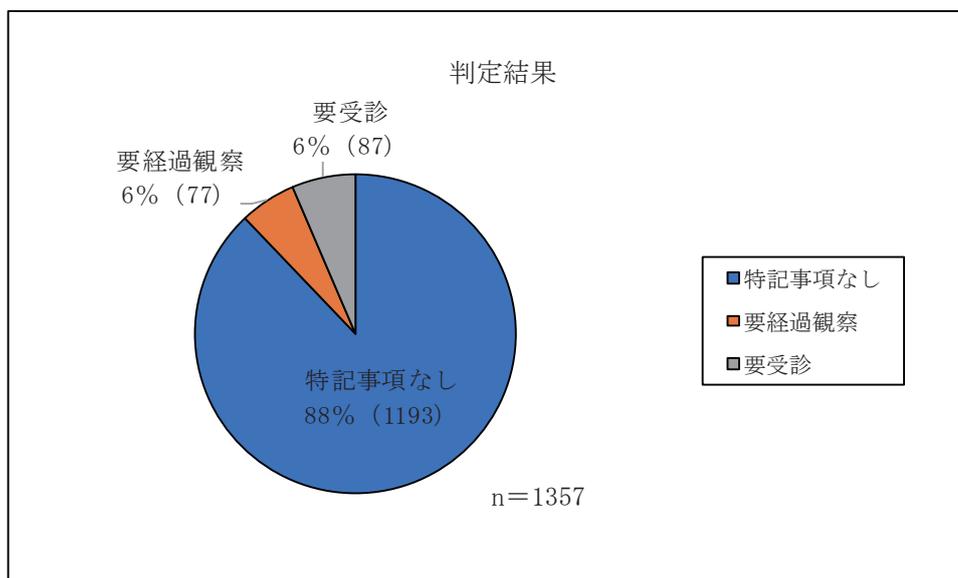


<心電図検査> 35歳・40歳以上

対象者	1371
受診者	1357
未受診者	14
受診率	99.0%



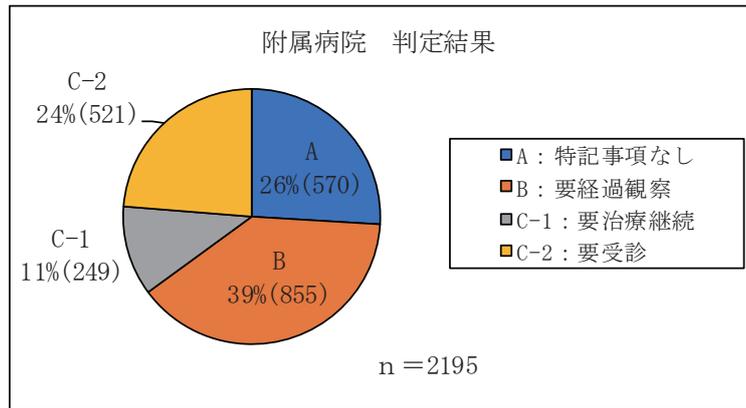
特記事項なし	1193
要経過観察	77
要受診	87



地区別判定結果

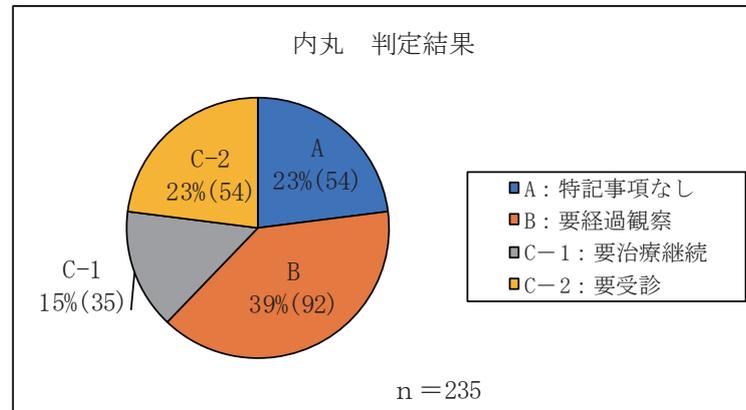
< 附属病院 >

対象者	2213
受診者	2195
未受診者	18
受診率	99.2%



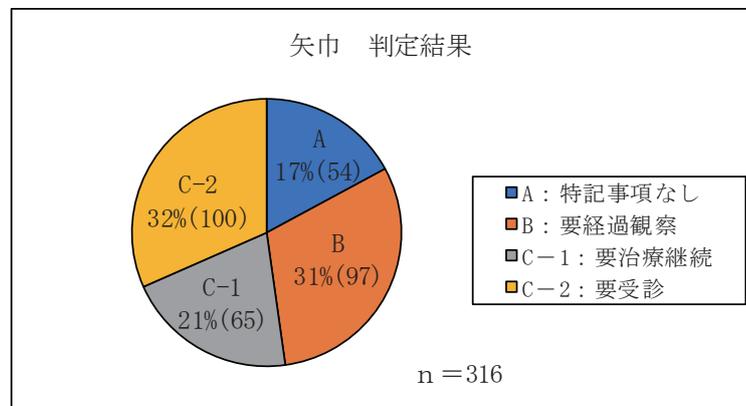
< 内丸 >

対象者	235
受診者	235
未受診者	0
受診率	100.0%



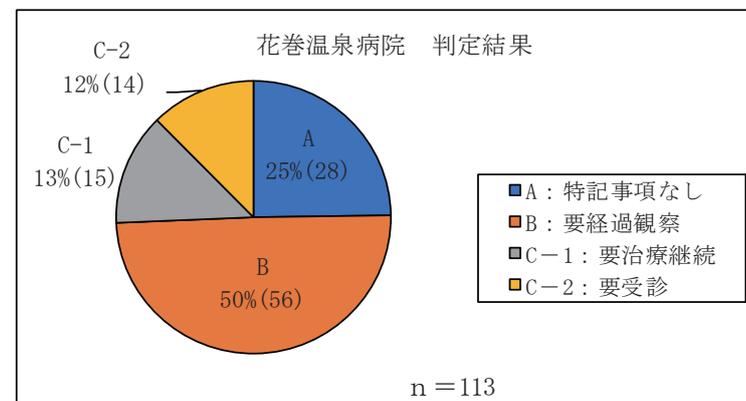
< 矢巾 >

対象者	320
受診者	316
未受診者	4
受診率	98.8%



< 花巻温泉病院 >

対象者	113
受診者	113
未受診者	0
受診率	100.0%



③ 特定業務従事者健康診断（特殊健康診断等）

<受診項目>

既往歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、視力、聴力、血圧、尿検査、内科診察

※血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、※心電図検査（35歳・40歳以上）

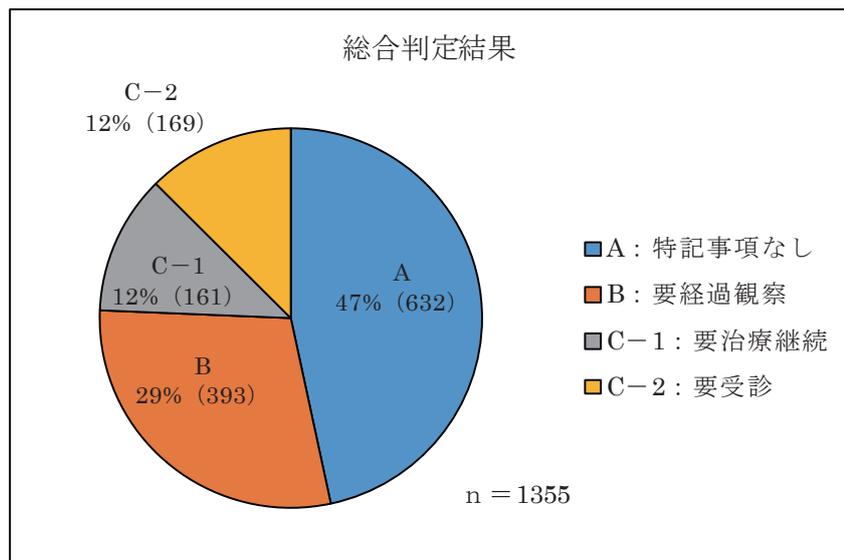
※は、産業医の判断で省略できる

<実施日>

内丸キャンパス：平成27年11月10日（火）～13日（金）

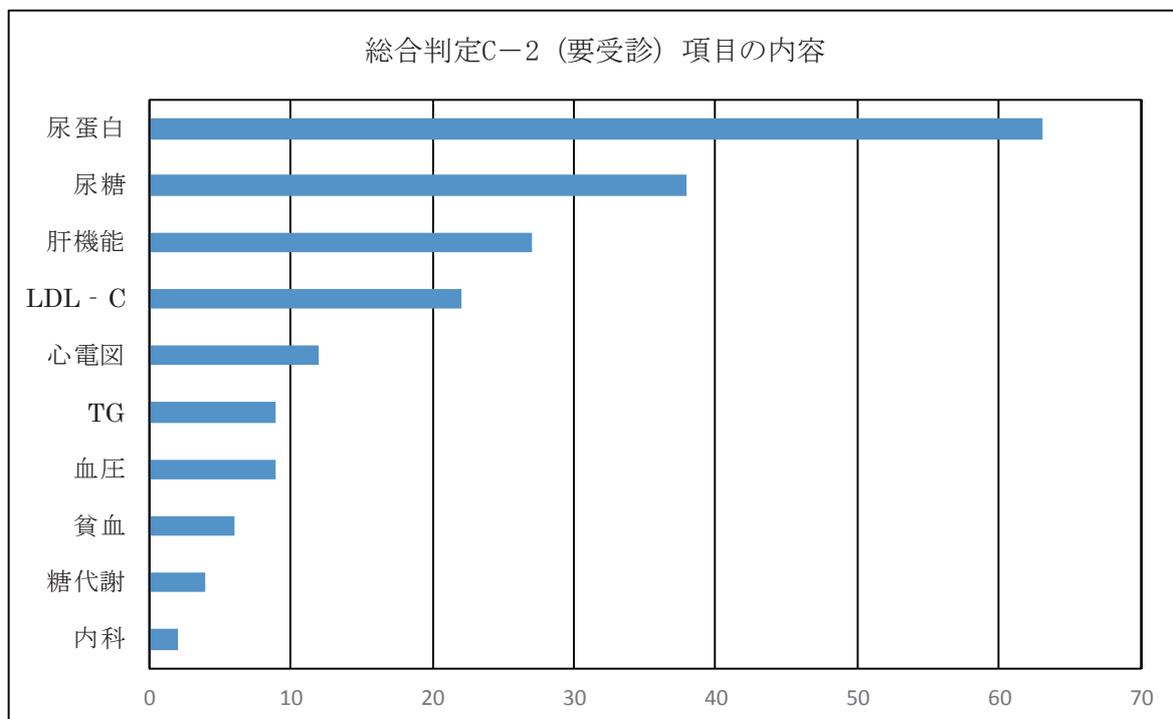
花巻温泉病院：平成27年11月10日（火）～13日（金）

対象者	1433
受診者	1355
未受診者	78
受診率	94.6%



C-2（要受診）報告書提出状況

C-2	169
提出者	31
提出率	18.3%



n = 169（複数該当あり）

(2) 特殊健康診断

① 有機溶剤・特定化学物質等健康診断

<実施日(上期)>

平成27年5月25日(月)～29日(金)、6月2日(火)・3日(水)

対象者	205	⇒	管理A	177
受診者	204		管理B	27
受診率	99.5%		管理C	0
			管理R	0
			管理T	0

<実施日(下期)>

平成27年11月10日(火)～13日(金)

対象者	200	⇒	管理A	178
受診者	195		管理B	17
受診率	97.5%		管理C	0
			管理R	0
			管理T	0

管理A	特殊健康診断のすべての検査項目に異常が認められない者
管理B	検査項目に異常を認めるが、産業医が精査を必要としないと判断した者 (管理Cには該当しないが、当該因子による疑いのある異常が認められる者)
管理C	当該因子による疾患に罹患している者
管理R	当該因子によらないが、曝露により増悪するおそれがある疾病・異常を認める場合
管理T	当該因子によらない疾病・異常を認める場合 (当該疾病に対する療養その他の処置を必要とする)

② 電離放射線健康診断

<実施日(上期)>

平成27年5月21日(木)～6月3日(水)

<判定結果>

対象者	500	⇒	A: 特記事項なし	499
受診者	500		B: 要経過観察	1
受診率	100%		C: 要治療・要精密検査	0
			D: 要措置(業務配慮・業務配置転換等)	0

<実施日(下期)>

平成27年11月10日(火)～13日(金)

<判定結果>

対象者	494	⇒	A: 特記事項なし	493
受診者	494		B: 要経過観察	1
受診率	100%		C: 要治療・要精密検査	0
			D: 要措置(業務配慮・業務配置転換等)	0

③ 石綿健康診断

<実施日（上期）>

平成 27 年 5 月 25 日（月）～29 日（金）

対象者	29
受診者	29
受診率	100.0%



管理A	29
管理B-1	0
管理B-2	0
管理C	0
管理R	0
管理T	0

<実施日（下期）>

平成 27 年 12 月 9 日（水）～11 日（金）

対象者	29
受診者	29
受診率	100.0%



管理A	29
管理B-1	0
管理B-2	0
管理C	0
管理R	0
管理T	0

管理A	第一次健康診断のすべての検査項目に異常が認められない者
管理B-1	第一次健康診断のある検査項目に異常を認めるが、医師が第二次健康診断を必要としないと判断した者
管理B-2	健康診断の結果、管理Cには該当しないが、当該因子によるかまたは当該因子による疑いのある異常が認められる者
管理C	第二次健康診断の結果、当該因子による疾患に罹患している者
管理R	健康診断の結果、当該因子による疾病または異常を認めないが、当該業務に就業することにより増悪するおそれのある疾病にかかっている場合または異常が認められる者
管理T	健康診断の結果、当該因子以外の原因による疾病にかかっている場合または異常が認められる者（管理Rに属するものを除く）

(3) その他

① VDT 作業員健康診断

<問診実施日> 平成 27 年 7 月 28 日 (火) ~8 月 6 日 (木)

<検査実施日> 平成 27 年 9 月 2 日 (水) ・ 3 日 (木)

VDT 作業員	2523	⇒	A : 特記事項なし	2176
			B : 要経過観察 (要視力矯正含)	337
			C-1 : 要治療継続	1
			C-2 : 要受診	9

② 胃がん検診 (40 歳以上の希望者)

<実施日> 内丸キャンパス : 平成 27 年 9 月 7 日 (月) ~25 日 (金)

花巻温泉病院 : 平成 27 年 9 月 28 日 (月)

<内丸・矢巾>

対象者	1235	⇒	異常なし	393
受診者	417		要経過観察	3
受診率	33.8%		要精密検査	21
			(内訳)	
			胃内視鏡	(20)
			その他	(1)

<花巻温泉病院>

対象者	49	⇒	異常なし	14
受診者	14		要経過観察	0
受診率	28.6%		要精密検査	0

③ 大腸がん検診 (40 歳以上の希望者)

<実施日> 平成 27 年 12 月 3 日 (木) ~10 日 (木)

<内丸・矢巾>

対象者	1229	⇒	異常なし	378
受診者	396		要精密検査	18
受診率	32.2%			

<花巻温泉病院>

対象者	49	⇒	異常なし	16
受診者	17		要精密検査	1
受診率	34.7%			

④ 結核接触者健診

ケース	健診実施時期		対象者	健診内容等
【TB130508】 H25. 5. 8 発生	2 年後	H27. 5. 8	1 名 (1 名：退職)	胸部 X 線撮影（妊娠中のため職務復帰健診時の胸部 X 線で判断する）・ 診察（問診票）・T-スポット検査
【TB140527】 H26. 5. 27 発生	1 年後	H27. 5. 27、28	2 名	胸部 X 線撮影・診察（問診票）
	1 年 6 ヶ月後	1 年後健診の判定結果、実施せず。 2 年後健診で判断する。	2 名	（省略）
【TB141016】 H26. 10. 16 発生	1 年後	H27. 11. 10 受診	1 名	予防内服中止後、呼吸器内科外来にてフォロー中。
	1 年 6 ヶ月後	呼吸器内科外来にてフォロー中。 2 年後健診で判断する。	1 名	（省略）
【TB150604】 H27. 6. 4 発生	直後	H27. 6. 17～19	26 名	T-スポット検査・診察（問診） 陰性：25 名 陽性：1 名 →別事例にてフォロー中 (2 ヶ月後健診の対象除外)
	2 ヶ月後	H27. 8. 4～6	25 名	T-スポット検査・診察（問診） 陰性：25 名 終了
他病院において結核患者と接触した事例 H27. 6. 30	直後	H27. 7. 21	1 名	T-スポット検査・診察（問診） 陰性：1 名
【TB150731】 H27. 3. 31 発生 最終接触日 6/8	2 ヶ月後	H27. 8. 24、25、28	25 名	T-スポット検査・診察（問診） 陰性：24 名 陽性：1 名 →予防内服終了
【TB151105】 H27. 11. 5 発生	直後	H27. 11. 18	3 名	T-スポット検査・診察（問診） 陰性：3 名
	2 ヶ月後	H28. 1. 13	3 名	T-スポット検査・診察（問診） 陰性：3 名 終了

※下記の事例については、痰からの結核菌の検出はなく、医学的には感染のリスクは低いものの当該職員自身の健康状態を確認する目的で自覚症状の確認を実施した。

【TB150527】 問診票：40 名、胸部 X 線：1 名（有症状者に実施）

T-スポット検査結果の事後対応

陰性	2 年間は定期健康診断で必ず胸部 X 線撮影を実施する
陽性	潜在性肺結核として予防内服を推奨し、医療機関につなげる
判定保留	検査日から 4 週間後に再度 QFT または T-スポット検査を実施する 潜在性肺結核として予防内服を選択するかどうかは、本人の意思に基づき決定する 内服しない場合は、6 ヶ月毎に 2 年間の健診（胸部 X 線撮影と問診票）を実施する

2) 各種ワクチン接種

(1) B型肝炎ワクチン接種

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成27年5月21日～6月3日

対象者 (希望者)	検査実施者	ワクチン接種前抗体価検査結果		
		陽性	不十分	陰性
1187	1148	647	237	264

<ワクチン接種対象者>

467名：抗体価不十分・陰性と判定された職員（事務職等34名を除く）

<日程>

ワクチン接種1回目	7月21日、22日
ワクチン1回接種後抗体価検査・ワクチン接種2回目	8月18日、19日
ワクチン接種3回目	1月19日、20日
ワクチン3回接種後抗体価検査	2月16日、17日
ワクチン追加接種	3月1日
ワクチン追加接種後抗体価検査	3月29日、30日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	採血者	ワクチン接種後抗体価検査結果		
				陽性	不十分	陰性
1回接種	174	147	123	119	4	0
1回倍量接種	62	53	46	43	3	0
3回接種	231	89	86	64	17	5
3回接種後追加接種	22	17	14	7	6	1

※追加接種の対象者は、ワクチン3回接種後の抗体価検査で不十分・陰性と判定された職員

(2) C型肝炎抗体検査

<実施日> 平成27年5月21日（木）～6月3日（水）

<判定結果>

対象者(希望者)	1193	⇒	陰性	1151
検査実施者	1152		疑陽性(要受診)	1

(3) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎抗体価検査およびワクチン接種

<対象者>

小児病棟新規配属職員

<受診者>

16名

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成27年5月25日～5月29日

検査項目 (検査法：I g G－E I A法)	(－) 2.0未満	(±) 2.0～3.9	(+) 4.0以上
水痘	0	2	14
風疹	0	1	15
流行性耳下腺炎	3	5	8

<ワクチン接種対象者>

8名：(－)、(±)と判定された職員 1名は水痘、流行性耳下腺炎の2種類該当
1名は風疹、水痘、流行性耳下腺炎の3種類該当

<日程>

ワクチン接種	9月8日、11月17日
ワクチン接種後抗体価検査	12月17日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	(－) 2.0未満	(±) 2.0～3.9	(+) 4.0以上
水痘	2	2	0	0	2
風疹	1	1	0	0	1
流行性耳下腺炎	8	8	1	4	3

(4) インフルエンザワクチン接種（職員・大学院生）

<接種日> 矢巾キャンパス：平成27年10月22日（木）、23日（金）
 内丸キャンパス：平成27年10月24日（土）、26日（月）～30日（金）、11月5日（木）
 花巻温泉病院：平成27年10月26日（月）～30日（金）

	対象者数	希望者数	申込率	接種者数	希望者の接種率	対象者の接種率
附属病院	臨床系医師・歯科医師	851	67.6%	490	85.2%	57.6%
	看護職	1208	96.6%	1140	97.7%	94.4%
	コメデイカル	381	92.1%	341	97.2%	89.5%
	事務系	248	79.4%	193	98.0%	77.8%
	その他	8	87.5%	6	85.7%	75.0%
	計	2696	85.2%	2170	94.5%	80.5%
内丸地区	臨床系医師・歯科医師	4	75.0%	1	33.3%	25.0%
	基礎系医師・歯科医師	4	50.0%	1	50.0%	25.0%
	その他の教員	12	91.7%	11	100.0%	91.7%
	看護職	7	85.7%	5	83.3%	71.4%
	コメデイカル	10	90.0%	9	100.0%	90.0%
	事務系	178	91.0%	158	97.5%	88.8%
	その他	26	92.3%	24	100.0%	92.3%
	計	241	90.0%	209	96.3%	86.7%
矢巾地区	基礎系医師・歯科医師	76	67.1%	45	88.2%	59.2%
	その他の教員	126	74.6%	92	97.9%	73.0%
	看護職	5	100.0%	5	100.0%	100.0%
	コメデイカル	22	90.9%	19	95.0%	86.4%
	事務系	104	94.2%	96	98.0%	92.3%
	その他	33	87.9%	29	100.0%	87.9%
	計	366	81.1%	286	96.3%	78.1%
花巻温泉病院区	臨床系医師・歯科医師	7	85.7%	6	100.0%	85.7%
	看護職	81	98.8%	80	100.0%	98.8%
	コメデイカル	16	100.0%	16	100.0%	100.0%
	事務系	6	100.0%	6	100.0%	100.0%
	計	110	98.2%	108	100.0%	98.2%
	合計	3413	85.5%	2773	95.0%	81.2%

＜インフルエンザ発生状況＞

所 属	対象者数	ワクチン接種者	ワクチン未接種者	接種率	インフルエンザA型＋B型＋様症状発症数					
					発症人数	発症率	発症人数 (ワクチン接種者中)	発症人数 (ワクチン未接種者中)		
職員・大学院生	2937	2379	558	81.0%	186	6.3%	174	7.3%	12	2.2%
医学部	272	226	46	83.1%	1	0.4%	1	0.4%	0	0.0%
歯学部	138	117	21	84.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
歯科衛生学科	107	105	2	98.1%	1	0.9%	1	1.0%	0	0.0%
歯科技工学科	28	17	11	60.7%	1	3.6%	0	0.0%	1	9.1%
委託・派遣・外部 団体(希望者)	544	520	24	95.6%	11	2.0%	7	1.3%	4	0.0%
内 丸 合 計	4026	3364	662	83.6%	200	5.0%	183	5.4%	17	2.6%
職員・大学院生	366	286	80	78.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
医学部	519	427	92	82.3%	14	2.7%	12	2.8%	2	2.2%
歯学部	244	191	53	78.3%	1	0.4%	1	0.5%	0	0.0%
薬学部	956	810	146	84.7%	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
委託・派遣・外部 団体(希望者)	56	56	0	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
矢 巾 合 計	2141	1770	371	82.7%	16	0.7%	14	0.8%	2	0.5%
職員	110	108	2	98.2%	5	4.5%	4	3.7%	1	50.0%
委託・派遣・外部 団体(希望者)	42	42	0	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
花 巻 合 計	152	150	2	98.7%	5	3.3%	4	2.7%	1	50.0%
合 計	6319	5284	1035	83.6%	221	3.5%	201	3.8%	20	1.9%

※歯学部聴講生：4名中4名接種
 ※特別研究生：2名中1名接種
 ※外部研修医：1名中1名接種

＜内訳＞

インフルエンザA型発症数	インフルエンザB型発症数		インフルエンザ様症状発症数					
	発症人数 (ワクチン接種者中)	発症人数 (ワクチン未接種者中)	発症人数 (ワクチン接種者中)	発症人数 (ワクチン未接種者中)				
130	120	10	31	30	1	25	24	1
			1	1				
1		1				1	1	
5	3	2	5	4	1	1		1
136	123	13	37	35	2	27	25	2
9	7	2	2	2		3	3	
						1	1	
1	1							
10	8	2	2	2	0	4	4	0
1		1	1	1		3	3	
1	0	1	1	1	0	3	3	0
147	131	16	40	38	2	34	32	2

3) 長時間労働者への産業医による面接指導

(単位：件)

対象月	対象者				面接申出書 チェックリスト 提出者	面接 希望者	産業医 面接者
	6ヶ月平均で 45時間以上	2ヶ月平均で 80時間以上	1ヶ月平均で 100時間以上	計			
4月	14	2	1	17	17	0	1
5月	19	3	0	22	22	0	0
6月	24	0	0	24	24	0	1
7月	20	1	0	21	21	0	1
8月	14	0	0	14	14	0	1
9月	12	0	1	13	13	0	1
10月	10	0	1	11	11	0	0
11月	9	1	0	10	10	0	0
12月	8	2	0	10	10	0	0
1月	7	1	1	9	9	0	0
2月	14	3	4	21	21	0	0
3月	14	4	5	23	23	0	1
計	165	17	13	195	195	0	6

※産業医面接は、本人希望と産業医の判断で必要と認めた者

4) 職場巡視

<実施日>

- 1回目 平成28年1月22日(金)
- 2回目 平成28年2月19日(金)

<巡視内容>

- ・温度、湿度、照度、騒音、環境整備等
- ・VDT作業環境
- ・特定化学物質使用の有無及び作業状況

<巡視場所>

【1回目】

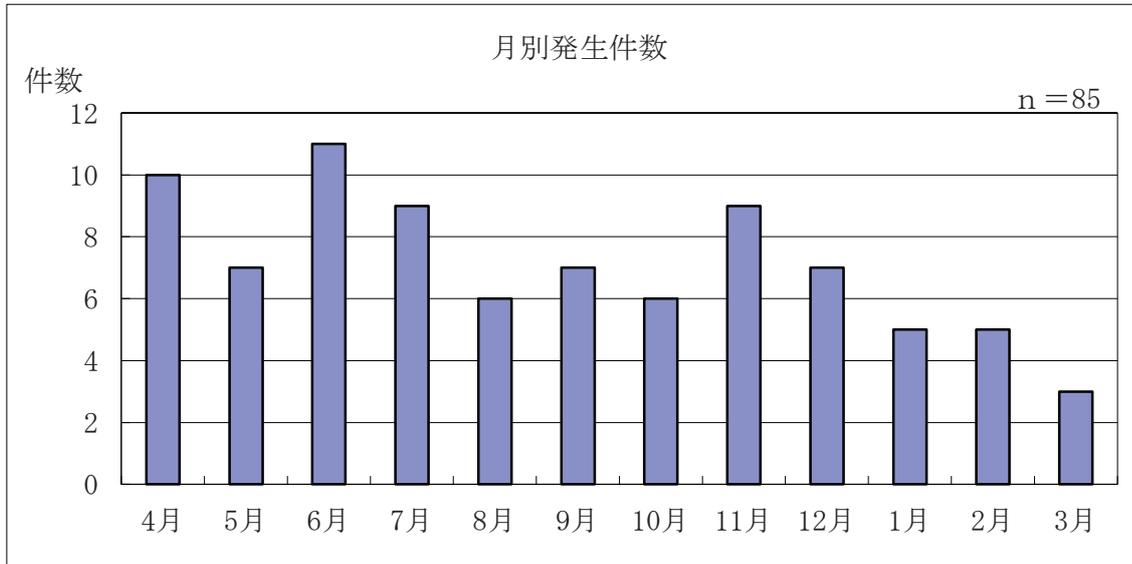
- ・歯科医療センター事務室
- ・歯科医療センター薬剤部
- ・歯科医療センター中央放射線部

【2回目】

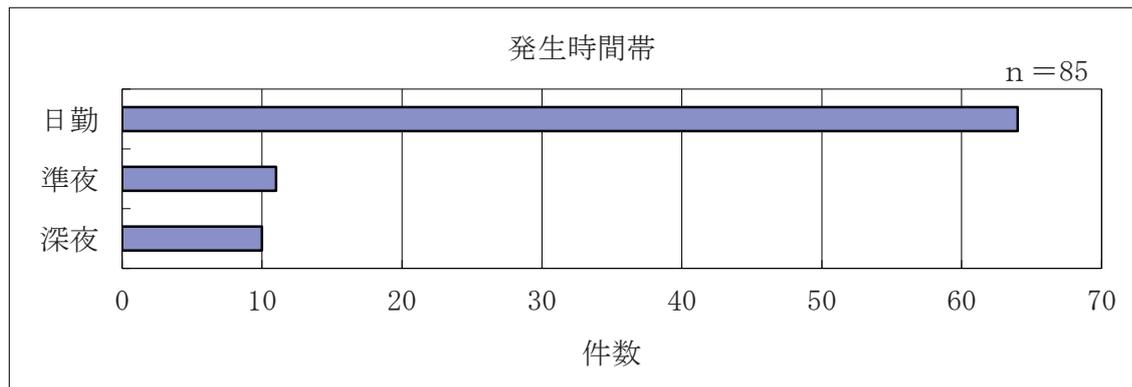
- ・研究助成課
- ・内科学講座消化器内科消化管分野
- ・内科学講座消化器内科肝臓分野

5) 針刺し粘膜暴露事故対応

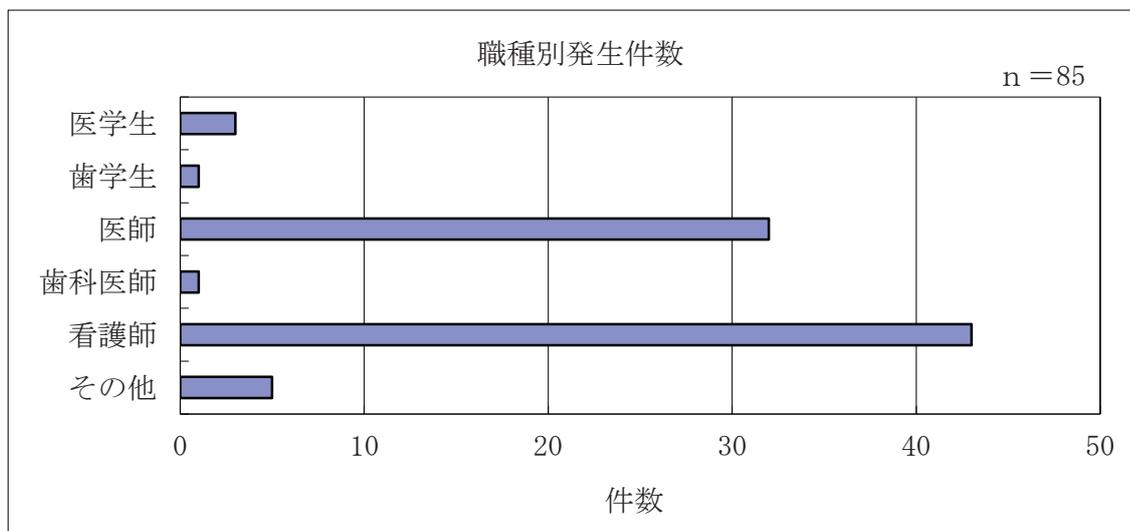
<月別発生件数>



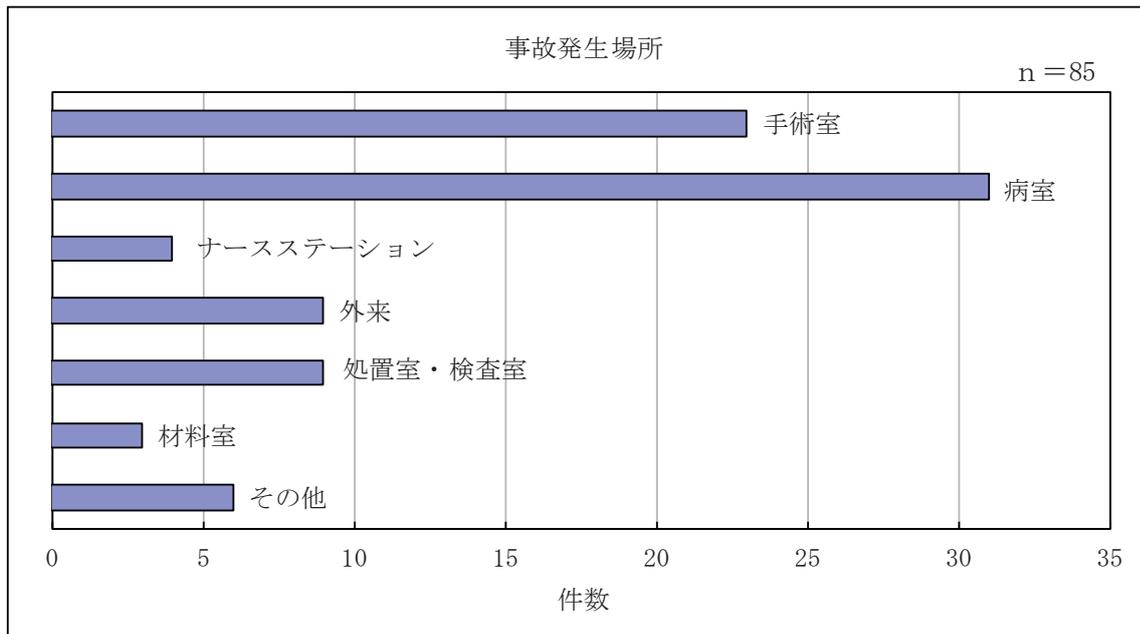
<発生時間帯>



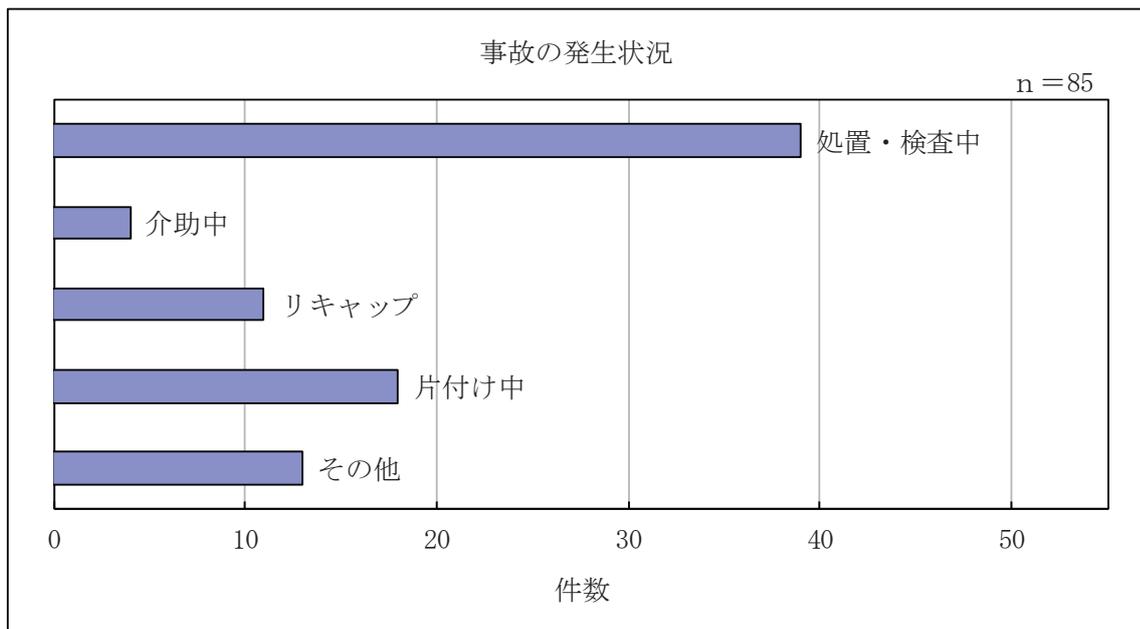
<職種別発生件数>



< 事故発生場所 >



< 事故の発生状況 >



Ⅲ 平成 27 年度健康管理センター 利用状況

Ⅲ 平成27年度健康管理センター利用状況

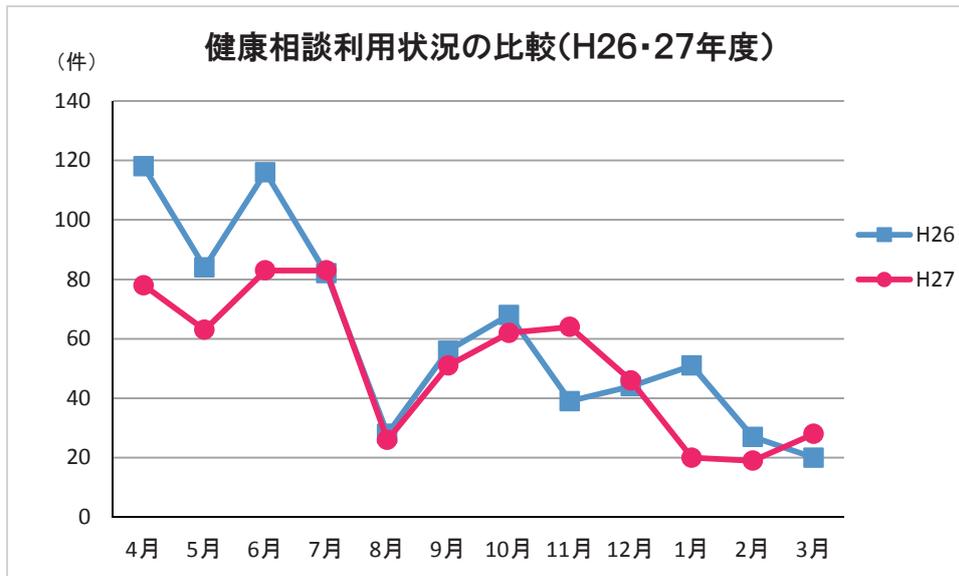
1. 健康相談

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
健康相談	内科	医学部	9	3	7	2	1	13	6	6	6	3	1	0	57
		歯学部	6	3	7	5	0	2	5	1	4	0	0	0	33
		薬学部	7	13	19	13	5	14	21	15	3	2	3	1	116
		専門学校	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	職員	7	4	0	3	2	2	4	1	4	6	5	8	46	
	外科	医学部	3	4	6	1	0	3	3	1	1	1	3	2	28
		歯学部	1	1	2	1	1	1	4	1	2	0	0	0	14
		薬学部	4	2	3	4	0	1	4	3	2	1	1	1	26
	耳鼻科	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		職員	0	1	1	2	1	0	0	1	0	0	0	4	10
医学部		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
皮膚科	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
眼科	職員	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	医学部	3	1	1	2	0	0	0	7	1	1	0	0	16	
	歯学部	1	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	6	
産婦人科	薬学部	2	2	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	8	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	職員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
歯科	医学部	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	歯学部	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3	
	薬学部	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	
泌尿器科	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
精神科	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医学部	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相談的内容	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医学部	2	0	4	0	0	1	0	4	7	1	2	0	21	
健康診断 ワクチン接種 関連相談	歯学部	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	4	
	薬学部	3	11	8	11	5	2	2	12	4	0	3	0	61	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	職員	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	
健康診断 事後指導	医学部	9	1	3	2	0	1	0	0	1	0	0	3	20	
	歯学部	5	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	8	
	薬学部	12	5	2	2	0	2	5	1	1	1	1	6	38	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
学校医相談 産業医相談	職員	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	薬学部	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	職員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		78	63	83	83	26	51	62	64	46	20	19	28	623	

※件数は延件数

	学生	職員
健康診断個人票発行	237	107

2. 健康相談利用状況の比較



3. 心理相談（健康管理センター相談室）

1) 学生

平成 27 年度相談室利用状況

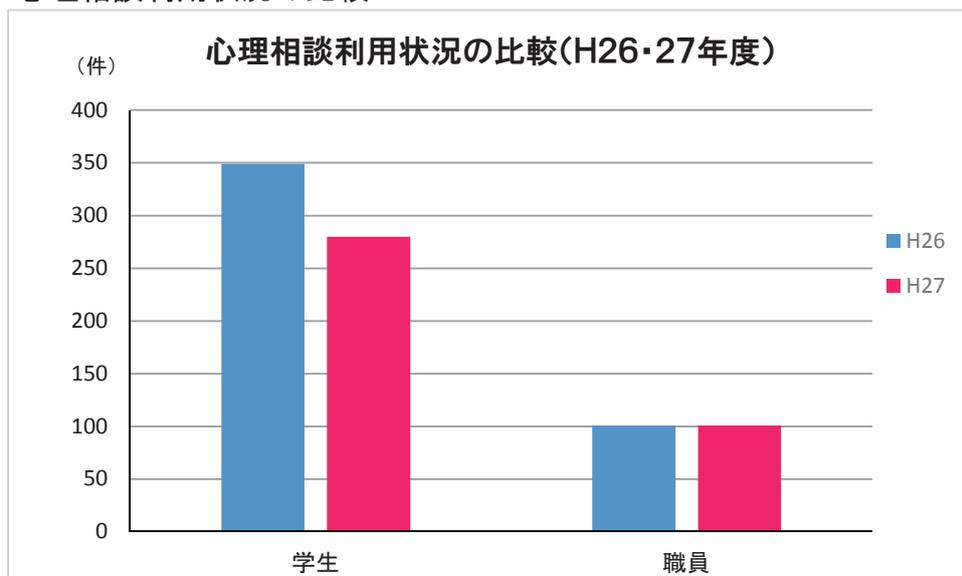
		医学部	歯学部	薬学部	専門学校	計
精神保健	延相談件数	5	4	28	1	38
	利用者数	3	1	12	1	17
パーソナリティ	延相談件数	6	8	38	0	52
	利用者数	4	3	6	0	13
適応	延相談件数	8	2	55	0	65
	利用者数	5	2	17	0	24
修学	延相談件数	8	16	34	4	62
	利用者数	1	6	9	2	18
進路	延相談件数	0	0	10	0	10
	利用者数	0	0	5	0	5
学生生活	延相談件数	0	0	0	0	0
	利用者数	0	0	0	0	0
ハラスメント	延相談件数	0	0	0	0	0
	利用者数	0	0	0	0	0
学校医相談	延相談件数	0	0	0	0	0
	利用者数	0	0	0	0	0
その他	延相談件数	1	13	38	1	53
	利用者数	1	5	23	1	30
計	延相談件数	28	43	203	6	280
	利用者数	14	17	72	4	107

2) 職員

平成 27 年度相談室利用状況

精神保健	延相談件数	13
	利用者数	5
パーソナリティ	延相談件数	2
	利用者数	1
職場不適應	延相談件数	50
	利用者数	18
家庭問題	延相談件数	1
	利用者数	1
生活相談	延相談件数	3
	利用者数	3
ハラスメント	延相談件数	0
	利用者数	0
コンサルテーション	延相談件数	20
	利用者数	13
その他	延相談件数	12
	利用者数	3
計	延相談件数	101
	利用者数	44

4. 心理相談利用状況の比較



5. 心の健康問題により休業した職員の職場復帰支援

本学の職員で心の健康問題を理由に病気休暇が1ヵ月を超える者を対象に、円滑に職場復帰し、業務が継続できるよう支援を実施。

対応件数 (平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)

対象者	月別対応件数内訳 (延件数)												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
20名	38	30	33	46	24	25	21	18	19	18	24	41	337

対象者の支援経過 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

復帰 (支援終了)	復帰 (支援継続)	退職	病休中
9	5	4	2

Ⅳ 平成 27 年度メンタルヘルス支援

IV 平成 27 年度メンタルヘルス支援

1. セミナー

(平成 27 年度 対象：学生)

開催日	内 容	場 所	参加 人数
6 月 24 日	ストレスマネジメント講座① ～自分の中にある回復力を見つけよう!～	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL38・39 室	2 名
7 月 1 日	ストレスマネジメント講座② ～こころを軽くする考え方を知ろう～	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL38・39 室	2 名
9 月 9 日	コミュニケーションスキルアップ講座① ～人の話を聴くとは?傾聴術を学ぼう～	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL45・46 室	2 名
9 月 16 日	コミュニケーションスキルアップ講座② ～上手な自己主張(断り方、頼み方)を学ぼう～	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL45・46 室	3 名

(平成 27 年度 対象：職員)

開催日	内 容	場 所	参加 人数
7 月 24 日	ストレスマネジメント講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	5 名
8 月 7 日	ストレスマネジメント講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	5 名
9 月 17 日	コミュニケーションスキルアップ講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	4 名
9 月 29 日	コミュニケーションスキルアップ講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	4 名
10 月 7 日	ストレスマネジメント講座	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	5 名
10 月 14 日	ストレスマネジメント講座	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	5 名
10 月 21 日	コミュニケーションスキルアップ講座	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	6 名
10 月 28 日	コミュニケーションスキルアップ講座	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	5 名
12 月 1 日	ストレスマネジメント講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	2 名
12 月 7 日	ストレスマネジメント講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	2 名
12 月 15 日	コミュニケーションスキルアップ講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	7 名
12 月 22 日	コミュニケーションスキルアップ講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	7 名

2. メンタルヘルス講義（対象：全学部1年生）

開催日	テーマ	講師	参加人数
6月12日	学生生活とメンタルヘルス	精神科学学校医 星克仁	345名
	大学生活を通して自分を見つめること - 自己探索のススメ -	臨床心理士 畠山秀樹	
	「ひとりで生きる強さ」を持つ - DVをしない・されないために -	臨床心理士 氏家真梨子	

3. 教職員のための学生相談ハンドブックの作成

平成27年3月に学生対応における教職員の実態・ニーズを把握するため、アンケートを実施した。アンケート結果から、回答者の約半数が学生対応において何らかの困難を感じており、対応策を求める実態・ニーズが把握された。

この状況を踏まえ、教職員のサポート体制の強化及び更なる学生支援の充実を目的に、教職員向けに学生対応に必要な内容をまとめたハンドブックの作成について検討を開始した。本学教学運営会議にハンドブックの作成について諮り、承認が得られたため、学生部、全学教育推進機構、教養教育センター、健康管理センターを中心に学生相談ハンドブック作成委員会を組織し、神経精神科学講座の協力を得て作成を開始した。ハンドブックの原案は、主に精神科学学校医、教養教育センター人間科学科・心理学行動科学分野教員、健康管理センター臨床心理士で作成し、学生相談ハンドブック作成委員会での協議を経て、平成28年3月末日付で「教職員のための学生相談ハンドブック」の名称で発刊に至った。

4. ラインケア研修

本学の管理職者を対象に、管理職の位置づけ・役割を理解するとともに、ラインケアに必要な知識・スキルを習得し、大学組織としての共通理解を図ることを目的に以下の内容で研修を企画・実施した。開催にあたって人事職員課と協議し、共催の形式で実施した。

開催日	テーマ	講師	参加人数
11月18日	職場のメンタルヘルス対策 ラインケア	岩手産業保健総合支援センター 産業保健相談員 藤井由里	80名
1月18日			78名

5. 震災支援

当センター臨床心理士が所属する岩手県臨床心理士会の震災支援活動への関与について、昨年度同様に大学からの出張として認められ、参加した。以下に参加した支援活動を示す。

表 2015年度における岩手県臨床心理士会支援活動への関与（出張分）

支援活動名	担当者	活動のべ日数
釜石市支援活動	畠山	10日
宮古市支援活動	氏家	7日

V 平成 27 年度健康教育・啓発活動

V 平成 27 年度健康教育・啓発活動

1. 健康教育

1) 学生の健康管理について

平成 27 年 4 月 10 日（金） 対象者：新入生（医・歯・薬）

担当：師長 佐々木 志津子

臨床心理士 氏家 真梨子

2) 職員の健康管理について

平成 27 年 4 月 3 日（金） 対象者：新入職員

研修担当：師長 佐々木 志津子

平成 27 年 8 月 3 日（月） 対象者：中途採用職員

研修担当：師長 佐々木 志津子

3) メンタルヘルス関連研修

平成 27 年 4 月 4 日（土） 対象者：新人看護師

研修担当：臨床心理士 畠山 秀樹

テーマ：新人看護師のメンタルヘルスケア

平成 27 年 6 月 5 日（金） 対象者：新人看護師

研修担当：臨床心理士 畠山 秀樹

テーマ：新人看護師のメンタルヘルスケア

平成 27 年 12 月 3 日（木） 対象者：看護部・ICU 所属看護師

研修担当：臨床心理士 畠山 秀樹

テーマ：職場の人間関係を考える - 苦手な人との付き合い方 -

2. 啓発活動

1) 健康管理センターだより

健康管理センターだより

20号 2015年7月10日発行

平成27年4月より健康管理センターに新しいスタッフが加わりました!!この場をお借りしてご挨拶させていただきます。教職員の皆様により良い健康的な環境づくりをサポートさせていただきますので、スタッフ一同、今後もよろしくお願い致します。

新しい産業医の先生をお迎えしました!!



産業医
薬学部分子細胞薬理学講座
教授 弘瀬 雅教

平成27年4月より産業医を拜命しました分子細胞薬理学講座の弘瀬雅教です。就任にあたりまして挨拶申し上げます。本年は、産業医にとりまして労働者の健康管理においてこれまでとは異なる産業医と事業者の関係が生じることになりそうです。それは平成26年6月19日に衆議院で可決・成立し、同25日に公布された労働安全衛生法の一部を改正する法律において、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査（以下「ストレスチェック」という）と面接指導を実施することを、事業者の義務（従業員数50人未満の事業場については当分の間努力義務）とする新たな制度が導入されたからです。

この新たな制度は、平成27年12月1日に施行されますが、厚生労働省のホームページを見ますと「今回新たに導入されるストレスチェック制度は、定期的に労働者のストレスの状況について検査を行い、本人にその結果を通知して自らのストレスの状況について気付きを促し、**個人のメンタルヘルス不調のリスクを低減**させるとともに、検査結果を集団ごとに集計・分析し、職場におけるストレス要因を評価し、職場環境の改善につなげることで、ストレスの要因そのものも低減させるものであり、さらその中で、メンタルヘルス不調のリスクの高い者を早期に発見し、**医師による面接指導**につなげることで、**労働者のメンタルヘルス不調を未然に防止する取組**です。」と書かれております。ストレスチェック制度における産業

医の位置づけでは、これまでの労働安全衛生法に基づいて事業者が取得する労働者の健康情報を産業医と事業者の間で共有することに関し、法令上の制限はありませんでしたが、ストレスチェック制度においては、産業医がストレスチェックの実施者となり、受検した労働者が事業者への結果の提供に同意しなかった場合は、ストレスチェックの結果は産業医と事業者との間で共有することができなくなるため、これまでとは異なる産業医と事業者との関係が生じることになります。

ストレスチェックを実施する目的は、労働者自身によるセルフケア及び職場環境改善を通じメンタルヘルス不調の未然防止を図る一次予防を目的としたものであって、不調者の発見が一義的目的ではないとされています。つまり、一次予防を主な目的とする制度の趣旨を踏まえれば、セルフケアと同様に、職場環境の改善も重要であり、事業者においては、個人のストレスチェック結果を集団的に分析し、その分析結果に基づき必要な職場環境の改善に取り組むべきであるということです。集団的な分析の具体的な方法は、国が標準的な項目として示す「職業性ストレス簡易調査票」が推奨されており、「職業性ストレス簡易調査票」に関して公開されている「仕事のストレス判定図」によることが適当とされています。実際、この取り組みを円滑に実施するためには、国が制度の十分な周知や必要な支援を行なうとともに、事業者、労働者、産業保険スタッフ、医療従事者等の関係者が、制度の趣旨を正しく理解した上で、衛生委員会等の場を活用し、お互い協力・連携しつつ、この制度をより効果的なものにするよう努力していくことが重要となります。また、事業者は、ストレスチェック制度が、メンタルヘルス不調の未然防止だけでなく、従業員のストレス状況の改善や働きやすい職場の実現を通じて生産性の向上にもつながるものであることに留意し、事業経営の一環として、積極的にこの制度の活用を進めていくことが望まれます。

最後に、このストレスチェック制度のご理解のためにストレスチェック制度の概要と流れを、資料1として示させていただきました（厚生労働省のホームページより取得）。職場の皆様とともに、より良い職場環境の構築に携わっていきたいと考えておりますので、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

1 改正の趣旨・目的

■改正の背景

- ・職業生活で強いストレスを感じている労働者の割合は高い状況で推移
- ・精神障害の労災認定件数が3年連続で過去最多を更新 等

■ストレスチェック制度の目的

- ・一次予防を主な目的とする（労働者のメンタルヘルス不調の未然防止）
- ・労働者自身のストレスへの気付きを促す
- ・ストレスの原因となる職場環境の改善につなげる

2 改正の概要

- 常時使用する労働者に対して、医師、保健師等^{※1}による心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）^{※2}を実施することが事業者の義務となる。（労働者数50人未満の事業場は当分の間努力義務）

※1 ストレスチェックの実施者は、今後省令で定める予定で、医師、保健師のほか、一定の研修を受けた看護師、精神保健福祉士を含める予定。

※2 検査項目は、「職業性ストレス簡易調査票」（57項目による検査）を参考とし、今後標準的な項目を示す予定。検査の頻度は、今後省令で定める予定で、1年ごとに1回とすることを想定。

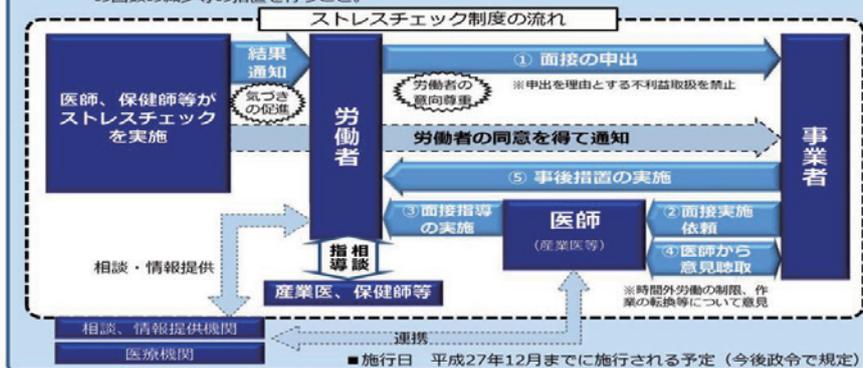
- 検査結果は、検査を実施した医師、保健師等から直接本人に通知され、本人の同意なく事業者には提供することは禁止される。

- 検査の結果、一定の要件^{※3}に該当する労働者から申出があった場合、医師による面接指導を実施することが事業者の義務となる。また、申出を理由とする不利益な取扱いは禁止される。

※3 要件は、今後省令で定める予定で、高ストレスと判定された者などを含める予定。

- 面接指導の結果に基づき、医師の意見を聴き、必要に応じ就業上の措置^{※4}を講じることが事業者の義務となる。

※4 就業上の措置とは、労働者の実情を考慮し、就業場所の変更、作業の転換、労働時間の短縮、深夜業の回数の減少等の措置を行うこと。



新しい学校医の先生をお迎えしました!!

前任の山家健仁先生から引き継ぎ、平成27年4月から学校医（メンタルヘルス支援担当）を拝命致しました、神経精神科学講座の星 克仁（ほし かつひと）です。平成23年4月以降、学校医は内科医の先生御二方に、学生のメンタルヘルス支援のための精神科医1名が加わっての3名体制となっております。

本学の卒業生である私自身の印象として、昨今の教育事情から、大学内のカリキュラムは総じて前倒しになり、早い学年から様々な医療経験をし、専門的な知識に触れる機会が多くなった半面、自分自身と向き合ったり、悩んだり、回り道をする時間が昔に比べ減ったような気が致します。そういった“回り道”の時間は人生に必要な“余白”であり、このような時間の不足はメンタル面の不調につながる場合があるかと思えます。そのような学生さんのお手伝いをしてゆきたいと考えておりますし、精神疾患に至ってしまう前に、健康管理センターには畠山秀樹先生と氏家真梨子先生という、とても感じの良い臨床心理士の先生がいらっしゃいますので、是非相談して頂きたいと思えます。私自身の力は微力ではございますが、学生さんをサポートする多くの先生方と協力しながら、よりよい学生生活を送って頂けるよう、お手伝いしてまいりたいと考えております。



学校医
医学部精神科学講座
講師 星 克仁

配偶者・交際相手からの DV で悩んでいませんか？

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、「親密な関係にあるパートナー（配偶者）からの暴力」のことを指します。その中でも高校生や大学生のように未婚で交際相手からの暴力を「デートDV」とも言います。

身近にあるDV（デートDV）について知ってもらい、DVの被害者/加害者にならないために、今回この内容を掲載致しました。



●DVの種類

暴力には様々な形があります。明らかな暴力ではない場合でも、*自由・自己決定が少ない*配偶者（交際相手）に恐怖感があり、顔色をうかがってしまう*軽い嫉妬、束縛があるなどが見られる場合は、DVヘエスカレートする可能性もあるので要注意です。以下はあくまで一例です。

- 【身体的暴力】：殴る、蹴る、首を絞める、髪をつかむ、刃物で傷つける、物を投げる
- 【精神的暴力】：暴言を吐く、脅かす、怒鳴る、無視する、見下す、大事な物を壊す
- 【経済的暴力】：生活費を渡さない、お金を要求する、借金を負わせる、外で働くのを許さない
- 【社会的暴力】：携帯電話の履歴を勝手に見る・削除する、友人等の付き合いを制限する
- 【性的暴力】：キスや性行為を強要する、避妊に協力しない、無理にポルノを見せる、中絶を要求する
- 【子どもを利用した暴力】：子供に危害を加えると言って脅す、子供に非難や中傷することを言わせる



●身近に在るDVの実態

配偶者暴力相談支援センターへの暴力相談は年々増加傾向で、平成25年は全国で10万件的相談があり、10年前の2倍とのこと。平成26年度内閣府の「男女間における暴力に関する調査」※によると、配偶者から暴力を受けたことがあるのは**約5人に1人**。交際相手から暴力を受けたことがあるのは、**約10人に1人**と、身近にDVは起こっています。

●DVは気づかれにくいし、逃げられない

もしDVの被害にあっても、自分がDVを受けている状況を隠したがる傾向があるので、すぐには明るみになりません。DVの加害者の多くが、暴力のあとに優しい一面を見せるので、被害者は「自分のせいだ…」と「たまたま不機嫌だっただけ」と冷静な判断力を奪われ、次第に逃げる機会や気力を失います。

●DVを相談されたら…

DVを受けている被害者がまず先に相談するのが、**家族ではなく、身近な友人・知人に相談しています**。相談相手になる可能性も十分にあります。まずは十分にお話を聞いて下さい。DVの解決は非常に難しい場合があるので、安易に直接的な問題介入は避けましょう。【相談機関を調べ教える・相談窓口につき添う・話し相手になる】などの補助的にサポートしましょう。

●ひとりで悩まないで！

上記調査（※）では、被害を受けた女性の4割はどこにも相談していないとのこと。どの相談機関も、相談は無料です。勇気を出して、身近にいる友人、相談機関等に話してみることをおすすめします。もちろん健康管理センター相談室での相談も承ります。

◆岩手県福祉総合相談センター 019-629-9610(平日)
019-652-4152(土日祝日・夜間)

◆岩手県男女共同参画センター 019-606-1762

◆もりおか女性センター 019-604-3304

◆岩手医科大学健康管理センター相談室

相談申込みはメールでも承ります。 shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp

(携帯用QRコードです⇒)



命の危険を感じたら…まずは110番

新しいスタッフを迎えました！！



【左】保健師 赤井 純子
【右】事務員 米澤 法子

【保健師：赤井】

平成27年4月から保健師として入職しました赤井純子と申します。

これまで、病院で看護師を経験した後に、企業や地域で保健師として勤務してきました。今年の3月まで弘前市で保健師をしていましたが、産業保健の現場に戻り、働く人の健康管理に携わりたいと思っておりましたので、保健師として岩手医科大学の健康管理センターに勤務できますことを大変うれしく思っています。学生および教職員の皆さまが健やかな毎日を送ることができるよう、精一杯、健康の保持増進のサポートをさせていただきたいと思います。入職して3ヶ月が過ぎ、最初は迷路のように感じた大学構内や院内も迷わなくなってきました。慣れるまでご不便・ご面倒をおかけするかと思いますが、一生懸命がんばりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

【事務員：米澤】

4月1日より健康管理センターに配属になりました米澤と申します。内丸で働くのが久しぶりです。

今までは、事務職員のみで机を合わせて働いてきましたが、職種の違う仲間たちと同じ部屋で一緒に仕事をするのが初めてで、人事異動のお知らせを聞いた際には、不安な思いしかありませんでした。

時に厳しく、時に優しくご指導して下さる先輩方と共に働かせて頂いております。5～6月にかけて、皆さんにはおなじみの学生健康診断・職員定期健康診断という、健康管理センターにとってのビックイベントを何とか乗り越え、人事異動から早くも3か月が過ぎました。「もう慣れた?」と、聞かれることが度々ありますが、全く慣れてはおりません。とにかく初めて尽くしの職場で、業務の新鮮さと大変さに毎日驚いております。出来ることは限られていますが、出来る範囲で頑張りますのでよろしくお願いいたします。

7月以降の健康診断およびワクチン接種の予定

	職員				学生	
	健康診断	特殊健康診断	ワクチン関係 B型肝炎	ワクチン関係 水痘・風疹・流行性耳下腺炎	その他	ワクチン関係 B型肝炎 インフルエンザ
9月	9(水)～18(金) 特定業務従事者(深夜業務者)調査	2(水)～9(水) VOT 健診 ※7月以降で異動者のみ	15(火)16(水) 未受診者対応	15(火) 水痘等	7(月)～25(金) 8:00～10:30 胃健診(内丸) 28(月) 7:00～9:00 胃健診(花巻)	
10月		1(木)～13(火) 有機・特化物調査及び 問診票 28(木)～11/13(金) 電離放射線問診票			22(木)28(金) インフルエンザ(美市) 24(土)～30(金) インフルエンザ(内丸)(花巻)	22(木) 2M,4M,4D,6P,2P,3D,1M, 1D,2D 23(金)3M,4P,3P,5P,1P 28(月)3DH,6D 27(火)5M 28(水)1DH, 2DH 29(木)5D, 2DT 30(金)6M, 1DT
11月	10(火)～13(金) 特定業務従事者(深夜業務者)健康診断	有機・特化物 ※要検査者 電離放射線※要検査者 (特定業務従事者健康診断と同時実施)		17(火) 水痘等 ※2種該当者		
12月		17(木) 石綿健康診断		17(木) 接種後採血	7(月)～11(金) 大腸がん検診	3(木)3回目接種 4P,4M,1HD 4(金)3回目接種 4D,1DT
1月			19(火)20(水) 3回目接種			7(木)接種後採血 4M,4P 8(金)接種後採血 4D 14(木)接種後採血 1DT,1DH
2月			16(火)17(水) 接種後採血			4(木)追加接種 4M,4D,4P,1DH,1DT
3月	26(土) 雇入時健康診断		1(火)追加接種 29(火)30(水) 追加接種後採血			3(木)追加接種 4M,4D,4P,1DH,1DT

健康管理センターだより(岩手医科大学)20号 発行日 2015年7月10日

発行 岩手医科大学 健康管理センター

健康管理センターだより

21号 2015年11月24日発行

平成27年度より新しい産業医の先生、学校医の先生が加わりました!!この場をお借りしてご挨拶させていただきます。学生・教職員の皆様のより良い健康的な環境づくりをサポートさせていただきますので、スタッフ一同、今後もよろしくお願い致します。

新しい産業医の先生のご挨拶です!!

平成27年1月より産業医を担当しております薬理学講座情報伝達医学分野の近藤ゆき子です。前任の小野田敏行先生の後任として、大間々真一講師(高次救命救急センター)と弘瀬雅教教授(薬学部分子細胞薬理学講座)と共に、現在は3人体制で担当しております。よろしくお願い致します。



私は本学卒業後に当初小児科学講座にて研修しておりましたが、大学院での主科目変更により薬理学講座のお世話になり、そのまま現在に至っております。また、将来の退職後を考え日本医師会認定産業医の資格を取得しておりましたが、産業医としての実務経験なくこれまで過ごしておりました。そこに産業医担当の打診を突然いただいて、実務経験が無いことをお伝えしたにもかかわらず産業医を承ることになり、かなり困惑した状態でのスタートとなりました。経験が無いためわからないことも多く、健康管理センターの皆様にご迷惑をおかけしているとは思いますが、私なりに女性医としての視点も生かしつつ職員の皆様の健康管理に尽力していく所存ですので、今後ともご指導とご支援の程よろしくお願い申し上げます。

産業医(医学部薬理学講座情報伝達医学分野)
講師 近藤 ゆき子

新しい学校医の先生をお迎えしました!!

平成27年4月より学校医を拝命しました内科学講座消化器内科消化管分野の中村昌太郎です。約2000名におよぶ本学学生の皆さんの健康診断の結果判定、ワクチン接種などに対応させていただきます。大学病院では、消化管内科でピロリ菌感染、消化管腫瘍、炎症性腸疾患などを中心に診療しています。胃腸の具合が悪い時は、気軽にご相談下さい。学生の皆さんが健康で充実した学生生活を送り、将来は立派な医療従事者として活躍していただけるよう、微力ながら支援させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。



学校医
医学部内科学講座消化器内科消化管分野
准教授 中村 昌太郎

新しい学校医の先生をお迎えしました!!



学校医
医学部内科学講座消化器内科肝臓分野
講師 宮坂 昭生

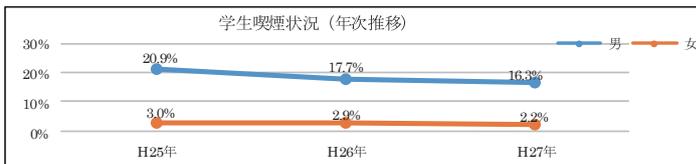
平成 27 年 4 月から学校医を拝命しました内科学講座消化器内科肝臓分野の宮坂昭生です。

前任の内科学講座神経内科・老年科分野の工藤 雅子先生と金正門先生の後任となります。本学の学校医の役目は学生の健康診断と判定、インフルエンザワクチンや B 型肝炎ワクチン接種による感染症の予防、インフルエンザなどの流行性疾患発生時の対応などが主であると伺っております。また、宮坂は肝臓が専門であり、普段は外来にすることが多く、健康に関する疑問がありましたら訪ねて頂くことも可能です。症状が専門外であっても構いません、健康管理センター長である黒坂教授をはじめ、健康管理センター専任スタッフや指導教官、学生部長先生などにご助言を頂きながら対応させて頂きたいと思っております。楽しい学生生活を送れるよう支援してゆきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

本学の学生に対する喫煙アンケート調査から

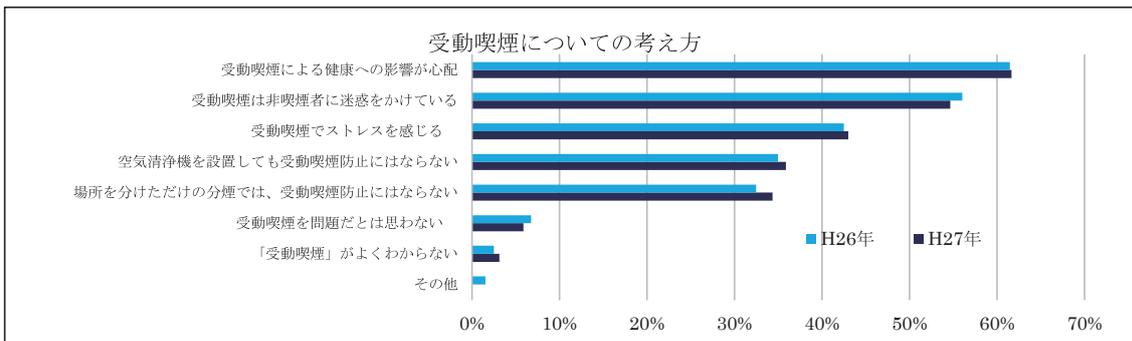
平成 25 年から 27 年に実施しました本学の学生喫煙アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケートの回収率は平均 80% 台でした。調査結果の内容から一部抜粋してご報告いたします。

■学生喫煙率



学生の喫煙状況を 3 年間比較したところ、男女ともに喫煙率は徐々に低下していました。

■受動喫煙に対する考え方



■本学の喫煙状況についての意見の内訳（自由記載 103 件） H26・H27

喫煙場所の問題	隔離希望	7
	増設希望	10
	削減希望	1
	移設希望	23
	現状に満足	1
	構造に関して	14
マナー問題	喫煙場所を守らない	24
	医療従事者としての自覚	7
	通行の邪魔	2
	吸い殻の処理	2
その他	取り締まり、全面禁煙	12

受動喫煙に対する考え方は「健康への影響の心配」と「迷惑感」の順に多い結果でした。

また、本学での喫煙状況に対する意見としても喫煙場所の問題とマナーに関する問題があります。今後は「マナー」や「健康への正しい情報提供」などを通じて受動喫煙の防止や禁煙サポートにつなげたいと考えます。

禁煙を考えたい方は健康管理センターへご相談ください。

怒り、イライラを上手にコントロールできていますか？

怒りやイライラの感情は、日常生活でよく生じる、必要な感情の1つでありながら、上手にその感情をコントロールすることが結構難しい、厄介な感情です。ついカッとなって他者に怒ってしまい、「あんな風に言わなければ良かった」と後悔したことはありませんか？

生活していれば、怒りたくなること、イライラすることは当然あります。ここでは、**「怒らなくなるのではなく、怒りの感情に上手に付き合う」姿勢＝アンガーマネジメント**を紹介したいと思います。

●「怒り」の影響

怒りっぽい人は早死にしやすい??

怒っている状態が当たり前になると、消化や睡眠にも影響をきたします。攻撃的で怒りっぽい人は、突然死や脳卒中になる確率が高いとも言われます。

対人関係悪化になりやすい

他者に対して、支配的・批判的・攻撃的な言動を向けてしまうので、周囲も萎縮し距離をとられます。話し方がきつくなり冷静さを失うと、伝えたい真意も違った意味に捉えられてしまいます。



●「怒り」の原因

* ストレスや疲れがたまっていると怒りやすくなる

* 自分と同じような考えや行動をするはずだという思い込みから、思い通りにならない不満を持つ

* 自分が大切に思っている信念、価値観を否定される

●「怒り」の4タイプ

- ① 頻度が高い：しょっちゅう怒っていたり、常にイライラしている人
- ② 強度が強い：普段は抑えられていても、一瞬の強すぎる怒りを制御できない人
- ③ 持続する：腹立たしさ・悔しさをいつまでも忘れられず、引きずったまま生活する人
- ④ 攻撃性を伴う：怒りの感情を他人や物、もしくは自分へと向けてしまう人



●「怒り」をコントロールするために

例えば、コップが心、水が怒りだとします(右図参照)。怒りやイライラと上手に付き合うためには、コップの水を減らす(対処術)とコップのサイズを大きくして、水が溢れないように、心の許容量を大きくする(体質改善)が必要でしょう。



イライラや怒りをへらす対処術

* **【タイムアウト】**怒りが爆発しそうときは、「一旦トイレに行ってきます」と時間を取ってその場から離れて、ストレッチや深呼吸をして落ち着かせます。

* **【カウントバック】**数を1から6まで数えます。**怒りの感情ピークは長くても6秒**と言われます。6秒違うところに意識を持っていくことで、怒りに対する反応を遅らせ、衝動的な行動を防ぎます。

* **【セルフトーク】**「大丈夫」「成長するチャンス」「気持ちをリセットしよう」「怒っても変わらない」と呪文のように自分が元気になる言葉、落ち着く言葉をつぶやいて、自己暗示させます。

怒りにくい体質への改善

* **【アンガールグ】**怒りの感情を文字化してみよう。怒った日時、怒った相手、怒りを感じた出来事、そのときに思ったこと、自分がとった行動、相手に期待していたことをメモすることで怒りのパターンが見えてきます。

* **【I(私)メッセージ】**自分(私は)を主語にして、「私は〇〇思います。」と自分の意見を表現すると、相手を必要以上に責める、押し付ける、強要する言い方になりにくいです。

* **【ストレス・不安ログ】**ストレスも不安も怒りやイライラの元になりますので、書き出し、そのストレスや不安が自分にとって「重要であるか否か」もし重要であるならば「コントロールできるか否か」で分けましょう。優先順位をつけ、コントロール可能なものだけに対処できるようになります。

怒りと付き合う方法はまだまだあります。もっと詳しく知りたい方、自分自身を見直したい方は、**岩手医科大学健康管理センター相談室**もご利用下さい。

【電話での申込み】019-651-5111 内線 3816/3818 (内丸) 5022/5023 (矢巾)

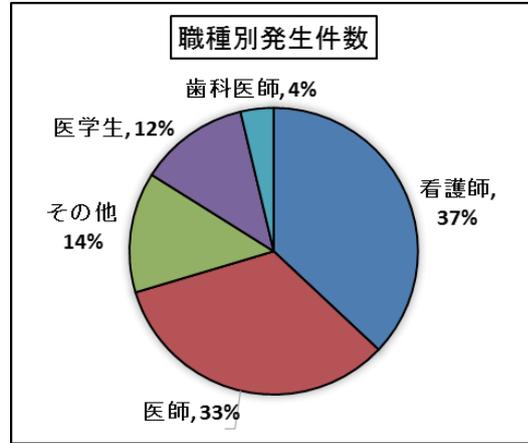
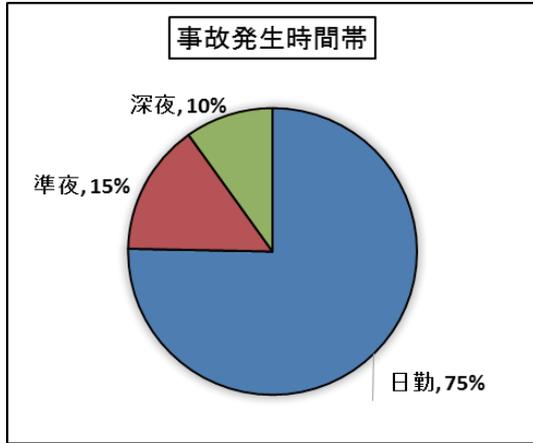
【メールでの申込み】 shinrisoudan@i.wate-med.ac.jp

(携帯用 QR コード)



針刺し及び粘膜暴露事故について

平成 26 年度の針刺し及び粘膜暴露事故の件数は、81 件でした。事故発生時間帯、職種別発生件数は以下のような結果となりました。



<事故を起こしたら……>

受傷の報告 職員は所属長へ、学生は教員へ速やかに報告し、健康管理センターに連絡してください。

責めずに支援 本人が一番ショックを受けています。周りのスタッフは責めずに支援しましょう。

至急の対応 「HIV の予防内服は受傷後 2 時間以内が有効」です。血液検査に最低でも 50 分かかります。

そのため、受傷後 1 時間以内に受傷者、汚染源である患者の採血をする必要があります。

連絡調整者 健康管理センターに連絡が入ると、保健師が事故の状況の聞き取りをします。受傷者が、受傷部位の処置や採血等で聴取に応じることが難しい場合や学生が事故を起こした場合は、現場で事故の状況を把握できる方に連絡調整者をお願いしています。ご協力をお願いします。

健康管理センターへ来室 検体を免疫検査室に届け終わったら、保険証・診察券を持参し、健康管理センターまで来室してください。受診の流れについて説明をします。

受診の流れ 「血液・腫瘍内科」は HIV 予防内服の判断のため 2 時間以内に、
「消化器・肝臓内科」は B・C 型肝炎の感染予防のため 48 時間以内に受診します。
新患受付で労災カルテを作成してから受診します。夜間・休日の場合は、翌開院日に労災カルテを作成します。

健康管理センターへ再来室 健康管理センターで次回受診の確認と労災手続きの説明をします。

次回の受診が難しい場合は、血液・腫瘍内科及び消化器・肝臓内科へ連絡をし、受診日時の調整をお願いします。

※ 夜間・休日の場合は、受傷者が「針刺し及び粘膜暴露事故連絡票」を記入し、1・2 次外来（血液・腫瘍内科）を受診します。その際は、夜勤師長に支援をお願いしています。翌開院日の朝、健康管理センターへ必ずご連絡ください。その後の対応について説明します。

※ 医療安全対策マニュアル 第 13 版の p.225～p.227 についてもご参照ください。

2) 掲示

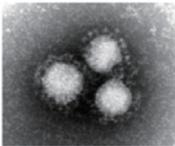
27 健康第1号
平成27年6月17日

マース MERSを知っていますか!?

次の場合は、健康管理センターへご相談ください。

**発熱や咳などの症状があり、
発症前2週間以内に、韓国、中国、
中東地域に渡航歴がある場合**

マース
○ MERSの主な症状は、発熱、咳、息切れです。下痢・嘔吐などの消化器症状を伴う場合もあります。
○ 感染経路として、飛沫・接触感染が考えられているので、咳があるときはマスクを着用し、うがい・手洗いを行いましょう。
○ 上記の渡航歴及び症状がある人と接触した場合も、注意が必要ですので、健康管理センターへご相談ください。



MERS コロナウィルスの電顕写真
(国立感染症研究所 ウイルス第三部・感染症疫学センター)

健康管理センター
内丸 (3816・3818)・矢巾 (5022)

27 健康第2号
平成27年6月22日

熱中症を予防しよう!

暑さを選ぼう!

【室内では…】

- こまめな室温確認、WBGT値(※真暑指数)の測定 ・ブラインドやすだれ、緑のカーテンの利用
- 扇風機やエアコンで室温調節を！室内設定温度は26度を推奨(外気温との差は7度以内)

【屋外、外出時は…】

- 日傘や帽子の着用 ・日陰の利用、こまめな休憩 ・天気の良い日は、日中の外出を控える

【からだの暑熱を避けるために…】

- 通気性のよい、吸汗・速乾素材の衣服を着用する ・保冷剤や冷たいタオルなどで、からだを冷やす

こまめに水分補給を

- 室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分補給を！
- 大量の発汗がある時は、スポーツドリンク飲料等の塩分濃度0.1~0.2%程度の水分摂取を！

こんなときは要注意!

- 暑くなり始めや急に暑くなる日
- 体調不良のとき
- 運動部の1年生は、まだ慣れていない、無理をしがちな、などの理由で、特に熱中症の発生が多くなっています。



1Lの水に1~2gの塩分

熱中症の症状

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、気分が悪い
- 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、いつもと様子が違う

重症 ○ 意識がおかしい、意識消失、けいれん、からだか熱い

熱中症かも! ?と思ったら…

- 涼しい場所へ避難
- 衣服を脱がせ、からだを冷やす
- 水分・塩分を補給する

自力で水を飲み続け、意識が弱い場合は、直ちに救急車を呼びましょう!



27 健康第3号
平成27年10月14日

インフルエンザは、 一人ひとりの予防から

本学でのインフルエンザワクチン接種日程は、下記の通りです。
ワクチン接種を行い、発症・重症化を防ぎましょう。

【日程】

10月22日(木)・23日(金) 13:00~17:00
実施場所: 矢巾キャンパス 西講義実習棟2階スタディールム

10月24日(土) 10:00~12:00
実施場所: 内丸キャンパス 3・4号館1階多目的室1

10月26日(月)~30日(金) 13:30~17:00
実施場所: 内丸キャンパス 3・4号館1階多目的室1

※学生・職員ともに予約票、個人負担分1,500円を持参のうえ、お越し下さい。

【今日からできる予防対策】

- 人混みでは使い捨てマスクを着用する。
- 外から帰った時や食事の前には、流水でうがいと手洗いをする。
- 十分な睡眠をとり、バランスのよい食事を心がける。
- 咳エチケットを励行する。

【咳エチケットとは?】

- 咳やくしゃみが出るときはティッシュで おさえる・顔をそむける
- 鼻汁・痰を含んだティッシュは ふた付きのゴミ箱に捨てる
- 咳やくしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手は **すぐに洗う**
- 咳やくしゃみが出たら **マスクを正しく着用する**



内丸健康管理センター (3816・3818)
矢巾健康管理センター (5022・5019)

※ **WBGT 値(暑さ指数)**を知っていますか?

WBGT 値(暑さ指数)は、①温度、②日射・輻射などの周辺の熱環境、③気流の3つを取り入れた、熱中症予防のための指標です。
(公財)日本体育協会では「熱中症予防運動指針」、日本気象学会では「日常生活に関する指針」を公表しています。
普段の生活の場面と運動をすするときでは、**注意すべき活動の目安が異なりますので、それぞれ確認しておきましょう。**

気温(参考)	湿度基準(WBGT)	注意すべき生活活動の目安
35度以上	31度以上	運動は原則中止 特別の場合以外は、運動を中止する。
31~34度	28~30度	激しい運動は中止 激しい運動は中止 熱中症の危険性が高い。激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合は、頻りに休息をとり、水分・塩分の補給を行う。体力の弱い人や運動に慣れていない人は中止。
28~30度	25~27度	警戒(積極的に休息) 熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり、適量、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
24~27度	21~24度	注意(積極的に水分補給) WBGT21度以上では、熱中症による 死亡事故が発生する可能性 がある。熱中症の予防に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
23度以下	20度以下	確認安全(適量水分補給) 通常は熱中症の危険は小さいが、適量、水分・塩分の補給は必要。市販マシソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

(公財)日本体育協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」2013.2/4

○日常生活に関する指針

湿度基準(WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険(31度以上)	すべての生活活動でおこる危険性	外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
最悪警戒(28~30度)		外出時は表天下を避け、室内では室温の上界に注意する。
警戒(25~27度)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は、定期的に十分に休息を取り入れる。
注意(24度以下)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが、激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

日本気象学会「日常生活に関する熱中症予防指針Ver.3」2013.2/4



健康管理センター 内丸 (3816・3818) 矢巾 (5022)

27 健管第4号
平成27年11月16日

学生 各位
職員 各位

インフルエンザに注意!

風邪やインフルエンザが心配なシーズンに入りました。下記の予防策に留意してください。

流水での手洗い・うがい **十分な睡眠とバランスの良い食事**

人混みでのマスクの着用&咳エチケット
【咳エチケットとは】

- 咳、くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむける。
- 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てる。
- 症状のある人はマスクを正しく使用し、感染防止に努める。

インフルエンザと診断されたら

【学生】①発症後5日間かつ解熱後2日間は登校できません。【学校保健安全法】
②各教務課に電話で報告する。
(教務課へ欠席願ひ、追試験願ひを提出する場合は診断書が必要です。)

【職員】感染対策の観点から解熱後3日以上、かつ発症後5日以上経過から就業可。

岩手医科大学 健康管理センター
TEL: 019-651-5110
丸丸キャンパス (内線 3816・3818)
矢巾キャンパス (内線 5022・5019)

27 健管第5号
平成28年1月21日

学生 各位
職員 各位

インフルエンザ発生!

学内でインフルエンザが発生しました。下記に留意してください。

インフルエンザ予防対策!!

=咳エチケットに留意しましょう=

人混みや外出時
うがい
マスク
手洗い

バランスの良い食事 睡眠も十分に!

インフルエンザと診断されたら

【学生】①発症後5日間かつ解熱後2日間は登校できません。【学校保健安全法】
②各教務課に電話で報告する。
(教務課へ欠席願ひ、追試験願ひを提出する場合は診断書が必要です。)

【職員】感染対策の観点から解熱後3日以上、かつ発症後5日以上経過から就業可。

岩手医科大学 健康管理センター
TEL: 019-651-5110
丸丸キャンパス (内線 3816・3818)
矢巾キャンパス (内線 5022・5019)

27 健管第6号
平成28年2月8日

学生 各位
職員 各位

ジカ熱が流行しています!!

ジカ熱は、南米地域を中心に感染が確認されており、ブラジルでは妊娠中のジカ熱感染と胎児の小頭症に関連がみられると発表されています。

感染経路は、ウイルスに感染した媒介蚊の吸血によりヒトへ感染します。

流行地域への渡航は、可能な限り控えましょう。

【症状】
軽度の発熱 (38.5℃以下)
頭痛、関節痛、筋肉痛、斑丘疹、
疲労感、倦怠感

【潜伏期】
3~12日 (概ね2週間)

【流行地域等】
ブラジル、コロンビア、エルサルバドル、仏領ギアナ、グアテマラ、
ハイチ、ホンジュラス、マルティニーク、メキシコ、パナマ、
パラグアイ、ペルー、スリナム、ベネズエラ等の南米地域
(1月15日時点)

岩手医科大学 健康管理センター
TEL: 019-651-5110
丸丸キャンパス (内線 3816・3818)
矢巾キャンパス (内線 5022・5019)

27 健管第7号
平成28年2月23日

学生 各位
職員 各位

インフルエンザ警報!

定点30超え(警報)に達しました。
厳重に予防策に留意してください。

ウイルスは ドアノズ必注意
咳い捨てマスクと手洗いうがい
37.5℃以上 発熱症状 早朝受診
なるべく 人混み避けて
インフルエンザ 「かからず!」「うつさず!」

インフルエンザと診断されたら

【学生】①発症後5日間かつ解熱後2日間は登校できません。【学校保健安全法】
②各教務課に電話で報告する。
(教務課へ欠席願ひ、追試験願ひを提出する場合は診断書が必要です。)

【職員】感染対策の観点から解熱後3日以上、かつ発症後5日以上経過から就業可。

岩手医科大学 健康管理センター
TEL: 019-651-5110
丸丸キャンパス (内線 3816・3818)
矢巾キャンパス (内線 5022・5019)

学生 各位
職員

27 発信第8号
平成28年3月17日

インフルエンザが注意!

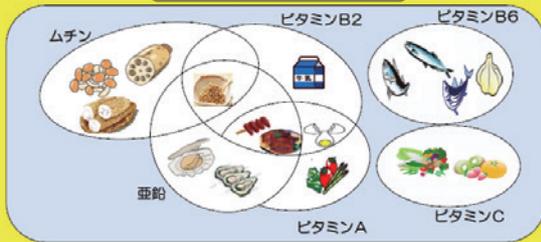
引き続き警戒が必要です。

- ・人混みではマスク着用・咳い捨て
- ・帰宅時や食事前に手洗い・うがい
- ・風邪症状 早期受診
- ・感染はしっかりと
- ・栄養バランス万全に



粘膜を強くする食材を摂取することで、目・鼻・口・喉などからのウイルスなどの異物侵入から身体を守ってくれます。積極的に下記食材を摂取して、この時期を乗り切りましょう。

【粘膜を強くする栄養素・食材】



インフルエンザと診断されたら

【学生】①発症後5日間かつ解熱後2日間は登校できません。【学校保健安全法】

②各教務課に電話で報告する。

(教務課へ欠席願い、追試験願いを提出する場合は診断書が必要です。)

【職員】感染対策の観点から解熱後3日以上、かつ発症後5日以上経過から就業可。

西宮大学 健康支援センター
TEL: 079-651-5110
緊急時には 050-882-8218

VI 平成 27 年度学会・研修会

VI 平成 27 年度学会・研修会

1. 学会・研修会等参加状況

開催月日	件名	出席者名	会場
5/16～ 5/18	日本学生相談学会第 33 回大会	氏家真梨子	広島修道大学、 広島アンデルセン
9/9	全国大学保健管理協会第 8 回総会	佐々木志津子	盛岡市民文化ホール 「マリオス」
9/9～ 9/10	第 53 回全国大学保健管理研究集会	村山 美保 名郷根郁子 赤井 純子 藤井ヌイ子	盛岡市民文化ホール 「マリオス」
10/3	日本認知・行動療法学会第 41 回大会・ ワークショップ	畠山 秀樹	仙台国際センター、 東北学院大学土樋 キャンパス
2/25	平成 27 年度（公財）岩手県対がん協会 検診担当者研修会	赤井 純子 藤井ヌイ子	ホテルメトロポリタン 盛岡本館
3/4	第 23 回花巻フォーラム	氏家真梨子	国立病院機構花巻病院

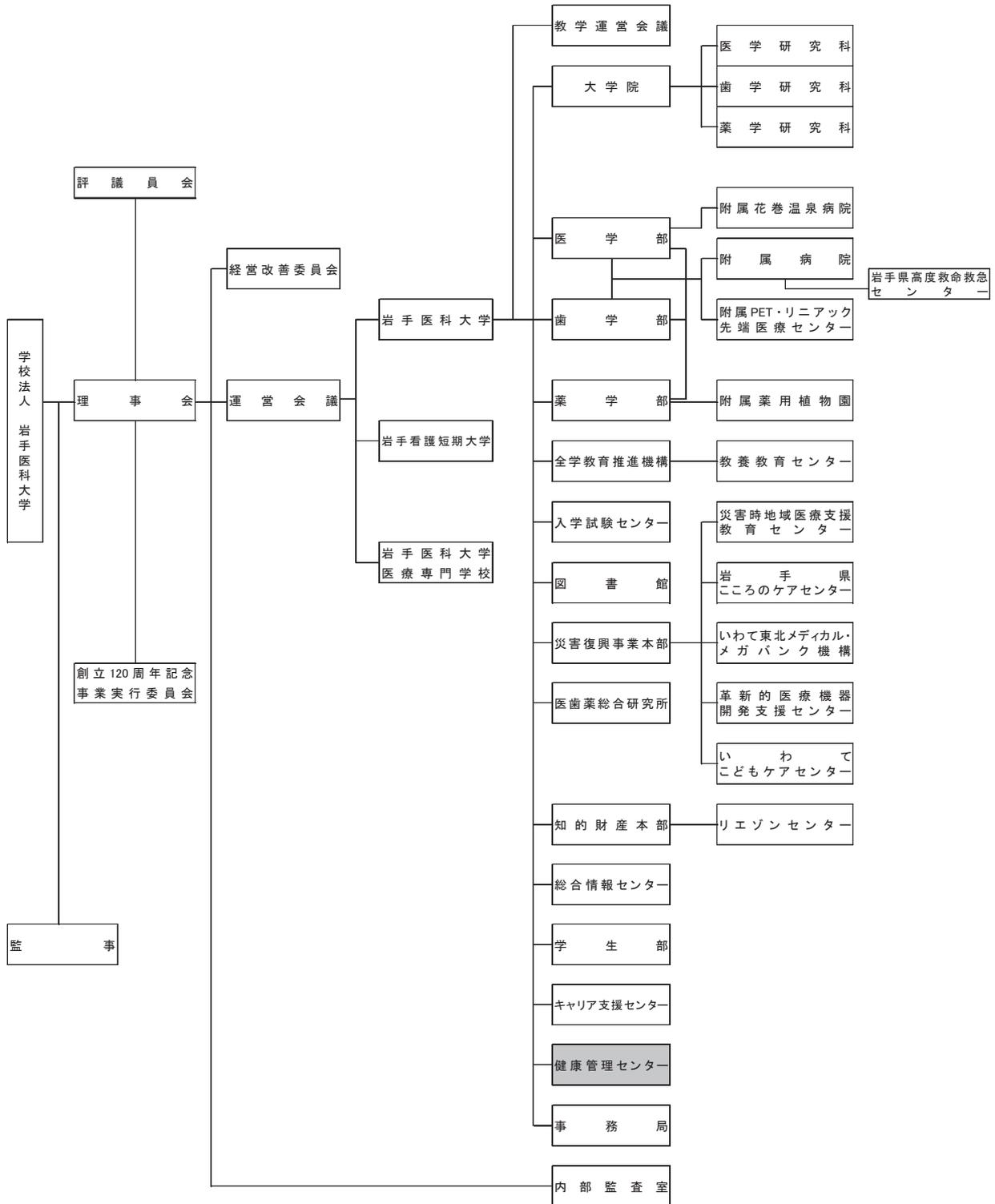
I 平成 28 年度健康管理センター 管理体制

I 平成 28 年度健康管理センター管理体制

1. 沿革

平成 17 年 4 月 1 日	健康管理センター設置 健康管理センター規程制定 鈴木一幸附属病院副院長が健康管理センター長兼務 健康管理センターが 8 号館 1 階に新設
平成 18 年 6 月 1 日	神経精神科学講座酒井明夫教授がセンター長就任
平成 18 年 7 月 25 日	健康管理センターだより創刊号発行
平成 19 年 4 月 1 日	矢巾キャンパス竣工 薬学部・共通教育センター開設に伴い、矢巾キャンパスに健康管理センター設置 産業医規程、学校医規程、学生健康診断規程制定
平成 19 年 10 月 29 日	健康管理センターが現場所 2 号館 2 階に移転
平成 20 年 6 月 1 日	整形外科科学講座嶋村正教授がセンター長就任
平成 22 年 4 月 1 日	健康管理センター事務室設置
平成 23 年 12 月 19 日	外来診療棟 3 階に健康管理室（休養室）新設
平成 24 年 4 月 1 日	事務局組織機構図の一部改正に伴い、総務部健康管理センター事務室に改正
平成 25 年 4 月 1 日	眼科学講座黒坂大次郎教授がセンター長就任
平成 26 年 7 月 22 日	休養室が東病棟 1 階に移転
平成 28 年 4 月 1 日	内科学講座糖尿病・代謝内科分野石垣泰教授がセンター長就任

2. 組織図



3. 規程

1) 岩手医科大学組織規程（抜粋）

第8章健康管理センター

（健康管理センター）

第38条 本学に健康管理センターをおく。

- 2 健康管理センターにセンター長、必要により副センター長をおくことができる。
- 3 センター長、副センター長は、学長が人事委員会に諮って選考し、理事会の議を経て理事長が任命する。その任期は3年とし再任を妨げない。
- 4 センター長は所属する職員を指導監督し、健康管理センターの管理運営にあたる。
- 5 副センター長はセンター長を補佐し、センター長事故あるときはその職務を代理する。
- 6 健康管理センターに師長をおく。
- 7 師長は学長が人事委員会の意見を聞いてこれを任命する。
- 8 師長はセンター長、副センター長の指揮の下に所属職員を指導監督し、センターの円滑な管理運営にあたる。
- 9 健康管理センターの管理運営については、別に定める。

（センターの事務）

第38条の2 健康管理センターに健康管理センター事務室を設け、事務員をおくことができる。

- 2 健康管理センター事務室の事務分掌及び業務の処理については別に定める。

2) 岩手医科大学健康管理センター規程

第1条 岩手医科大学の学生、職員等の健康管理を一元的に行うため、健康管理センター（以下「センター」という。）を置く。

第2条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 定期・臨時の健康診断に関すること。
- (2) 健康診断後の必要な指導に関すること。
- (3) 健康相談に関すること。
- (4) 精神衛生に関すること。
- (5) 環境衛生及び感染症の予防に関すること。
- (6) 学内保健計画の立案に関すること。
- (7) 急患に関する応急処置に関すること。
- (8) その他健康管理に関すること。

第3条 センターに次の各号に掲げる職員を置く。ただし、兼務によることを妨げない。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 医師
- (4) 師長
- (5) 看護師
- (6) 保健師
- (7) 臨床心理士
- (8) 事務員

2 センター長は医学部臨床系教授の兼務とし、副センター長は医師の兼務とする。センター長、副センター長の任命は組織規程の定めるところによる。

3 師長は看護師、保健師及び臨床心理士の内から学長が人事委員会の意見を聞いて任命する。

4 センターの業務を円滑に実施するため、関連部署との連携に留意するものとし、特に感染症予防については感染症対策室と密接に連携を図るものとする。

第4条 センターに健康管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第5条 委員会は、センター長を委員長とし、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 副センター長
- (2) 学生部長
- (3) 学生副部長
- (4) 病院長
- (5) 産業医 1 名
- (6) 学校医 1 名
- (7) 事務局長
- (8) 学務部長
- (9) 病院事務部長
- (10) 看護部長
- (11) 総務部長
- (12) 人事職員課長
- (13) 学事総務課長
- (14) 健康管理センター師長
- (15) その他委員会が必要と認める者

第 6 条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 学内保健計画に関する事項
- (2) 健康管理の維持改善に関する事項
- (3) その他センター長が必要と認めた事項

2 委員会は、必要ある場合センター長が招集し、その議長となる。

第 7 条 委員会の事務は健康管理センターが行う。

第 8 条 この規程の改廃は、健康管理センター運営委員会の審議を経て健康管理センター長が行う。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

この規程は、平成18年2月10日から施行する。

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

〃	中村 昌太郎	学校医（内科学講座消化器内科消化管分野・准教授）
〃	吉田 達朗	事務局長
〃	横澤 正浩	学務部長
〃	齊藤 俊哉	病院事務部長
〃	吉田 秀樹	総務部長
〃	三浦 幸枝	看護部長
〃	澤田 幸司	人事職員課長
〃	伊藤 努	学事総務課長
〃	佐々木 志津子	健康管理センター・師長

健康管理センタースタッフ（平成28年4月1日現在）

<内丸キャンパス>

職名	氏名	備考
センター長（兼）	石垣 泰	内科学講座糖尿病・代謝内科分野・教授 平28.4.1～
師長	佐々木 志津子	平26.4.1～
保健師	名郷根 郁子	平22.3.30～
〃	赤井 純子	平27.4.1～
臨床心理士	畠山 秀樹	平18.4.1～

<矢巾キャンパス>

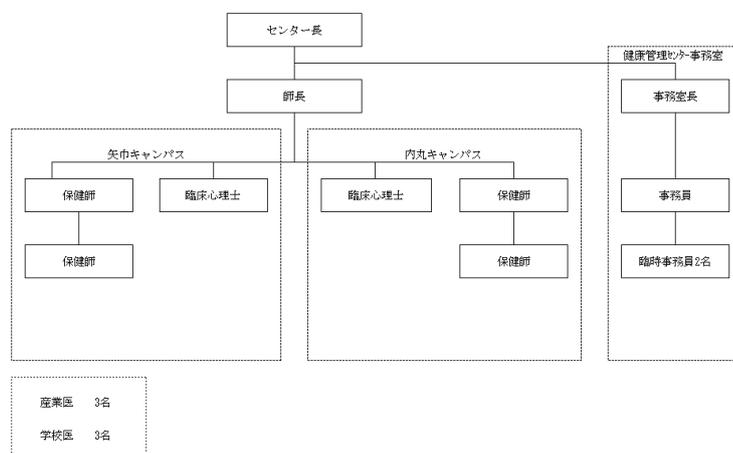
職名	氏名	備考
保健師	藤井 ヌイ子	平18.4.1～
〃	村山 美保	平21.11.1～
臨床心理士	氏家 真梨子	平26.4.1～

<健康管理センター事務室>

職名	氏名	備考
室長	藤枝 重彦	平26.4.1～
事務員	渡辺 尚子	平28.1.1～
臨時事務員	及川 晴恵	平23.11.1～
臨時事務員	川畑 史江	平28.4.1～

5. 健康管理センター体制

<平成28年度>



6. 各種委員会・会議開催状況

1) 健康管理センター運営委員会

第1回健康管理センター運営委員会
日時：平成28年7月26日（火）15：30～
場所：循環器医療センター3階 会議室

第2回健康管理センター運営委員会
日時：平成29年2月27日（月）16：00～
場所：歯学部4階会議室（内丸）
本部棟4階小会議室（矢巾）
※TV会議

2) 健康管理センターミーティング

日時：毎月第三水曜日 11：10～
場所：内丸キャンパス健康管理センター

7. 健康管理センター各室
【内丸キャンパス】



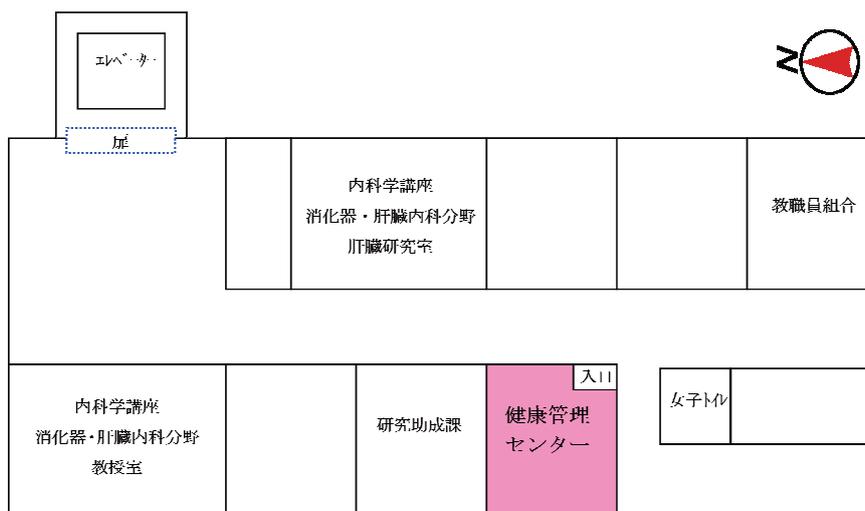
休 養 室



相 談 室



健康管理センター



医学部2号館・2階・214室

※休養室と相談室は別の場所にあります。
※休養室：東病棟1階 相談室：記念館8階

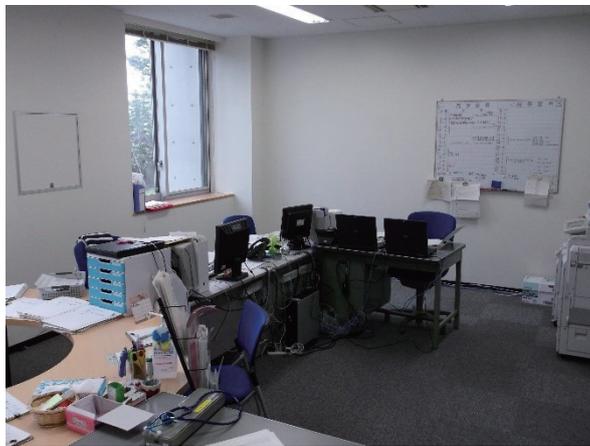
【矢巾キャンパス】



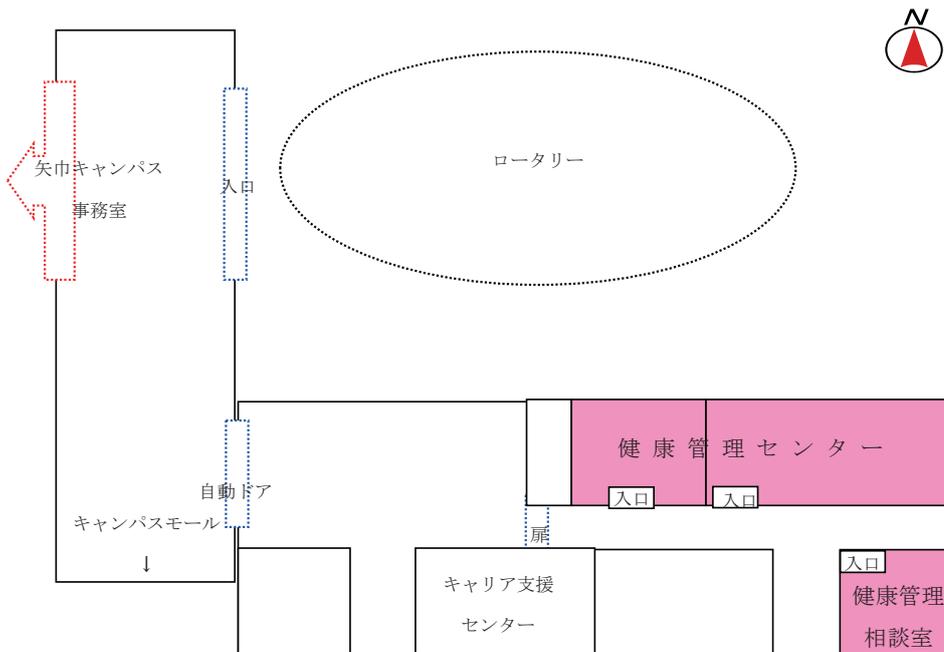
休 養 室



相 談 室



健康管理センター



東研究棟 1階 104・105・106 室

Ⅱ 平成 28 年度事業報告

II 平成 28 年度事業報告

1. スケジュール（健康診断等及びワクチン接種日程）

	職 員	学 生
4月	21日(木)～5月2日(月) 有機溶剤・特定化学物質調査及び問診票(対象者)	
5月	20日(金)～6月8日(金) 電離放射線業務従事者問診票(対象者) 26日(木)・27日(金)花巻温泉病院 23日(月)～25日(水)、30(月)・31(火)内丸キャンパス 定期健康診断 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) B型肝炎ワクチン接種前検査(希望者) C型肝炎抗体検査(希望者) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎抗体検査(小児病棟新規配属者)	6日(金)、9日(月)・10日(火)矢巾キャンパス 健康診断 B型肝炎ワクチン接種前検査(医3・4年、歯・薬4年、看護短大1年、専攻科) 13日(金)内丸キャンパス 健康診断 B型肝炎ワクチン接種前検査(看護短大2・3年、歯衛生・歯技工1年) 26日(木)・27日(金) B型肝炎ワクチン1回目接種 (医3・4年、歯・薬4年、看護短大1・2・3年、専攻科、歯衛生・歯技工1年)
6月	6日(月)・7日(火)矢巾キャンパス 定期健康診断 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) B型肝炎ワクチン接種前検査(希望者) C型肝炎抗体検査(希望者) 16日(木) 石綿健康診断(対象者)	23日(木)・24日(金) B型肝炎ワクチン2回目接種 (医3・4年、歯・薬4年、看護短大1・2・3年、専攻科、歯衛生・歯技工1年)
7月	26日(火)・27日(水) B型肝炎ワクチン1回目接種(対象者) 26日(火)～8月4日(木) VDT健診	
8月	2日(火)～10日(水) ストレスチェック 23日(火)・24日(水) B型肝炎ワクチン2回目接種(対象者)	
9月	1日(木)・2日(金) VDT健診(要検査者) 5日(月)～23日(金)内丸キャンパス 26日(月)花巻温泉病院 胃検診(40歳以上の希望者) 13日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種(対象者)	
10月	3日(月)～12日(水) 有機溶剤・特定化学物質調査及び問診票(対象者) 31日(月)～11月18日(金) 電離放射線業務従事者問診票(対象者)	
	20日(木)～26日(水)内丸キャンパス・花巻温泉病院・インフルエンザワクチン接種(希望者) 28日(金)・31日(月)矢巾キャンパス・インフルエンザワクチン接種(希望者)	
11月	15日(火)～18日(金) 特定業務従事者健康診断(対象者) 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) 22日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種(対象者)	10日(木)・11日(金) B型肝炎ワクチン3回目接種 (医3・4年、歯・薬4年、看護短大1・2・3年、専攻科、歯衛生・歯技工1年)
12月	5日(月)～14日(水) 大腸がん検診(40歳以上の希望者) 15日(木) 石綿健康診断(対象者) 22日(木) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種後採血(対象者)	8日(木)・9日(金) B型肝炎ワクチン接種後採血 (医3・4年、歯・薬4年、看護短大1・2・3年、専攻科、歯衛生・歯技工1年)
1月	10日(火)・11日(水) B型肝炎ワクチン3回目接種(対象者)	12日(木) B型肝炎ワクチン追加接種 (医3・4年、歯・薬4年、看護短大1・2・3年、専攻科、歯衛生・歯技工1年)
2月	7日(火)・8日(水) B型肝炎ワクチン接種後採血(対象者) 28日(火) B型肝炎ワクチン追加接種(対象者)	9日(木) B型肝炎ワクチン追加接種後採血 (医3・4年、歯・薬4年、看護短大1・2・3年、専攻科、歯衛生・歯技工1年)
3月	25日(土) 雇入時健康診断 28日(火)・29日(水) B型肝炎ワクチン追加接種後採血(対象者)	

2. 学生健康管理実施状況

1) 学生健康診断

(1) 学部

<健診項目>

全学年共通：身長・体重・血圧測定、内科診察、視力検査、眼科診察、耳鼻科診察

1年生：全学共通＋胸部X線撮影、尿検査、血液検査、歯科健診

4年生：全学共通＋胸部X線撮影、尿検査、血液検査

※健診対象外は、休学・退学者

<実施日>

矢巾キャンパス：平成28年5月6日(金)、9日(月)、10日(火)

内丸キャンパス：平成28年5月13日(金)

<結果集計>

	在籍者		対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳						医療機関受診者						
	男	女					A 特記事項なし	B-1 要経過観察	B-2 要指導	C-1 要治療継続	C-2 要受診	C-1 要治療継続	C-2 要受診	要治療継続	要受診	要治療継続	要受診		
																		1	2
1年	95	35	130	1	129	100.0%	17	13.1%	42	32.5%	1	0.7%	8	6.2%	61	47.2%	12	19.7%	
2年	94	39	133	1	132	131	99.2%	56	42.7%	36	27.4%	3	2.2%	11	8.4%	25	19.0%	5	20.0%
3年	75	47	122	0	122	122	100.0%	57	46.7%	26	21.3%	7	5.7%	3	2.4%	29	23.7%	9	31.0%
4年	95	39	134	0	134	134	100.0%	18	13.4%	60	44.7%	4	2.9%	12	8.9%	40	29.8%	14	35.0%
5年	109	45	154	1	153	153	100.0%	60	39.2%	29	18.9%	15	9.8%	4	2.6%	45	29.4%	5	11.1%
6年	95	38	133	1	132	128	96.9%	57	44.5%	31	24.2%	7	5.4%	5	3.9%	28	21.8%	1	3.6%
1年	41	16	57	0	57	57	100.0%	6	10.5%	20	35.0%	0	0.0%	4	7.0%	27	47.3%	10	37.0%
2年	45	34	79	0	79	79	100.0%	42	53.1%	10	12.6%	4	5.0%	4	5.0%	19	24.0%	5	26.3%
3年	37	20	57	0	57	57	100.0%	30	52.6%	8	14.0%	5	8.7%	2	3.5%	12	21.0%	0	0.0%
4年	29	27	56	0	56	56	100.0%	7	12.5%	19	33.9%	3	5.3%	1	1.7%	26	46.4%	3	11.5%
5年	27	15	42	0	42	42	100.0%	10	23.8%	10	23.8%	2	4.7%	3	7.1%	17	40.4%	1	5.9%
6年	52	26	78	0	78	78	100.0%	32	41.0%	14	17.9%	7	8.9%	2	2.5%	23	29.4%	1	4.3%
1年	63	89	152	1	151	151	100.0%	23	15.2%	47	31.1%	7	4.6%	12	7.9%	62	41.0%	21	33.9%
2年	77	82	159	0	159	158	99.3%	89	56.3%	18	11.3%	13	8.2%	8	5.0%	30	18.9%	3	10.0%
3年	84	100	184	1	183	182	99.4%	87	47.8%	34	18.6%	5	2.7%	14	7.6%	42	23.0%	9	21.4%
4年	48	88	136	0	136	135	99.2%	30	22.2%	46	34.0%	7	5.1%	1	0.7%	51	37.7%	9	17.6%
5年	56	80	136	0	136	136	100.0%	50	36.7%	13	9.5%	20	14.7%	13	9.5%	40	29.4%	9	22.5%
6年	66	83	149	0	149	149	100.0%	81	54.3%	17	11.4%	13	8.7%	8	5.3%	30	20.1%	10	33.3%
合計	1188	903	2091	6	2085	2077	99.6%	752	36.3%	480	23.1%	123	5.9%	115	5.5%	607	29.2%	127	20.9%

<結果>

対象：全学年

要受診判定項目の内訳

		対象者	受診者	内科	高血圧	眼科	耳鼻科
医学部	1年	129	129	2	5	41	0
	2年	132	131	2	9	17	0
	3年	122	122	3	9	20	0
	4年	134	134	2	4	12	0
	5年	153	153	3	10	36	0
	6年	132	128	2	7	19	3
歯学部	1年	57	57	2	4	13	0
	2年	79	79	1	3	17	0
	3年	57	57	1	3	8	0
	4年	56	56	1	2	18	0
	5年	42	42	1	3	14	0
	6年	78	78	1	8	16	0
薬学部	1年	151	151	0	4	48	0
	2年	159	158	0	5	29	0
	3年	183	182	2	5	37	0
	4年	136	135	4	5	26	0
	5年	136	136	2	5	34	0
	6年	149	149	1	8	23	0
合計		2085	2077	30	99	428	3

対象：1・4年

血液検査：要受診項目

		対象者	受診者	WBC	RBC	Hb	Ht	MCH	PLT	クレアチニン	UA	AST	ALT	γ-GTP	HDL-C	LDL-C	TG	血糖	HbA1c
医学部	1年	129	129	1	0	0	0	0	0	0	1	3	10	3	0	2	3	0	0
	4年	134	134	1	0	0	0	0	1	1	5	3	10	5	0	2	3	1	2
歯学部	1年	57	57	5	1	0	0	0	0	0	1	0	5	0	1	1	5	0	0
	4年	56	56	2	0	0	0	0	0	0	3	3	4	2	0	1	1	1	1
薬学部	1年	151	151	0	0	1	1	0	0	1	1	2	6	1	0	3	5	0	0
	4年	136	135	4	1	2	0	0	0	0	4	2	6	3	3	7	8	0	0
合計		663	662	13	2	3	1	0	1	2	15	13	41	14	4	16	25	2	3

対象：1・4年

尿検査：要受診項目

		対象者	受診者	尿糖	尿蛋白
医学部	1年	129	129	0	2
	4年	134	134	1	8
歯学部	1年	57	57	1	2
	4年	56	56	1	2
薬学部	1年	151	151	0	2
	4年	136	135	3	3
合計		663	662	6	19

対象：1・4年
胸部X線撮影

		対象者	受診者	判定内容		
				異常なし	要経過観察	要精密検査
医学部	1年	129	129	127	2	0
	4年	134	134	131	2	1
歯学部	1年	57	57	56	1	0
	4年	56	56	56	0	0
薬学部	1年	151	151	151	0	0
	4年	136	135	135	0	0
合計		663	662	656	5	1

対象：1年
歯科検診

	在籍者			対象外 健診	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳							
	男	女	計					A 良好		B 要指導		C1 要精密検査		C2 要治療	
医学部	95	35	130	1	129	125	96.9%	59	47.2%	16	12.8%	12	9.6%	38	30.4%
歯学部	41	16	57	0	57	57	100.0%	21	36.8%	14	24.6%	7	12.3%	15	26.3%
薬学部	63	89	152	1	151	146	96.7%	60	41.1%	25	17.1%	22	15.1%	39	26.7%
合計	199	140	339	2	337	328	97.3%	140	42.7%	55	16.8%	41	12.5%	92	28.0%

(2) 大学院生

<健診項目>
職員定期健康診断に準ずる

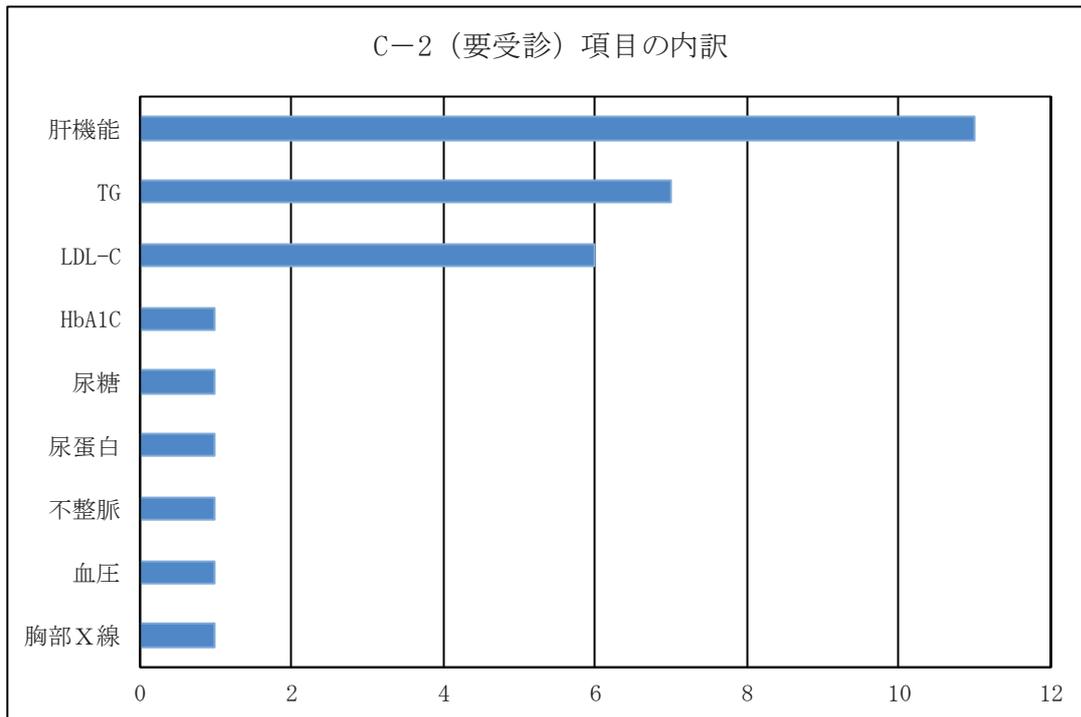
<実施日>
内丸キャンパス 平成28年5月23日(月)～25日(水)・30日(月)・31日(火)
矢巾キャンパス 平成28年6月6日(月)・7日(火)

<結果集計>

	在籍者	健診対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳			
						A 特記事項なし	B 要経過観察	C-1 要治療継続	C-2 要受診
医学部 修士	4	0	4	4	100.0%	1	1	1	1
	2	1	1	1	100.0%	1	0	0	0
医学部 博士	32	21	11	11	100.0%	2	3	3	3
	40	28	12	12	100.0%	3	4	1	4
	33	9	24	24	100.0%	12	6	3	3
	39	6	33	33	100.0%	14	14	1	4
歯学部 博士	5	0	5	5	100.0%	3	2	0	0
	3	0	3	3	100.0%	1	2	0	0
	11	1	10	10	100.0%	4	4	0	2
	13	0	13	13	100.0%	1	5	1	6
薬学部 博士	2	0	2	2	100.0%	0	1	0	1
	5	1	4	4	100.0%	1	2	0	1
	5	0	5	5	100.0%	0	4	1	0
	2	2	0	0	0.0%	0	0	0	0
合計	196	69	127	127	100.0%	43	48	11	25

※健診対象外：休学者、本学以外での研修者・勤務者等
※本学以外での研修者・勤務者等の健診結果 55名中41名提出（提出率：74.5%）

<結果>



n = 25 (複数該当あり)

(3) 岩手看護短期大学

<健診項目>

- 1年生・専攻科：身長・体重・体重・血圧測定、内科診察、視力検査、眼科診察、耳鼻科診察、胸部X線撮影、尿検査、血液検査
 - 2・3年生：身長・体重・BMI、内科診察（問診・血圧含む）、視力検査、聴力検査、尿検査
- ※健診対象外は、休学・退学者

<実施日>

- 1年生・専攻科：平成28年5月9日（月） 矢巾キャンパス
- 2・3年生：平成28年4月12日（火） 岩手県対がん協会に委託し実施

<結果集計>

	在籍者			健診対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳						医療機関受診者					
	男		女					A 特記事項なし	B-1 要経過観察		B-2 要指導		C-1 要治療継続		C-2 要受診				
	人数	割合	人数						割合	人数	割合	人数	割合		人数	割合	人数	割合	
看護学科 1年	6	59	65	0	65	65	100.0 %	14	21.5 %	20	30.7 %	1	1.5 %	2	3.0 %	28	43.0 %	27	96.4 %
地域看護学専攻	2	20	22	1	21	21	100.0 %	2	9.5 %	8	38.1 %	2	9.5 %	0	0.0 %	9	42.8 %	9	100.0 %
助産学専攻	0	15	15	0	15	15	100.0 %	3	20.0 %	4	26.6 %	1	6.6 %	0	0.0 %	7	46.6 %	7	100.0 %
合計	8	94	102	1	101	101	100.0 %	19	36.1 %	32	23.1 %	4	4.6 %	2	3.1 %	44	33.1 %	43	97.7 %

	在籍数			健診対象外	対象者	受診者	受診率	異常なし			要経過観察			要精検			
	男		女					人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	人数	割合	人数														
看護学科 2年	4	66	70	0	70	70	100.0 %	43	61.4 %	27	38.6 %	0	0.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %
看護学科 3年	9	58	67	0	67	67	100.0 %	40	59.7 %	25	37.3 %	2	3.0 %	2	3.0 %	2	3.0 %
合計	13	124	137	0	137	137	100.0 %	83	60.5 %	52	38.0 %	2	1.5 %	2	1.5 %	2	1.5 %

<結果>

対象：1年・専攻科

要受診判定項目の内訳

		対象者	受診者	内科	高血圧	眼科	耳鼻科
看護学科	1年	65	65	1	1	20	0
地域看護学専攻		21	21	0	1	7	0
助産学専攻		15	15	0	0	5	0
合 計		101	101	1	2	32	0

対象：1年・専攻科

血液検査：要受診項目

		対象者	受診者	WBC	RBC	Hb	Ht	MCH	PLT	クレアチニン	UA	AST	ALT	γ-GTP	HDL-C	LDL-C	TG	血糖	HbA1c
看護学科	1年	65	65	1	0	0	0	0	1	0	0	1	3	2	0	1	0	1	1
地域看護学専攻		21	21	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0
助産学専攻		15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		101	101	1	0	0	0	0	1	0	2	1	3	2	0	2	0	1	1

対象：1年・専攻科

尿検査：要受診項目

		対象者	受診者	尿糖	尿蛋白
看護学科	1年	65	65	2	3
地域看護学専攻		21	21	1	1
助産学専攻		15	15	1	2
合 計		101	101	4	6

対象：1年・専攻科

胸部X線撮影

		対象者	受診者	判定内容		
				異常なし	要経過観察	要精密検査
看護学科	1年	65	65	65	0	0
地域看護学専攻		21	21	20	0	1
助産学専攻		15	15	15	0	0
合 計		101	101	100	0	1

対象：2・3年

要受診判定項目の内訳

		対象者	受診者	高血圧
看護学科	2年	70	70	0
	3年	67	67	2
合 計		137	137	2

(4) 医療専門学校

<健診項目>

全学共通：身長・体重・血圧測定、内科診察、視力検査、眼科診察、耳鼻科診察
 1年生：全学共通＋胸部X線撮影、尿検査、血液検査、歯科健診
 ※健診対象外は、休学・退学者

<実施日>

内丸キャンパス：平成28年5月13日（金）

<結果集計>

	在籍者		健診 対象外	対 象者	受 診者	受 診率	総合判定の内訳						医療機関 受診者						
	男	女					計	A 特記事項なし	B-1 要経過観察	B-2 要指導	C-1 要治療継続	C-2 要受診							
歯科技工 学科	1年	7	7	14	1	13	100.0%	2	15.3%	2	15.3%	1	7.6%	1	7.6%	7	53.8%	3	42.9%
	2年	10	7	17	0	17	100.0%	3	17.6%	3	17.6%	2	11.7%	0	0.0%	9	52.9%	2	22.2%
歯科衛生 学科	1年	1	36	37	0	37	100.0%	4	10.8%	19	51.3%	1	2.7%	1	2.7%	12	32.4%	4	33.3%
	2年	0	28	28	0	28	100.0%	19	67.8%	3	10.7%	0	0.0%	0	0.0%	6	21.4%	6	100.0%
3年	0	35	35	0	35	100.0%	19	54.2%	3	8.5%	2	5.7%	2	5.7%	9	25.7%	2	22.2%	
合計	18	113	131	1	130	100.0%	47	36.1%	30	23.1%	6	4.6%	4	3.1%	43	33.1%	17	39.5%	

<結果>

対象：全学年

要受診項目の内訳

		対象者	受診者	内科	高血圧	眼科	耳鼻科
技工学科	1年	13	13	2	1	4	0
	2年	17	17	1	1	9	0
衛生学科	1年	37	37	0	0	11	0
	2年	28	28	1	2	4	0
	3年	35	35	1	0	8	0
合計		130	130	5	4	36	0

対象：1年

血液検査：要受診項目

		対象者	受診者	WBC	RBC	Hb	Ht	MCH	PLT	クレアチニン	UA	AST	ALT	γ-GTP	HDL-C	LDL-C	TG	血糖	HbA1c	
技工学科	1年	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
衛生学科	1年	37	37	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
合計		50	50	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0

対象：1年

尿検査：要受診項目

		対象者	受診者	尿糖	尿蛋白
技工学科	1年	13	13	0	0
衛生学科	1年	37	37	0	0
合計		50	50	0	0

対象：1年

胸部X線撮影

		対象者	受診者	判定内容		
				異常なし	要経過観察	要精密検査
技工学科	1年	13	13	13	0	0
衛生学科	1年	37	37	37	0	0
合計		50	50	50	0	0

対象：1年

歯科検診

	在籍者			対象外 健診	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳							
	男	女	計					A 良好		B 要指導		C1 要精密検査		C2 要治療	
								数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
技工学科	7	7	14	1	13	13	100.0%	5	38.5%	2	15.3%	3	23.1%	3	23.1%
衛生学科	1	36	37	0	37	37	100.0%	26	70.3%	0	0.0%	5	13.5%	6	16.2%
合計	8	43	51	1	50	50	100.0%	31	62.0%	2	4.0%	8	16.0%	9	18.0%

2) 各種ワクチン接種

(1) B型肝炎ワクチン接種

<対象者>

医学部3・4年、歯学部4年、薬学部4年
 歯科技工学科1年、歯科衛生学科1年
 看護学科1・2・3年、地域看護学専攻、助産学専攻
 ※本学において、過去に接種済みの学生は対象から除く

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成28年5月9日、13日

対象者	ワクチン接種前抗体価検査結果		
	陽性	不十分	陰性
717	15	21	681

<ワクチン接種対象者>

702名：抗体価不十分・陰性と判定された学生

<日程>

ワクチン接種1回目	5月26日、27日
ワクチン接種2回目	6月23日、24日
ワクチン接種3回目	11月10日、11日
ワクチン3回接種後抗体価検査	12月8日、9日
ワクチン追加接種	1月12日
ワクチン追加接種後抗体価検査	2月9日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	採血者	ワクチン接種後抗体価検査結果		
				陽性	不十分	陰性
1回接種	19	19	19	19	0	0
3回接種	683	677	673	479	136	58
3回接種後追加接種	194	174	163	99	51	13

※追加接種の対象者は、ワクチン3回接種後の抗体価検査で不十分・陰性と判定された学生

(2) インフルエンザワクチン接種

<接種日>

内丸キャンパス：平成28年10月20日(木)～22日(土)、24日(月)～26日(水)、11月4日(金)

矢巾キャンパス：平成28年10月28日(金)、31日(月)

学部	学年	対象者数	接種者数	本学での接種率 (%)	
				学部・学年	学部
医学部	1年生	129	107	82.9%	79.9%
	2年生	132	106	80.3%	
	3年生	122	110	90.2%	
	4年生	134	81	60.4%	
	5年生	153	116	75.8%	
	6年生	132	121	91.7%	
歯学部	1年生	57	44	77.2%	80.8%
	2年生	79	61	77.2%	
	3年生	57	41	71.9%	
	4年生	56	46	82.1%	
	5年生	42	36	85.7%	
	6年生	78	70	89.7%	
薬学部	1年生	147	134	91.2%	83.8%
	2年生	158	126	79.7%	
	3年生	183	159	86.9%	
	4年生	136	127	93.4%	
	5年生	136	97	71.3%	
	6年生	149	119	79.9%	
歯科衛生学科	1年生	37	37	100.0%	99.0%
	2年生	28	28	100.0%	
	3年生	35	34	97.1%	
歯科技工学科	1年生	14	12	85.7%	83.9%
	2年生	17	14	82.4%	
岩手看護短期大学	1年生	65	64	98.5%	98.8%
	2年生	70	70	100.0%	
	3年生	66	65	98.5%	
	専攻科(地域)	21	20	95.2%	
	専攻科(助産)	15	15	100.0%	
合計		2448	2060	84.2%	

※網掛けは矢巾キャンパス

※長期欠席・休学・退学(予定含み)は対象から除いた

3) 心理検査

<実施検査>

UPI (学生精神的健康調査) ; 全学部 1~3 年生、薬学部 4~6 年生

医学部	1 年	2 年	3 年
在籍学生数	130	133	122
実施者数	126	130	119
実施日	H28年5月20日	H28年5月6日, 9日, 10日	

歯学部	1 年	2 年	3 年
在籍学生数	57	79	57
実施者数	54	79	53
実施日	H28年5月20日	H28年5月6日, 9日, 10日	

薬学部	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
在籍学生数	153	159	184	136	136	149
実施者数	146	158	177	134	131	140
実施日	H28年5月20日	H28年5月6日, 9日, 10日				

<結果>

	実施者数	平均値	ハイスコア者数	割合
医 1	126	12.0	4	3.2%
医 2	130	6.6	1	0.8%
医 3	119	8.8	2	1.7%
歯 1	54	17.3	6	11.1%
歯 2	79	11.6	5	6.3%
歯 3	53	11.7	4	7.5%
薬 1	146	15.0	9	6.2%
薬 2	158	10.6	5	3.2%
薬 3	177	9.8	5	2.8%
薬 4	134	11.7	11	8.2%
薬 5	131	10.2	5	3.8%
薬 6	140	9.7	3	2.1%
全体	1447	10.9	60	4.1%

<UPI 学生精神的健康調査> 回答数が多かった上位3項目について

医学部

	1年	2年	3年
1位	首すじや肩がこる	首すじや肩がこる	首すじや肩がこる
2位	気分が波がありすぎる	やる気が出てこない	気疲れがする
3位	気疲れがする	決断力がない	やる気が出てこない

歯学部

	1年	2年	3年
1位	なんとなく不安である	気疲れがする	首すじや肩がこる
2位	首すじや肩がこる	気分が波がありすぎる	気疲れがする
3位	気疲れがする	首すじや肩がこる なんとなく不安である	やる気が出てこない 気分が波がありすぎる

薬学部

	1年	2年	3年
1位	なんとなく不安である	やる気が出てこない	首すじや肩がこる
2位	決断力がない	首すじや肩がこる	やる気が出てこない
3位	気疲れがする	気疲れがする	根気が続かない 決断力がない

	4年	5年	6年
1位	やる気が出てこない	首すじや肩がこる	首すじや肩がこる
2位	気疲れがする	やる気が出てこない	やる気が出てこない
3位	首すじや肩がこる	気疲れがする	なんとなく不安である

3. 職員健康管理実施状況

1) 職員健康診断

(1) 一般健康診断

① 雇入時健康診断

<健診項目>

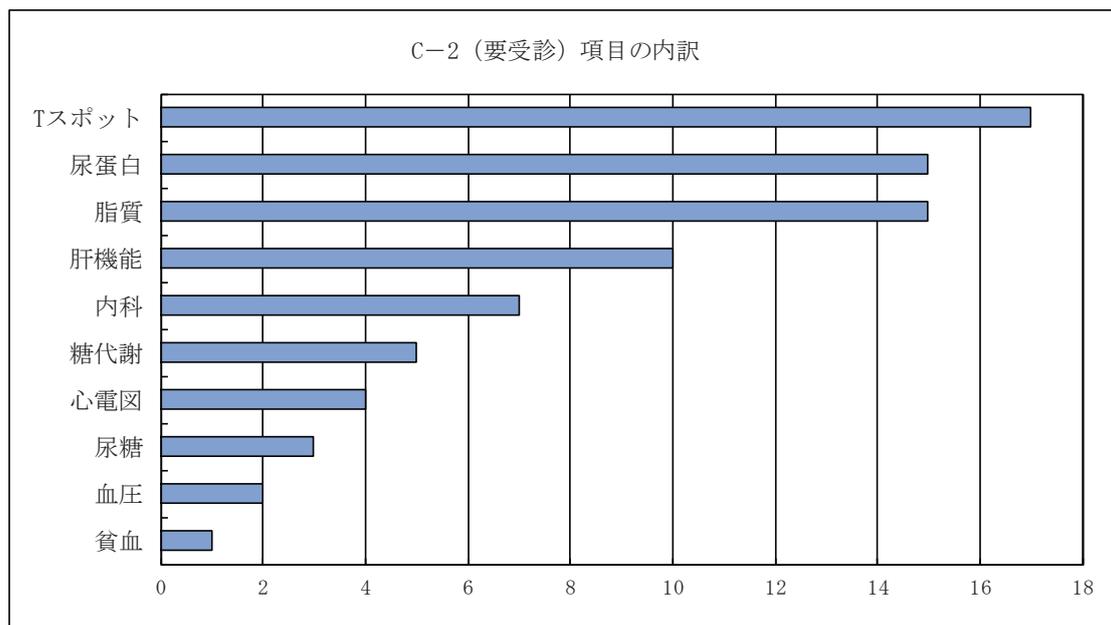
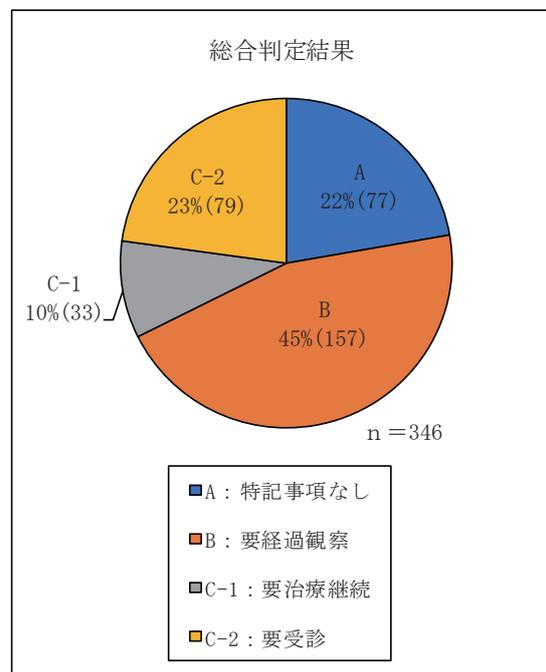
既往歴および業務歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力、胸部X線撮影、血圧、尿検査、血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、心電図検査、内科診察、Tスポット検査

	正規職員	臨時職員	合計
対象者	280	66	346
受診者	280	66	346
未受診者	0	0	0
受診率	100.0%	100.0%	100.0%

	正規職員	臨時職員	合計
A：特記事項なし	65	12	77
B：要経過観察	128	29	157
C-1：要治療継続	26	7	33
C-2：要受診	61	18	79

C-2（要受診）報告書提出状況

	正規職員	臨時職員	合計
提出者	49	12	61
提出率	80.3%	66.7%	77.2%



② 定期健康診断

<健診項目>

既往歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、腹囲（35歳・40歳以上）、視力、聴力、胸部X線撮影、血圧、血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、尿検査、心電図検査（35歳・40歳以上）、内科診察、眼底検査（前年度の健診結果、血糖・脂質・血圧・BMIの4項目有所見者）

<実施日>

内丸キャンパス：平成28年5月23日（月）～5月25日（水）、30日（月）、31日（火）

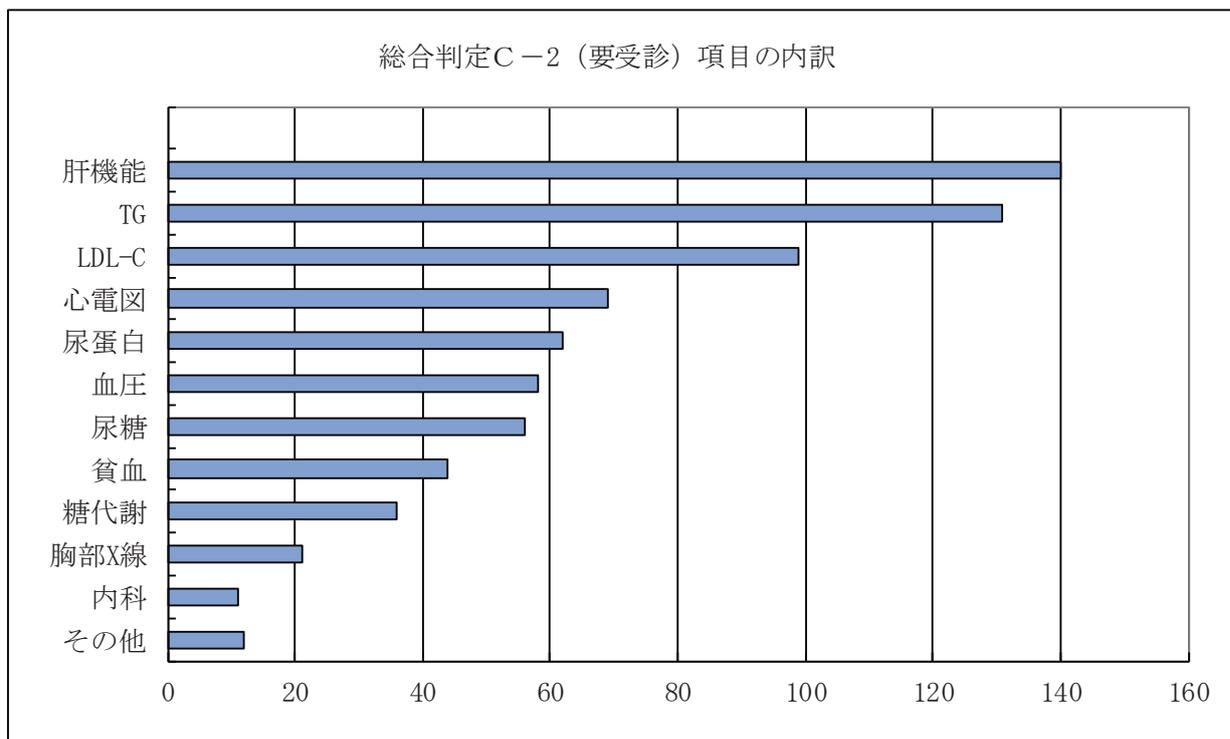
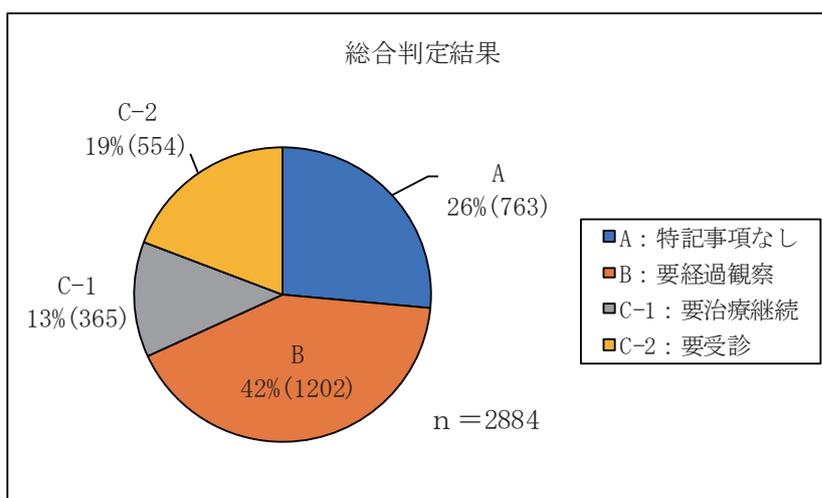
花巻温泉病院：平成28年5月26日（木）、27日（金）

矢巾キャンパス：平成28年6月6日（月）、7日（火）

対象者	2884
受診者	2884
未受診者	0
受診率	100.0%

C-2（要受診）報告書提出状況

C-2	554
提出者	243
提出率	43.9%



n = 554（複数該当あり）

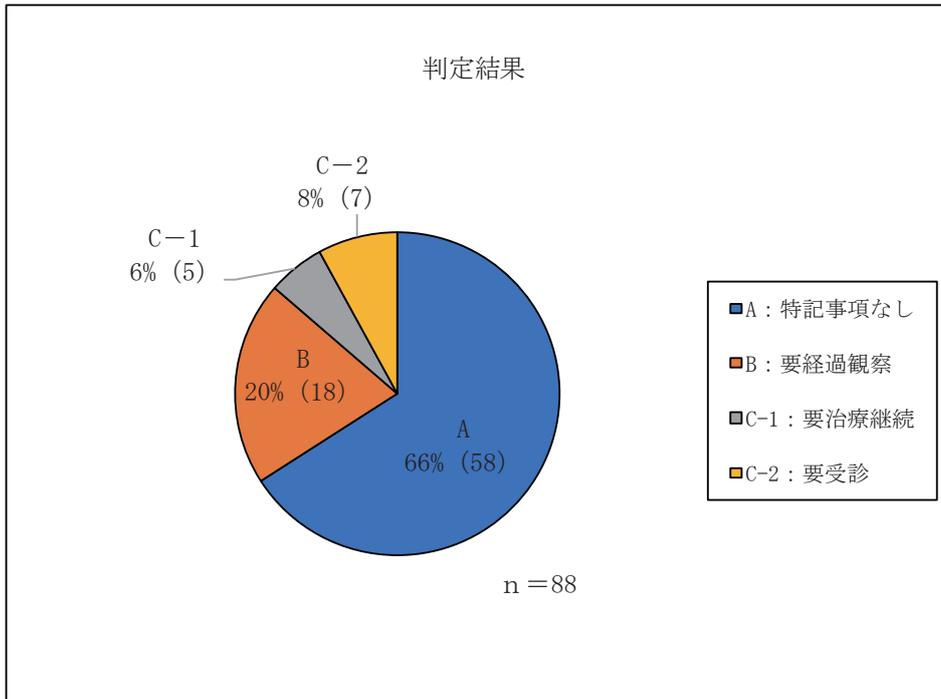
各項目別判定結果

<眼底検査> 前年度の健診結果、血糖・脂質・血圧・BMI の4項目有所見者

対象者	93
受診者	88
未受診者	5
受診率	94.6%



A：特記事項なし	58
B：要経過観察	18
C-1：要治療継続	5
C-2：要受診	7

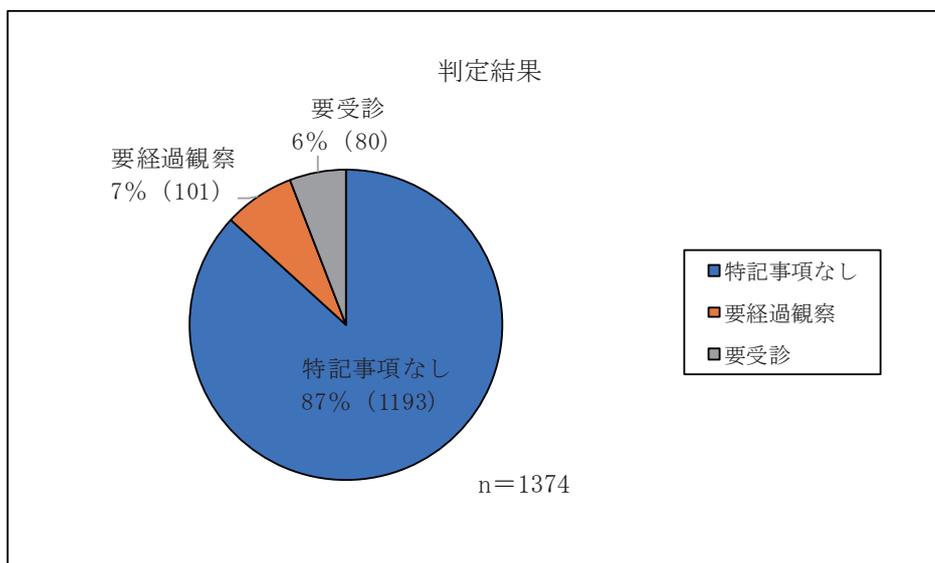


<心電図検査> 35歳・40歳以上

対象者	1374
受診者	1374
未受診者	0
受診率	100.0%



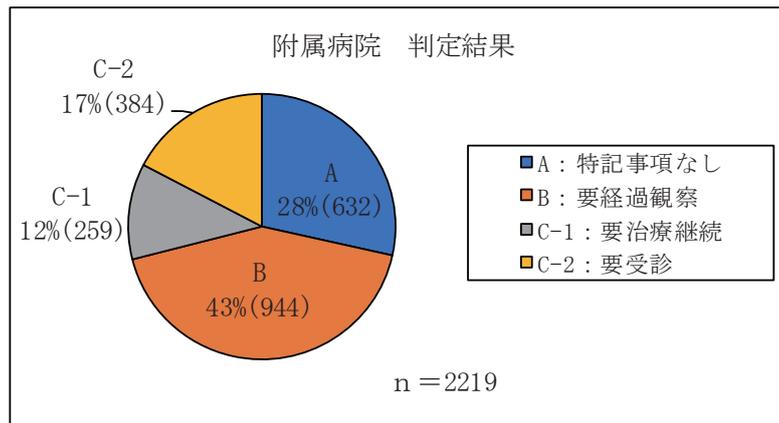
特記事項なし	1193
要経過観察	101
要受診	80



地区別判定結果

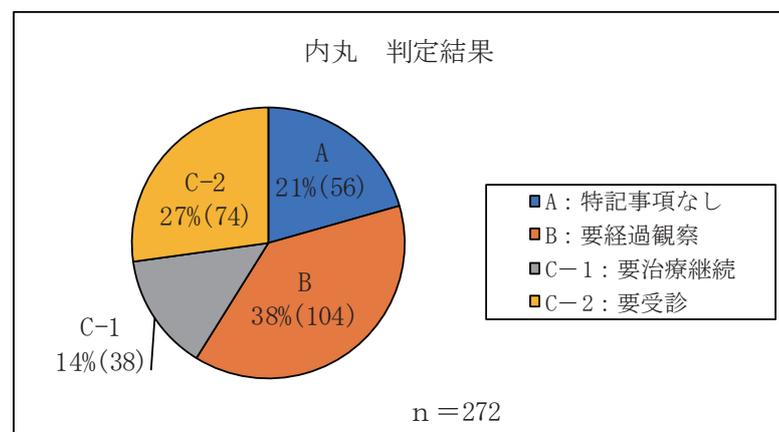
< 附属病院 >

対象者	2219
受診者	2219
未受診者	0
受診率	100.0%



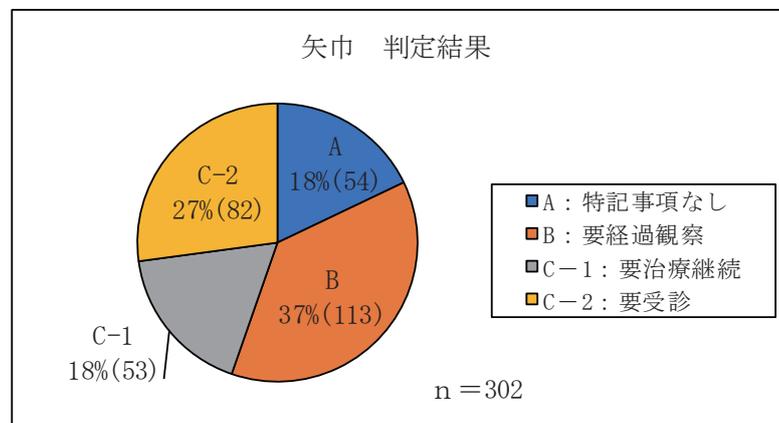
< 内丸 >

対象者	272
受診者	272
未受診者	0
受診率	100.0%



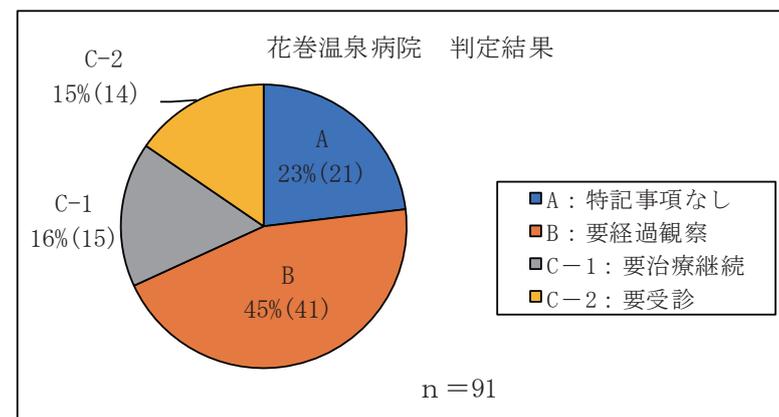
< 矢巾 >

対象者	302
受診者	302
未受診者	0
受診率	100.0%



< 花巻温泉病院 >

対象者	91
受診者	91
未受診者	0
受診率	100.0%



③ 特定業務従事者健康診断（特殊健康診断等）

<健診項目>

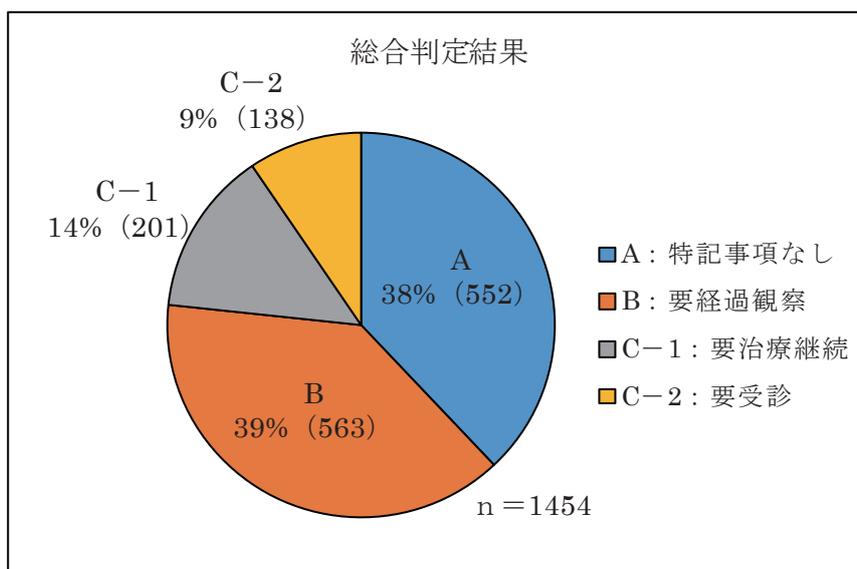
既往歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、視力、聴力、血圧、尿検査、内科診察
 ※血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、※心電図検査（35歳・40歳以上）
 ※は、産業医の判断で省略できる

<実施日>

内丸キャンパス：平成28年11月15日（火）～18日（金）

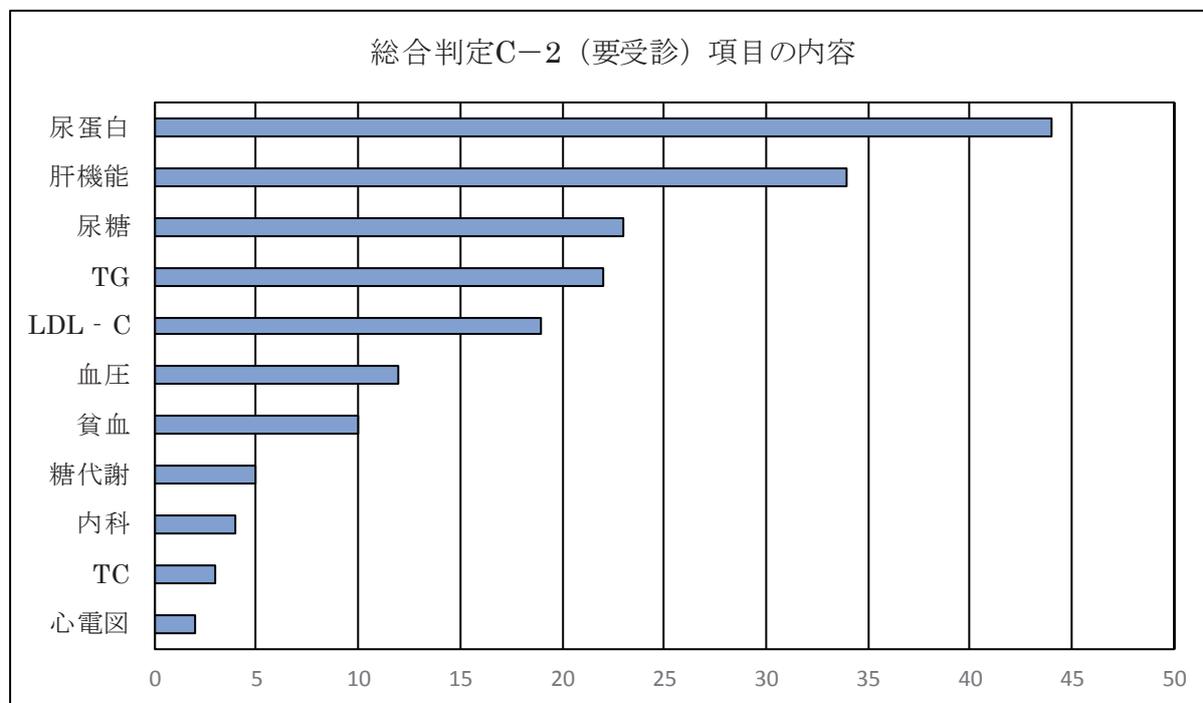
花巻温泉病院：平成28年11月15日（火）～18日（金）

対象者	1456
受診者	1454
未受診者	2
受診率	99.9%



C-2（要受診）報告書 提出状況

C-2	138
提出者	21
提出率	15.2%



n = 138（複数該当あり）

(2) 特殊健康診断

① 有機溶剤・特定化学物質等健康診断

<実施日 (上期) >

平成28年5月23日 (月) ~25日 (水)、30日 (月)・31日 (火)・6月6日 (月)・7日 (火)

対象者	200
受診者	198
受診率	99.0%



管理A	177
管理B	21
管理C	0
管理R	0
管理T	0

<実施日 (下期) >

平成28年11月15日 (火) ~18日 (金)

対象者	214
受診者	214
受診率	100.0%



管理A	171
管理B	43
管理C	0
管理R	0
管理T	0

管理A	特殊健康診断のすべての検査項目に異常が認められない者
管理B	検査項目に異常を認めるが、産業医が精査を必要としないと判断した者 (管理Cには該当しないが、当該因子による疑いのある異常が認められる者)
管理C	当該因子による疾患に罹患している者
管理R	当該因子によらないが、曝露により増悪するおそれがある疾病・異常を認める場合
管理T	当該因子によらない疾病・異常を認める場合 (当該疾病に対する療養その他の処置を必要とする)

② 電離放射線健康診断

<実施日 (上期) >

平成28年5月23日 (月) ~6月7日 (火)

<判定結果>

対象者	514
受診者	514
受診率	100%



A: 特記事項なし	514
B: 要経過観察	0
C: 要治療・要精密検査	0
D: 要措置 (業務配慮・業務配置転換等)	0

<実施日 (下期) >

平成28年11月15日 (火) ~18日 (金)

<判定結果>

対象者	506
受診者	506
受診率	100%



A: 特記事項なし	506
B: 要経過観察	0
C: 要治療・要精密検査	0
D: 要措置 (業務配慮・業務配置転換等)	0

③ 石綿健康診断

<実施日（上期）>

平成 28 年 5 月 23 日（月）～27 日（金）

対象者	28
受診者	28
受診率	100.0%



管理 A	28
管理 B-1	0
管理 B-2	0
管理 C	0
管理 R	0
管理 T	0

<実施日（下期）>

平成 28 年 12 月 7 日（水）～9 日（金）

対象者	28
受診者	28
受診率	100.0%



管理 A	28
管理 B-1	0
管理 B-2	0
管理 C	0
管理 R	0
管理 T	0

管理 A	第一次健康診断のすべての検査項目に異常が認められない者
管理 B-1	第一次健康診断のある検査項目に異常を認めるが、医師が第二次健康診断を必要としないと判断した者
管理 B-2	健康診断の結果、管理 C には該当しないが、当該因子によるかまたは当該因子による疑いのある異常が認められる者
管理 C	第二次健康診断の結果、当該因子による疾患に罹患している者
管理 R	健康診断の結果、当該因子による疾病または異常を認めないが、当該業務に就業することにより増悪するおそれのある疾病にかかっている場合または異常が認められる者
管理 T	健康診断の結果、当該因子以外の原因による疾病にかかっている場合または異常が認められる者（管理 R に属するものを除く）

(3) その他

① VDT 作業員健康診断

<問診実施日> 平成 28 年 7 月 26 日 (火) ~8 月 4 日 (木)

<検査実施日> 平成 28 年 9 月 1 日 (木) ・ 2 日 (金)

VDT 作業員	2495	⇒	A : 特記事項なし	2170
			B : 要経過観察 (要視力矯正含)	322
			C-1 : 要治療継続	3
			C-2 : 要受診	0

② 胃がん検診 (40 歳以上の希望者)

<実施日> 内丸キャンパス : 平成 28 年 9 月 5 日 (月) ~23 日 (金)

花巻温泉病院 : 平成 28 年 9 月 26 日 (月)

<内丸・矢巾>

対象者	1288	⇒	異常なし	311
受診者	400		要経過観察	65
受診率	31.1%		要精密検査	24
			(内訳)	
			胃	(21)
			その他	(3)

<花巻温泉病院>

対象者	43	⇒	異常なし	5
受診者	6		要経過観察	1
受診率	14.0%		要精密検査	0

③ 大腸がん検診 (40 歳以上の希望者)

<実施日> 平成 28 年 12 月 5 日 (月) ~14 日 (水)

<内丸・矢巾>

対象者	1379	⇒	異常なし	371
受診者	389		要精密検査	18
受診率	28.2%			

<花巻温泉病院>

対象者	43	⇒	異常なし	11
受診者	11		要精密検査	0
受診率	25.6%			

④ 結核接触者健診

ケース	健診実施時期		対象者	健診内容等
【TB140527】 H26. 5. 27 発生	2 年後	H28. 5. 30～31	2 名	T-スポット検査・胸部X線撮影・診察 (問診票) 陰性：1名 陽性：1名(予防内服中断) 終了
【TB141016】 H26. 10. 16 発生	2 年後	H28. 10. 19、H28. 12. 27	1 名	予防内服中止後、呼吸器内科外来にて フォロー中。T-スポット検査・胸部X 線撮影・診察(問診票) 判定保留：1名 終了
【TB160624】 H28. 6. 24 発生	2 か月後	H28. 9. 1	3 名	T-スポット検査・診察(問診票) 陰性：3名 終了
【TB160708】 H28. 7. 8 発生	2 か月後	H28. 8. 1～8	56 名	T-スポット検査・診察(問診票) 陰性：53名 陽性：1名(予防内服終了) 判定不可：2名 (再検査後も判定不可のため、呼吸器 内科受診) 終了
【TB160817】 H28. 8. 17	直後	H28. 9. 1～2	6 名	T-スポット検査・診察(問診票) 陰性：6名
	2 か月後	H28. 11. 1～2	6 名	T-スポット検査・診察(問診票) 陰性：6名 終了
【TB161128】 H28. 11. 28 発生	直後	H28. 12. 20～21、 H29. 1. 10	15 名	T-スポット検査・診察(問診票) 陰性：14名 陽性：1名(予防内服終了)
	2 か月後	H29. 2. 13～15	14 名	T-スポット検査・診察(問診票) 陰性：14名 終了
【TB170112】 H29. 1. 12 発生	直後	H29. 2. 9～13	10 名	T-スポット検査・診察(問診票) 陰性：10名
	2 か月後	H29. 3. 16～24	13 名	T-スポット検査・診察(問診票) 陰性：13名 終了

※TB170112の事例について

TB170112の対象者3名が、TB160817該当者であった。そのため、TB160817の2か月後健診のTスポット検査結果をベースラインとした(直後健診は省略)。

T-スポット検査結果の事後対応

陰性	2年間は定期健康診断で必ず胸部X線撮影を実施する
陽性	潜在性肺結核として予防内服を推奨し、医療機関につなげる
判定保留	検査日から4週間後に再度QFTまたはT-スポット検査を実施する 潜在性肺結核として予防内服を選択するかどうかは、本人の意思に基づき決定する 内服しない場合は、6か月毎に2年間の健診(胸部X線撮影と問診票)を実施する

2) 各種ワクチン接種

(1) B型肝炎ワクチン接種

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成28年5月23日～6月7日

対象者 (希望者)	検査実施者	ワクチン接種前抗体価検査結果		
		陽性	不十分	陰性
1248	1206	679	238	289

<ワクチン接種対象者>

527名：抗体価不十分・陰性と判定された職員（事務職等34名を除く）

<日程>

ワクチン接種1回目	7月26日、27日
ワクチン1回接種後抗体価検査・ワクチン接種2回目	8月23日、24日
ワクチン接種3回目	1月10日、11日
ワクチン3回接種後抗体価検査	2月7日、8日
ワクチン追加接種	2月28日
ワクチン追加接種後抗体価検査	3月28日、29日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	採血者	ワクチン接種後抗体価検査結果		
				陽性	不十分	陰性
1回接種	173	142	127	122	5	0
1回倍量接種	65	51	45	42	3	0
3回接種	289	104	97	62	27	8
3回接種後追加接種	35	25	22	13	6	3

※追加接種の対象者は、ワクチン3回接種後の抗体価検査で不十分・陰性と判定された職員

(2) C型肝炎抗体検査

<実施日> 平成28年5月23日（月）～6月7日（火）

<判定結果>

対象者(希望者)	1240	➡	陰性	1196
検査実施者	1198		疑陽性（要受診）	2

(3) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎抗体価検査およびワクチン接種

<対象者>

小児病棟新規配属職員

<受診者>

15名

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成28年5月23日～6月1日

検査項目 (検査法：IgG-EIA法)	(-) 2.0未満	(±) 2.0～3.9	(+) 4.0以上
水痘	0	1	14
風疹	0	1	14
流行性耳下腺炎	0	3	12

<ワクチン接種対象者>

5名：(-)、(±)と判定された職員

<日程>

ワクチン接種	9月13日
ワクチン接種後抗体価検査	12月22日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	(-) 2.0未満	(±) 2.0～3.9	(+) 4.0以上
水痘	1	1	0	0	1
風疹	1	1	0	0	1
流行性耳下腺炎	3	3	0	1	2

(4) インフルエンザワクチン接種（職員・大学院生）

<接種日>内丸キャンパス：平成28年10月20日（木）～26日（水）、11月4日（金）

矢巾キャンパス：平成28年10月28日（月）、31日（月）

花巻温泉病院：平成28年10月17日（月）～28日（金）

	対象者数	希望者数	申込率	接種者数	希望者の接種率	対象者の接種率
附属病院	臨床系医師・歯科医師	633	514	81.2%	431	83.9%
	看護職	1260	1233	97.9%	1202	97.5%
	コメディカル	386	348	90.2%	332	95.4%
	事務系	127	121	95.3%	117	96.7%
	その他	118	117	99.2%	104	88.9%
	計	2524	2333	92.4%	2186	93.7%
内丸地区	基礎系医師・歯科医師	4	3	75.0%	3	100.0%
	その他の教員	48	44	91.7%	41	93.2%
	看護職	8	7	87.5%	6	85.7%
	コメディカル	10	9	90.0%	9	100.0%
	事務系	169	158	93.5%	155	98.1%
	その他	27	23	85.2%	23	100.0%
計	266	244	91.7%	237	97.1%	
矢巾地区	基礎系医師・歯科医師	78	61	78.2%	55	90.2%
	その他の教員	113	87	77.0%	82	94.3%
	看護職	6	6	100.0%	6	100.0%
	コメディカル	17	14	82.4%	14	100.0%
	事務系	93	92	98.9%	88	95.7%
	その他	47	42	89.4%	41	97.6%
計	354	302	85.3%	286	94.7%	
花巻温泉病院	臨床系医師・歯科医師	9	8	88.9%	8	100.0%
	看護職	63	61	96.8%	61	100.0%
	コメディカル	15	13	86.7%	13	100.0%
	事務系	6	6	100.0%	6	100.0%
	計	93	88	94.6%	88	100.0%
	合計	3237	2967	91.7%	2797	94.3%

＜インフルエンザ発生状況＞

所 属	対 象 者 数	ワクチン 接種者数	ワクチン 未接種者数	接 種 率	インフルエンザA型+B型+インフルエンザ様症状		発 症 率
					発 症 者 数	ワ ク チ ン 接 種 者 数	
職員・大学院生	2790	2423	367	86.8%	180	167	6.5%
医学部	285	237	48	83.2%	3	3	1.1%
歯学部	120	106	14	88.3%	2	2	1.7%
医療専門学校	131	125	6	95.4%	4	4	3.1%
岩手看護短期大学	237	235	2	99.2%	18	18	7.6%
委託・派遣・外部団体（希望者）	553	521	32	94.2%	18	18	3.3%
内 丸 合 計	4116	3647	469	88.6%	225	180	5.5%
職員・大学院生	354	286	68	80.8%	1	1	0.3%
医学部	517	418	99	80.9%	18	17	3.5%
歯学部	249	194	55	77.9%	4	4	1.6%
薬学部	909	765	144	84.2%	12	12	1.3%
委託・派遣・外部団体（希望者）	59	57	2	96.6%			
矢 巾 合 計	2088	1720	368	82.4%	35	34	1.7%
職員	93	88	5	94.6%	8	8	8.6%
委託・派遣・外部団体（希望者）	42	42	0	100.0%			
花 巻 合 計	135	130	5	96.3%	8	8	5.9%
合 計	6339	5497	842	86.7%	268	222	4.2%

＜内訳＞

インフルエンザA型 発症者数	ワクチン接種者数	インフルエンザB型		インフルエンザ様症状	
		発症者数	ワクチン接種者数	発症者数	ワクチン接種者数
131	121	28	26	20	20
1	1	2	2		
2	2				
4	4				
17	17			1	1
14	14	4	3	1	1
169	158	34	31	22	22
1	1				
4	4	10	10	4	3
3	3			1	1
7	7	4	4	1	1
15	15	14	14	6	5
8	8				
8	8				
192	181	48	45	28	27

3) 長時間労働者への産業医による面接指導

(単位：件)

対象月	対象者				面接申出書 チェックリスト 提出者	面接 希望者	産業医 面接者
	6ヶ月平均で 45時間以上	2ヶ月平均で 80時間以上	1ヶ月平均で 100時間以上	計			
4月	23	1	1	25	25	0	0
5月	29	1	0	30	30	0	1
6月	30	2	2	34	34	0	0
7月	32	0	0	32	32	0	2
8月	29	0	0	29	29	0	0
9月	23	0	0	23	23	0	1
10月	20	1	0	21	21	0	0
11月	16	2	2	20	20	0	2
12月	19	4	0	23	23	0	1
1月	23	3	0	26	26	0	2
2月	27	0	0	27	27	0	2
3月	24	3	1	28	28	0	1
計	295	17	6	318	318	0	12

※産業医面接は、本人希望と産業医の判断で必要と認めた者

4) ストレスチェック

<実施期間>

平成28年7月28日(木)～8月12日(金)

<実施状況>

対象者	2894
受検者	2190
受検率	75.7%

<面接指導期間>

平成28年9月27日(火)～10月7日(金)

5) 職場巡視

<実施日>

1回目 平成28年12月12日(月)

2回目 平成29年1月16日(月)

<巡視内容>

- ・温度、湿度、照度、騒音、整理整頓等について
- ・VDT作業環境について
- ・有機溶剤・特定化学物質使用の有無及び作業状況について

<巡視場所>

【1回目】

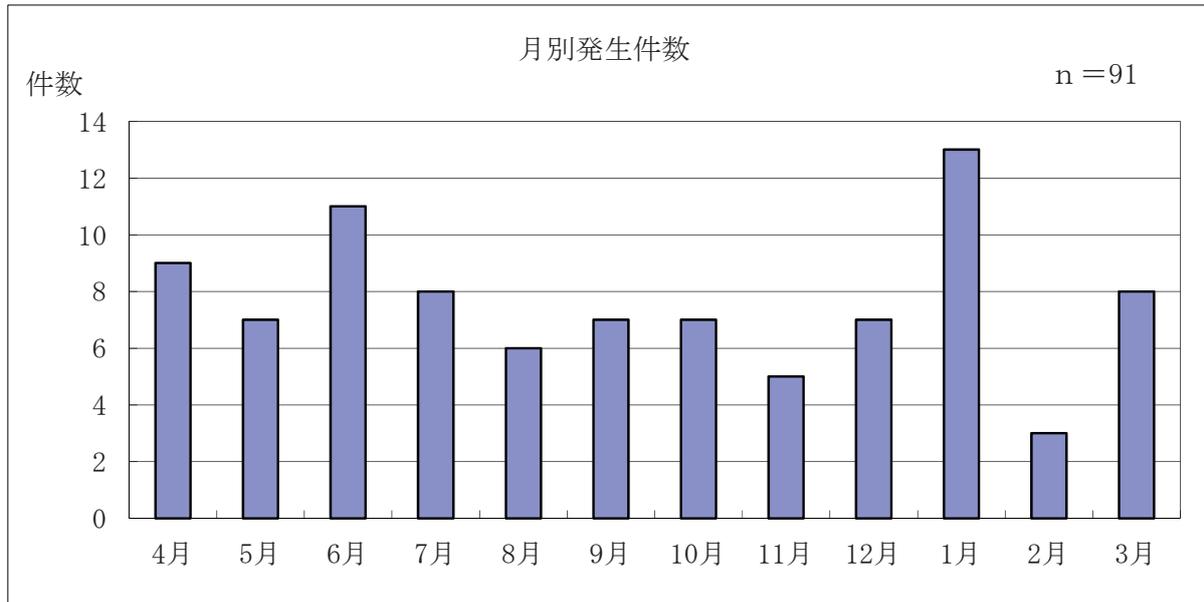
- ・解剖学講座(細胞生物学分野(医))・研究室
- ・病理学講座(機能病態学分野(医))・研究室
- ・学生解剖実習室教員控室・解剖実習室

【2回目】

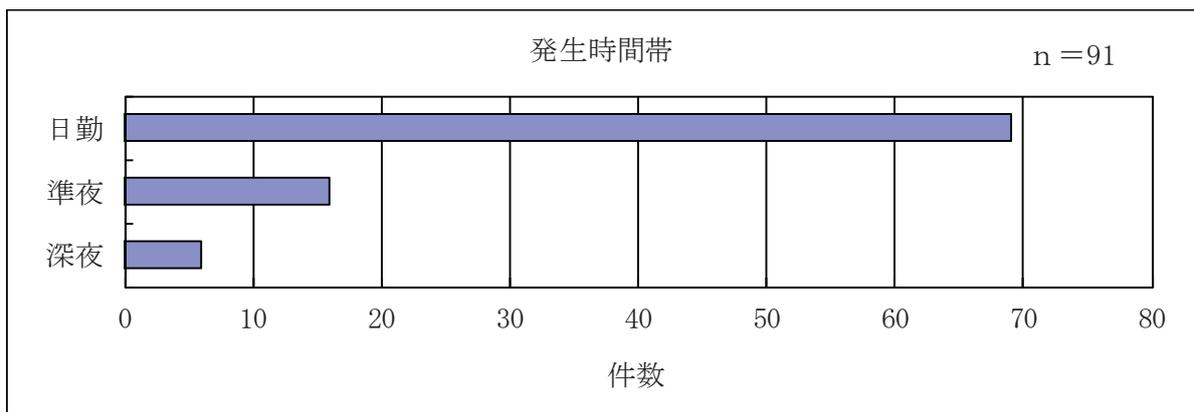
- ・法医学講座・研究室・薬毒物検査室
- ・法医学解剖室
- ・解剖学講座(機能形態学分野(歯))・研究室
- ・生理学講座(病態生理学分野(歯))・研究室
- ・喫煙所(中庭)

6) 針刺し粘膜暴露事故対応

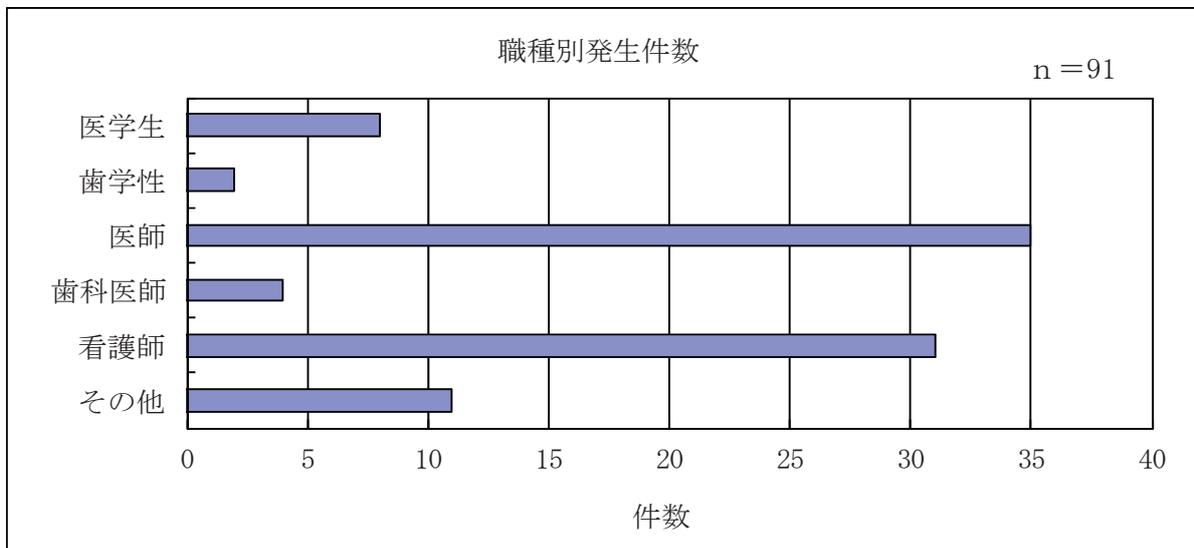
<月別発生件数>



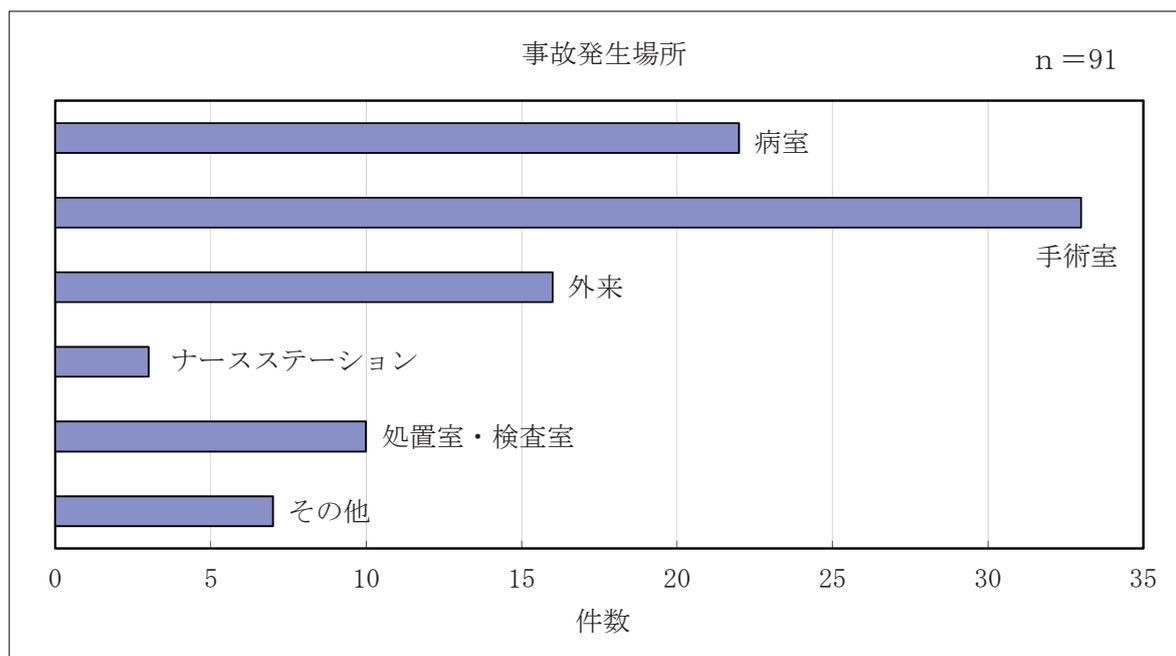
<発生時間帯>



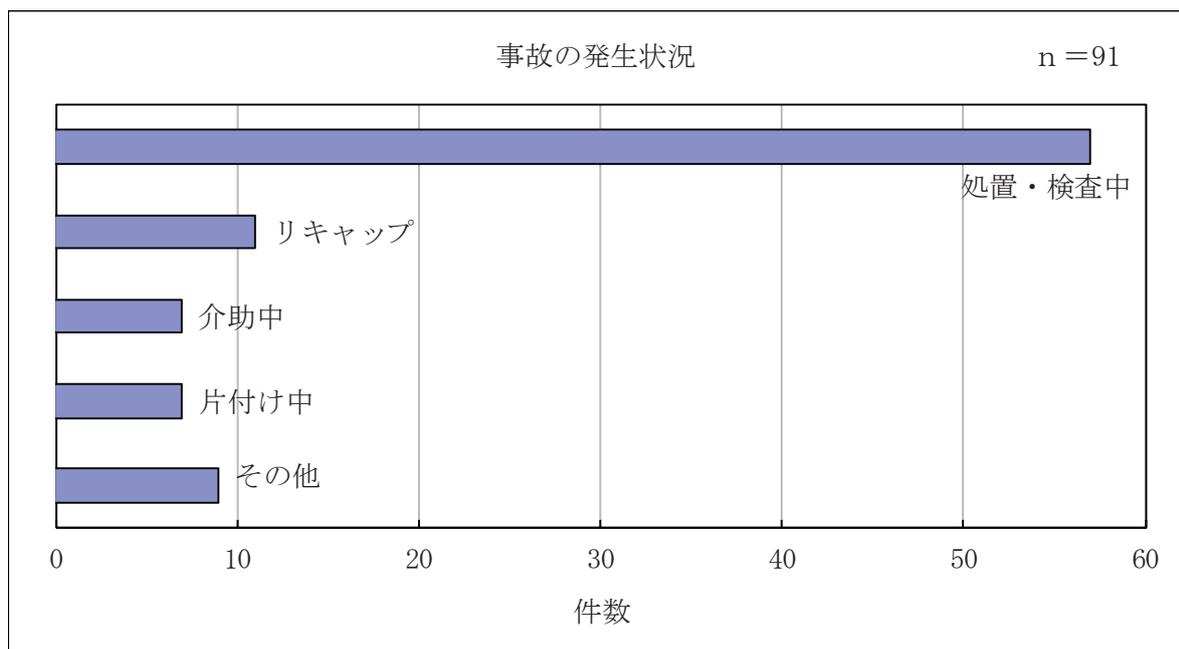
<職種別発生件数>



<事故発生場所>



<事故の発生状況>



Ⅲ 平成 28 年度健康管理センター 利用状況

Ⅲ 平成 28 年度健康管理センター利用状況

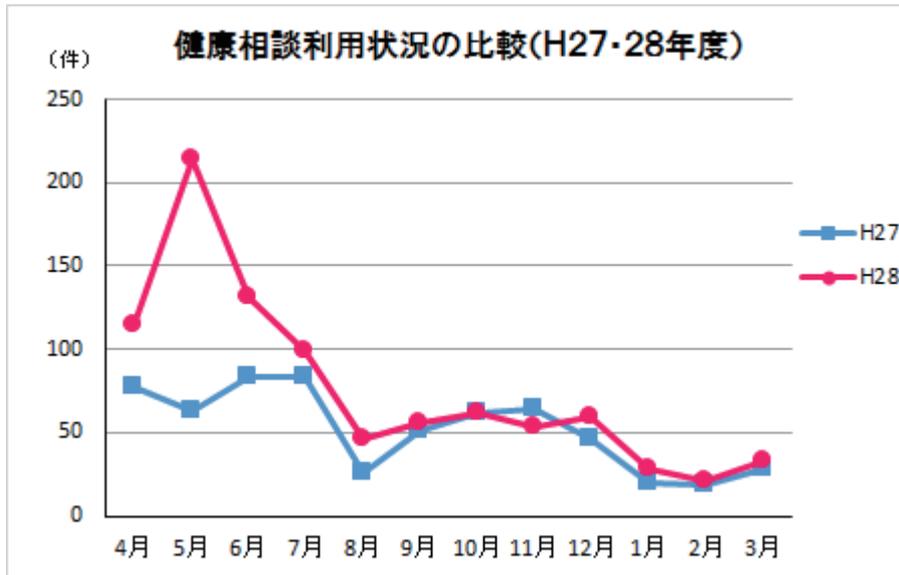
1. 健康相談

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
健康相談	内科	医学部	15	9	9	1	4	3	6	1	3	4	1	0	56
		歯学部	2	7	3	2	1	2	6	4	6	1	0	0	34
		薬学部	22	23	18	13	3	15	17	7	13	7	0	5	143
		専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	職員	7	6	1	1	1	2	7	8	5	1	4	4	47	
	外科	医学部	6	4	6	1	2	1	3	1	2	0	0	3	29
		歯学部	4	1	2	1	0	3	1	2	4	0	0	0	18
		薬学部	8	2	2	5	1	3	3	7	2	4	2	2	41
		専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員	0	0	0	2	1	2	2	2	1	1	0	0	11	
耳鼻科	医学部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
皮膚科	医学部	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	6	
	歯学部	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	
	薬学部	1	2	2	1	2	1	1	0	0	0	1	0	11	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	1	0	0	0	0	3	1	0	0	5		
眼科	医学部	1	1	1	3	0	1	0	1	0	0	0	0	8	
	歯学部	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	薬学部	3	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	8	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
産婦人科	医学部	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	
	歯学部	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	薬学部	3	2	3	0	0	1	2	1	1	0	0	0	13	
	専門学校・看護短大等	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
職員	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1		
歯科	医学部	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2		
泌尿器科	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
精神科	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	医学部	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
相談的内容	医学部	7	1	3	2	1	0	2	0	0	0	1	0	17	
	歯学部	1	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	薬学部	10	2	3	1	7	3	4	3	4	2	0	0	39	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	1	2	3	2	1	0	0	0	0	0	9		
健康診断 ワクチン接種 関連相談	医学部	7	3	2	0	1	0	0	5	4	1	1	1	25	
	歯学部	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	6	
	薬学部	8	10	5	3	5	0	0	1	1	1	0	2	36	
	専門学校・看護短大等	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3	2	15	22	
職員	0	0	0	0	4	1	0	1	1	0	0	0	7		
健康診断 事後指導	医学部	0	1	1	6	1	0	0	0	1	0	0	0	10	
	歯学部	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	薬学部	0	0	3	7	1	2	2	0	0	0	0	0	15	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	1	3	1	4	0	1	0	1	1	6	0	18		
学校医相談 産業医相談	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
健康測定 (身長・体重・血圧・視力等)	医学部	0	39	20	11	1	6	1	0	0	0	0	0	78	
	歯学部	0	9	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	22	
	薬学部	0	65	21	21	0	0	0	0	2	0	0	0	109	
	専門学校・看護短大等	0	17	5	2	0	1	0	0	0	0	0	0	25	
職員	1	0	3	0	2	0	1	4	3	0	0	0	14		
その他	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	114	214	131	99	46	56	62	53	59	28	21	33	916		

※件数は延件数

	学生	職員
健康診断個人票発行	220	165

2. 健康相談利用状況の比較



3. 心理相談（健康管理センター相談室）

1) 学生

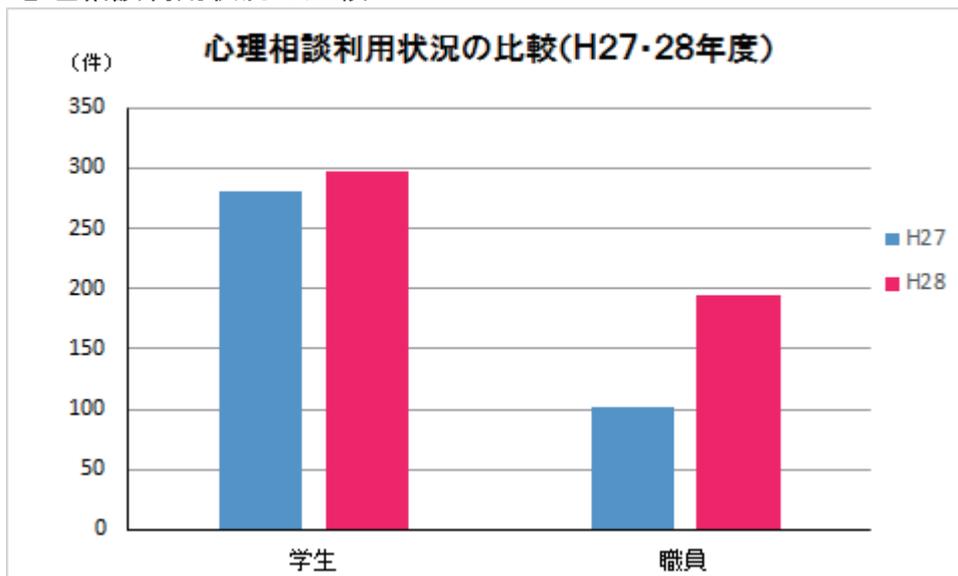
平成 28 年度相談室利用状況

		医学部	歯学部	薬学部	専門学校	計
精神保健	延相談件数	18	3	8	0	29
	利用者数	5	2	5	0	12
パーソナリティ	延相談件数	3	4	37	0	44
	利用者数	2	2	8	0	12
適応	延相談件数	4	8	23	1	36
	利用者数	3	5	10	1	19
修学	延相談件数	11	5	83	0	99
	利用者数	5	3	12	0	20
進路	延相談件数	3	0	7	0	10
	利用者数	2	0	2	0	4
学生生活	延相談件数	0	0	0	0	0
	利用者数	0	0	0	0	0
ハラスメント	延相談件数	0	0	0	0	0
	利用者数	0	0	0	0	0
学校医相談	延相談件数	0	0	0	0	0
	利用者数	0	0	0	0	0
その他	延相談件数	41	7	32	0	80
	利用者数	8	5	13	0	26
計	延相談件数	80	27	190	1	298
	利用者数	25	17	50	1	93

2) 職員

相談種別	延相談件数	利用者数
精神保健	33	16
パーソナリティ	20	3
職場不適合	62	19
家庭問題	2	1
生活相談	2	1
ハラスメント	2	1
コンサルテーション	45	23
産業医相談	2	1
その他	26	14
計	194	78

4. 心理相談利用状況の比較



5. 心の健康問題により休業した職員の職場復帰支援

本学の職員で心の健康問題を理由に病気休暇が1ヵ月を超える者を対象に、円滑に職場復帰し、業務が継続できるよう支援を実施。

対応件数（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）

対象者	月別対応件数内訳（延件数）												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26名	35	31	43	40	26	38	24	49	44	39	38	34	441

対象者の支援経過（平成 29 年 3 月 31 日現在）

復帰（支援終了）	復帰（支援継続）	退職	病休中
6	4	5	11

Ⅳ 平成 28 年度メンタルヘルス支援

IV 平成 28 年度メンタルヘルス支援

1. セミナー

(平成 28 年度 対象：学生)

開催日	内 容	場 所	参加人数
7 月 6 日	ストレスマネジメント講座① ～自分の中にある回復力を見つけよう!～	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL35・36・37 室	3 名
7 月 13 日	ストレスマネジメント講座② ～ここを軽くする考え方を知ろう～	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL35・36・37 室	1 名
9 月 21 日	コミュニケーションスキルアップ講座① ～人の話を聴くとは? 傾聴術を学ぼう～	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	1 名
9 月 28 日	コミュニケーションスキルアップ講座② ～上手な自己主張 (断り方、頼み方) を学ぼう～	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	1 名

(平成 28 年度 対象：職員)

開催日	内 容	場 所	参加人数
7 月 21 日	ストレスマネジメント講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	3 名
7 月 28 日	ストレスマネジメント講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	3 名
8 月 18 日	コミュニケーションスキルアップ講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	3 名
8 月 25 日	コミュニケーションスキルアップ講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	3 名
10 月 19 日	ストレスマネジメント講座	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	4 名
10 月 26 日	ストレスマネジメント講座	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	2 名
11 月 22 日	ストレスマネジメント講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	3 名
11 月 29 日	ストレスマネジメント講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	1 名
12 月 7 日	コミュニケーションスキルアップ講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	4 名
12 月 7 日	コミュニケーションスキルアップ講座	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	4 名
12 月 14 日	コミュニケーションスキルアップ講座	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	1 名
12 月 14 日	コミュニケーションスキルアップ講座	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	4 名

2. メンタルヘルス講義（対象：全学部1年生）

開催日	テーマ	講師	参加人数
6月13日	学生生活とメンタルヘルス	精神科学学校医 星克仁	219名
	大学生活を通して自分を見つめること - 自己探索のススメ -	臨床心理士 島山秀樹	
	「ひとりで生きる強さ」を持つ - DVをしない・されないために -	臨床心理士 氏家真梨子 (当日氏家欠席にて 島山代理講義)	

3. 「教職員のための学生相談ハンドブック」の配付、研修会、アンケートの実施

平成28年3月に発刊した「教職員のための学生相談ハンドブック」を、4月に教員（任期付を除く助教以上）及び学生対応に関連する部署の職員（正職員以上）に配付した。また、薬学部から5年生の外部実習先へのハンドブックの配付について依頼があり、対応した。

12月20日には、学生支援の充実とハンドブックの有効活用を目的に、『「教職員のための学生相談ハンドブック」を活用した学生支援』と題して、学生部との共催で学生支援に携わる教員・職員を対象に研修会を企画・実施した（内丸・矢巾をテレビ会議形式でつないでの実施）。研修会講師は健康管理センター臨床心理士2名が担当し、当日の参加者は54名であった。研修に対するアンケートでは、54名中45名から回答が得られ、回答者の87%が「大変良かった」、「良かった」との回答であった。

また、平成29年2月にハンドブックに関するアンケートを実施した。対象者は653名で、142名（21.7%）から回答が得られた。ハンドブックの評価では、「大変役立った」、「役に立った」が36%、「あまり役に立っていない」、「役に立たない」が19%、「読んでいない」が43%という結果であった。寄せられた意見・要望は、今後の改定に向けての検討事項として協議していきたいと考えている。

4. ラインケア研修

本学の管理職者を対象に、管理職の位置づけ・役割を理解するとともに、ラインケアに必要な知識・スキルを習得し、大学組織としての共通理解を図ることを目的に以下の内容で研修を企画・実施した。開催にあたって人事職員課と協議し、共催の形式で実施した。

開催日	テーマ	講師	参加人数
9月13日	職場のメンタルヘルス対策 ラインケア	岩手産業保健総合支援センター 産業保健相談員 藤井由里	52名
1月30日			61名

5. 震災支援

1) 東日本大震災に伴う対応

当センター臨床心理士が所属する岩手県臨床心理士会の震災支援活動への関与について、昨年度同様に大学からの出張として認められ、参加した。以下に参加した支援活動を示す。

表 2016年度における岩手県臨床心理士会支援活動への関与（出張分）

支援活動名	担当者	活動のべ日数
釜石市支援活動	畠山	4日
宮古市支援活動	氏家	1日

2) 熊本地震に伴う対応

平成28年4月14日の熊本地震発生に伴い、本学にも被害が甚大な地域や近隣に実家がある学生が在籍しており、また、東日本大震災を経験した学生にも影響が及ぶ可能性があったことから、学生部と連携を図り、学生及び教職員への対応を行った。4月19日に学生に対しては、各学部学年の掲示板に「震災などの大きな出来事後のこころとからだ」というタイトルでポスターを掲示し、教職員に対しては、「熊本地震に伴う学生への影響及びサポートについて」というタイトルで通知文を配付し、啓発を図った。事後から現在まで、熊本地震や東日本大震災に関連した相談はなかった。

V 平成 28 年度健康教育・啓発活動

V 平成 28 年度健康教育・啓発活動

1. 健康教育

1) 学生の健康管理について

平成 28 年 4 月 8 日（金） 対象者：新入生（医・歯・薬）

担当：師長 佐々木 志津子

臨床心理士 氏家 真梨子

平成 28 年 8 月 5 日（金） 教養教育センターとの情報交換会

参加者：教養教育センター教員 9 名、教務課事務スタッフ 1 名、
健康管理センタースタッフ 5 名

平成 29 年 1 月 6 日（金） 対象者：退寮生（医・歯・薬）※ユニットリーダー・希望者

担当：保健師 藤井 ヌイ子

テーマ：基本的な食生活の留意点と体調不良時の対応

2) 職員の健康管理について

平成 28 年 4 月 1 日（金） 対象者：岩手看護短期大学職員

研修担当：師長 佐々木 志津子

平成 28 年 4 月 2 日（土） 対象者：新入職員

研修担当：師長 佐々木 志津子

平成 28 年 7 月 4 日（月） 対象者：中途採用職員

研修担当：師長 佐々木 志津子

3) メンタルヘルス関連研修

平成 28 年 4 月 5 日（火） 対象者：新人看護師・歯科衛生士

研修担当：臨床心理士 畠山 秀樹

テーマ：新人看護師のメンタルヘルスケア

平成 28 年 6 月 13 日（金） 対象者：新人看護師・歯科衛生士

研修担当：臨床心理士 畠山 秀樹

テーマ：新人看護師のメンタルヘルスケア

平成 28 年 10 月 4 日（火） 対象者：看護部・教育担当者

研修担当：臨床心理士 畠山 秀樹

テーマ：教育担当者としてのストレスマネジメント - ストレスへの気づきと対処行動の実践 -

2. 啓発活動

1) 健康管理センターだより



健康管理センターでは、4月に内科学講座 糖尿病・代謝内科分野 石垣 泰 教授がセンター長に着任し、新たな体制でスタートしております。

はじめに、センター長から学生・職員の皆さんへ今後の抱負を踏まえ、ご挨拶申し上げます。次にこれからの季節、熱中症を起こしやすい時期になりますので熱中症の予防と対処法について紹介します。正しい知識を身につけて暑い季節を安全に過ごしましょう。

最後に新スタッフの紹介と学生を対象に実施した健康診断の結果、さらに8月から始まるストレスチェックの案内を掲載しましたので参考にいただければと思います。

健康管理センター長からのご挨拶



センター長
石垣 泰
(内科学講座 糖尿病・代謝
内科分野 教授)

今年の4月1日から黒坂大次郎教授の後任として健康管理センター長を拝命いたしました。ようやく岩手医科大学の環境に慣れたばかりの若輩者ですが、諸先生やスタッフの方々のご指導の下、この大役を勤め上げたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

当初、健康管理センターの主な業務は、職員と学生の健康診断の実施と評価に関するものと考えておりました。健診で発見されるメタボや糖尿病の管理という私どもの得意分野を、職員の生活習慣病予防・管理のため役に立たないという意味の辞令かと思いついていたのです。もちろん健康診断はセンター業務の柱のひとつではありますが、他に数多くの重要な役割を担っていることを知り驚きました。考えてみれば当然ですが、通年にわたり件数が多いのは病気休暇を取らざるをえない職員の方々の把握と支援です。着任した時期はインフルエンザの流行が再燃していたため、罹患された職員の多さに驚くとともに、幅広い職種の皆様の健康管理をお手伝いする責任の重さを痛感いたしました。また全国的な傾向として学校・職場におけるメンタルヘルスクエアの重要性が増しております。当センターでも臨床心理士を中心に、幅広い対象へのストレスチェックと並行してきめ細やかな心理相談を行っており、これまで知らなかった分野の業務に関わることで視野が広がる思いです。そして最大のイベントは学生・職員の定期健康診断です。受ける側にとっても実施する側にとっても、効率よく健康診断が進むよう考えていきたいと思っております。

私が考える健康とは、安定した日常です。毎日変わらないので気づきませんが、変化が生じたときには生活の基盤が大きく揺らぎ、失ってあらためて価値を痛感するものだと思います。岩手医科大学という組織に所属する面々は、皆何らかの形で他者の健康管理に関わるプロフェッショナルです。こうした皆様に健康管理

の重要性を説くこと自体、差し出がましいことと分かってはいますが、我が身を顧みると患者さんに話している内容と自身の健康意識には大きな乖離があります。いつまでも仕事の忙しさや社交の重要性を言い訳にできないと気づ



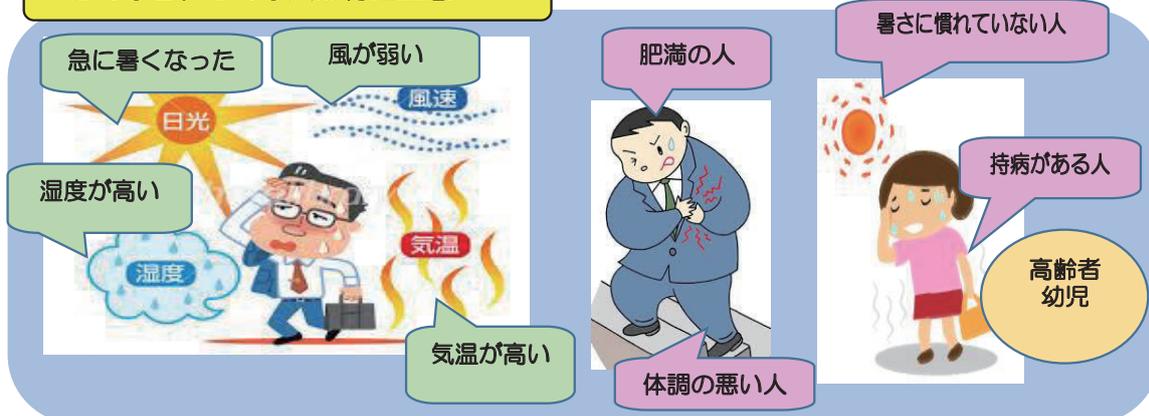
いていながらも、大きな体調の変化がなければ健康管理の優先順位は上がらないことでしょう。おそらく、こうした健康意識の学生・職員は少なくないものと思っておりますので、私自身を反面教師として健康管理センターとしての有効なアプローチを考えていければと思います。そして任期を全うする頃には、私も健康オタクと後ろ指をさされるくらいになっていたいものです。



熱中症の予防・対処法

「熱中症」は高温多湿な環境下において、人の体調や暑さに対する慣れなどが影響し起こります。湿度が高い・風が弱い日や体が暑さに慣れていない時は、気温がそれほど高くなくても注意が必要です。

◆こんな日、こんな人は特に注意！



◆熱中症の予防対策

WBGT 値（暑さ指数）を注視しその日の過ごし方に役立てましょう！

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	全ての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28～31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25～28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.3」(2013) より

WBGT 値（暑さ指数）とは

① 湿度 ②日射・輻射などの周辺の熱環境 ③気温 の3つを取り入れた指数のことです。WBGT 値が高い時に熱中症がおりやすいため、スポーツ時や労働環境や日常生活での熱中症予防の目安として使われています。

WBGT 値については、環境省「熱中症予防情報サイト」(www.wbgt.env.go.jp) をご参考ください。

熱中症予防の3S

睡眠 Suimin

早めに布団に入って身体を休めましょう。



食事 Syokuji

暑い時は食欲がなくなりがちですが、無理してでもしっかりと。

遮光 Syakou

直射日光をなるべく避け、日傘や大きめの帽子、首タオルでガードしよう。



健康管理センター新スタッフ紹介



川畑 史江

渡辺 尚子

【事務員：渡辺】

平成28年1月より健康管理センターに配属になりました渡辺と申します。以前は、病院関係（医事課）を経て庶務課に長く勤務しておりましたので、センター事務室で会う方々に未だに驚かれることもしばしばです。

センターに異動する前は、仕事の中身もさほど把握しておらず学生・職員の健康診断、ワクチン接種その他、体調管理に関することくらいしか思い当りませんでした。実際に来てみて業務の多様さに驚いています。今までとは、まるで違う職場に戸惑うことばかりですが、スタッフの一員として少しでもスムーズに業務が機能するよう頑張りたいと思います。

また皆様の健康面、精神面をサポートするスタッフのサポートをするのが私の役目かなと思っています。健康管理センターの中から気持ちゆとりが生まれるようにそして来室された方がリラックスできる空間が作れたら嬉しいです。

おっちょこちょいで涙もろく、少し天然(?)の私ですが、どうぞ宜しくお願い致します。

【事務員：川畑】

平成28年4月から矢巾健康管理センターに配属になりました川畑と申します。5,6月に学生・職員の健康診断があり初めてのこともあり私にできるのだろうか。不安でいっぱいでしたが、何とか無事に果たすことができホッとしています。

慣れない環境で新たな発見と勉強の日々です。積み重ねを大切に仕事をしていき、人とのつながりも大切に日々成長していけるよう頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



平成 28 年度 学生健康診断 結果

5月に実施した学生健康診断の受診状況は、未受診者が10名でした。本学の規程で受診することが義務付けられている健康診断です。また、疾病の早期発見と予防に役立てるために行うものですから、来年は全員が受診しましょう。

さて、健康診断の結果を6月下旬に通知しました。結果はいかがでしたか？

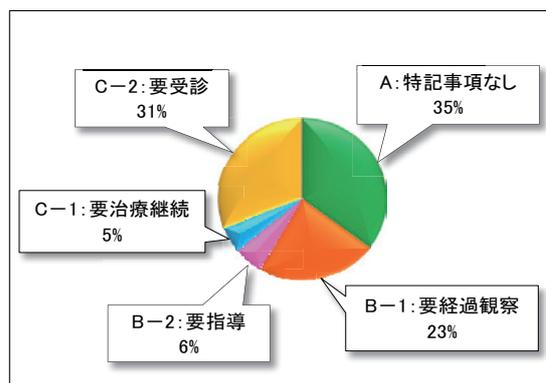
判定結果をみると、65%の学生が何らかの所見があったことがわかります。特に多かったのが、「視力」「血圧」です。健康管理センターでは、視力検査・血圧測定・尿検査が実施できますので、ぜひ活用してください。将来の医療人として、自分の体、健康に関心を持ちましょう。

平成 28 年度 <受診状況>

(平成 28 年 6 月 20 日現在)

	対象者	受診者	未受診者	受診率
医学部	802	796	6	99.3%
歯学部	369	369	0	100.0%
薬学部	914	911	3	99.7%
歯科技工学科	31	30	1	96.8%
歯科衛生学科	100	100	0	100.0%
看護短大(2,3年生を除く)	101	101	0	100.0%
合計	2317	2307	10	99.6%

平成 28 年度 <判定結果>



ストレスチェック 8月からスタート!

■ ストレス状況の気づきを促し、メンタルヘルス不調を未然に防ぐため!

労働安全衛生法が改正され、平成 27 年 12 月から労働者が 50 人以上のすべての事業所に対してストレスチェックを実施することが義務付けられました。

(ストレスチェックとは、心身のストレスに関する質問に答え、自分のストレス状態を調べる検査のことです)

本学におけるストレスチェック制度実施の流れ

- ◆ 対象者 : 事業場と雇用契約を結んでいる以下の職員
 1. 正規雇用の職員
 2. 1年以上雇用される見込みがあり、週の労働時間が正規雇用の4分の3以上の職員
- ◆ 実施頻度 : 毎年1回
- ◆ 実施方法 : Web上で実施

<全員>

1. ストレスチェックテストの実施
2. ストレス状況の評価・医師の面接指導の要否の判定
3. 本人からの面接指導の申出

<高ストレス者>

4. 医師による面接指導の実施
5. 就業上の措置の要否・内容について医師から意見聴取し実施

結核に対する正しい知識について



助教 長島 広相
内科学講座
呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野

世界の総人口の約 3 分の 1 は結核菌に感染している・・・

潜在性結核感染とは

「世界の総人口の約 3 分の 1 は結核菌に感染している・・・」にわかには信じがたい話ですが、しっかり WHO のホームページに「About one-third of the world's population has latent TB, which means people have been infected by TB bacteria but are not (yet) ill with the disease and cannot transmit the disease.」と記載されています。結核菌というものは我々のすぐ身近に存在するようです。

ご存知の方も多いと思いますが、結核菌に感染している状態で生涯に結核を発病する確率は 10 人に 1 人か 2 人といわれています。結核菌に「感染」はしているものの「発病」していない状態を「潜在性結核感染 (Latent Tuberculosis, Infection : LTBI)」といいます。我が国では 2007 年 6 月に改正された届出基準に LTBI が含まれるようになって広く知られるようになりました。国は LTBI を積極的に治療することが、結核を減少させるための一つの対策として考えています。以下の表に結核感染者が活動性結核を発病するリスク要因を示してあります。ご自身には該当しなくても、担当する患者さんで当てはまるケースはありませんか？長く担当していた患者さんがいつの間にか発病し、自分も感染してしまう・・・というケースも想定されますので、該当する患者さんを診療される場合には注意が必要かもしれません。

感染者 (結核菌が体内にいと考えられる) の活動性結核発病リスク要因

対象	発病リスク	勧告レベル	備考
HIV / AIDS	50~170	A	
臓器移植 (免疫抑制剤使用)	20~74	A	移植前のLTBIの治療が望ましい
珪肺	30	A	患者が高齢化しており注意必要
慢性腎不全によるHD	10~25	A	高齢者の場合には慎重の検討
最近の結核感染 (2年以内)	15	A	接触者検診の陽性者
胸部X線で線維性結節陰影 (未治療の陈旧性結核病変)	6~19	A	高齢者の場合には慎重に検討
生物学的製剤使用	4.0	A	発病リスクは薬剤により異なる
副腎ステロイド (経口)	2.8~7.7	B	用量が大きく、リスクが高い場合には検討
副腎ステロイド (吸入)	2.0	B	高用量の場合は発病リスクが高くなる
その他の免疫抑制薬	2~3	B	
コントロール不良のDM	1.5~3.6	B	コントロール良好であればリスクは高くない 一般的にはHbA1c 7以下
低体重	2~3	B	BMI < 20
喫煙	1.5~3	B	
胃切除	2~5	B	
医療従事者	3~4	C	最近 (2年以内) の感染が疑われれば実施

発病リスクはリスク因子のない人との相対危険度

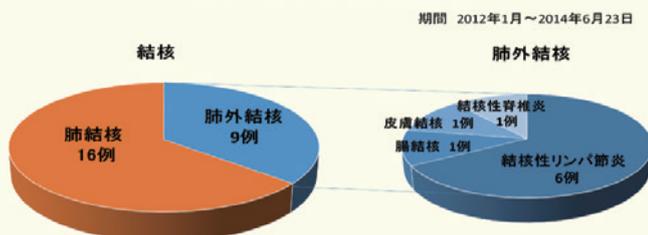
- A 積極的にLTBI治療の検討を行う
- B リスク因子が重複した場合に、LTBI治療の検討を行う
- C 直ちに治療の考慮は不要

(日本結核病学会予防委員会・治療委員会: 結核88: 504, 2013)

当院における結核患者の実態

当院で2012年1月から2014年6月まで保健所に届け出が出たケースは57例ありました。そのうちLTBIは32例でした。肺結核が16名、そのうち2名は呼吸器科以外に入院している状況でした。また肺外結核が9例認めました。当院のような診療科目が多い病院では肺外結核の割合が多くなるのかもしれませんが。

当院における結核患者内訳



結核予防会マスコット
「シールぼうや」

医療従事者と結核予防

本邦の医療従事者、特に看護職の結核罹患リスクは同年代の女性に対して3～4倍程度高いといわれております。医療従事者の結核発病のリスクを軽減させるための対策が重要です。医療機関において新規採用職員に対して、採用時点（ベースライン）の結核感染歴の有無を把握するために抗原特異的インターフェロン- γ 遊離検査（IGRA）の実施が推奨されています。IGRAの結果が陽性であった場合、2年以内に感染した可能性が高いと考えられる場合には潜在性結核感染症として治療を行うことが推奨されており、前述の表にも記載されております。

この2年以内というのは①感染から時間が経過した場合には発病リスクは低くなること、②新入職のような若年の世代における結核既感染率は低いことから陽性的中率は必ずしも高くないことに由来しており、事実ベースラインとして実施したIGRA検査で陽性であった医療従事者61名にLTBI治療を行わずに追跡したところ、1人の発病者もいないという結果でした。とはいえ2年以内に以前の職場や学生実習中に咳をしている患者さんと接点があったなどのところあたりがある場合はLTBI治療を前向きに考慮すべきでしょう。LTBI治療を受けない場合も、年1回程度の健康診断だけで結核発病が早期に発見されることはないので、医療従事者は仮に結核を発病した場合、患者さんや同僚に感染を拡大させる危険性の高い高危険群（デインジャーグループ）であるとの自覚のもと、こまめな検査を受けることが重要です。

今年の8月に、ストレスチェックを実施しました！

労働安全衛生法改正により、毎年1回、ストレスチェックを実施することが事業者に義務付けられました。

本学では、対象者2,894人のうち、受検者は2,190人（回答率75.7%）でした。ストレスチェックの一番の目的は、メンタルヘルス不調の未然防止のためにまずは自分のストレス状態を知ろう！というものです。今回、受検者の一部から自分で思っていたよりストレスが高かった、または低かった等の声が聞かれました。

このように、まずは自分のストレス状態を知り、セルフケアのきっかけにしていただければ幸いです。

セルフケアについてその方法は様々ですが、ここでは有効な方法として3つのRを挙げます。一つ目は、Rest（休養）です。ストレスを抱える人の中には、忙しさのあまり休養を疎かにしている人がいます。意識的に休養を取って心身を休めることを心掛けましょう。二つ目は、Recreation（娯楽）です。私たちの生活の楽しみと言えますが、趣味等として取り入れることができ、仕事のオン・オフを切り替えるうえでも有効ですので、取り入れてみましょう。三つ目は、Relax（リラックス/安らぎ・くつろぎ）です。心身の緊張を緩めるリラクゼーションが有効な方法です。健康管理センターで企画しているセミナーでも紹介しているので、興味のある方はぜひ参加してみてください。

また、ストレスからの影響を緩和する要因としてソーシャルサポートが挙げられます。ソーシャルサポートは、個人を取り巻く様々な人からの有形・無形の援助のことで、サポート資源を有することがストレス耐性の向上につながると言われています。職場では周囲のスタッフからサポートが得られる関係の構築と、その関係を維持していくことが重要です。仕事上のストレスからの影響をコントロールするうえで大事なポイントですので、今回のストレスチェックを機会に自身の状況を見直してみましょう。



記念館9階にパソコンを設置して実施しました！



健康フェス 2016 9月10日(土) ～健康管理センター担当ブース紹介～

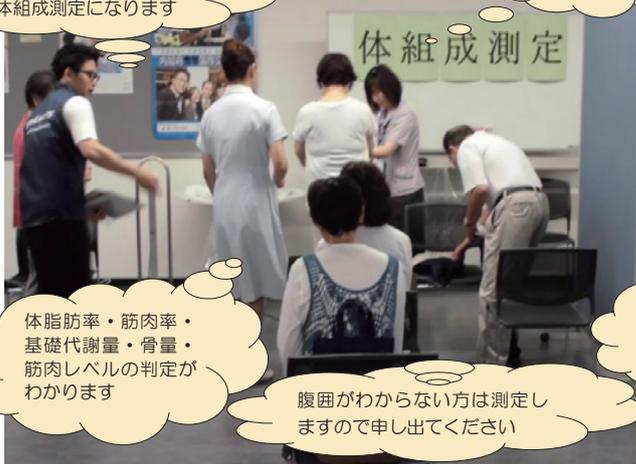
岩手医科大学創立120周年記念イベント「健康フェス2016」が9月10日(土)に矢巾キャンパスで開催されました。

健康管理センターでは、キャンパスモール内で血圧測定コーナーや健康コーナー(無料ヘルスチェック)で健康相談や体組成測定を担当しましたので、当日の様子をご紹介します。

体組成測定コーナー

体重・身長測定後に体組成測定になります

データを入力します



体脂肪率・筋肉率・基礎代謝量・骨量・筋肉レベルの判定がわかります

腹囲がわからない方は測定しますので申し出てください

整理券発行担当

希望者が多く途中から枚数を増加発行しました



ヘルスチェックコーナー 案内担当

詳細の見方は健康相談コーナーへどうぞ

骨密度測定はあちらです



血管年齢測定結果の見方がわかりませんが...

健康相談コーナー

日頃は学生や職員に対し健診結果の説明や事後指導などを実施しておりますが、今回は地域の方々にご利用いただき、リーフレットを活用し保健指導を行いました。

測定結果の見方を教えてください



私の血管年齢はどうですか？



私の肺年齢はどうですか？



骨密度結果の見方を教えてください



感染症に対する自分自身の免疫を知っていますか？

感染症予防の第一歩は、「自分自身の免疫を知ること」です。

B型肝炎やインフルエンザなど種々の感染症がありますが、今回は小児感染症（麻疹・水痘・風疹・流行性耳下腺炎）と結核（潜在性結核）についてお話しします。みなさんは、いつ検査をしたのか、その結果はどうだったのか知っていますか？本学の対応を掲載しますので、各自で確認してみましょう。入学時や入職時に検査した結果は、大切な基礎データとなります。感染症が発生した時や実習先・研修先の施設から検査結果を求められる場合がありますので、各自で結果を保管し自己管理に努めましょう。

なお、健康管理センターに提出している場合は、結果の写しを発行することが可能です。（但し、「健康診断個人票等交付申請書」にて申請が必要となります）



【学生：入学時に提出することになっています】

入学年度	小児感染症抗体価検査				結核(潜在性結核)検査		
	麻疹	水痘	風疹	流行性 耳下腺炎	ツベルクリン 反応検査	T-スポット 検査	QFT 検査
H23	●	●	●	●	●		
H24	●	●	●	●	●		
H25	●	●	●	●	●		
H26	●	●	●	●	●		
H27	●	●	●	●	○	○	○
H28	●	●	●	●	○	○	○

○印：いずれか1種類の検査を実施

【職員：健康管理センターで把握しているのは平成18年度以降です】

入職年度	小児感染症抗体価検査				結核(潜在性結核)検査	
	麻疹	水痘	風疹	流行性 耳下腺炎	ツベルクリン 反応検査	T-スポット 検査
H18					●	
H19					●	
H20	(H20の詳細はお問合せください)				●	
H21	●	●	●	●	●	
H22	●	●	●	●	●	
H23	●	●	●	●	●	
H24	●	●	●	●	●	
H25	●	●	●	●	●	
H26	●	●	●	●	●	
H27	●	●	●	●		●
H28	●	●	●	●		●

※小児感染症抗体価検査：入職時に提出（臨時職員は除く）

※結核（潜在性結核）検査：雇入時健康診断の際に実施

2) 掲示

28 健管第2号
平成28年9月12日

本学ではよいよ8月スタート！ ストレスチェック制度 説明会

労働安全衛生法により、ストレスチェックの実施が義務付けられました。ストレスチェック制度の趣旨に沿い、職員が安心して受検できるよう、管理職及び中間管理職の方は必ず一度、ご出席くださいますようお願いいたします。

6月22日(水) 15時～16時	<内丸> 歯学部講堂	産業医 弘瀬雅教 教授
6月28日(火) 15時～16時	<矢巾> 大堀記念講堂	産業医 弘瀬雅教 教授
6月30日(木) 11時～12時	<内丸> 歯学部講堂	産業医 近藤ゆき子 講師

※内容はすべて同じです。

ストレスチェック対象者

大学と雇用契約を結んでいる以下の職員が対象となります。

1. 正規雇用の職員
2. 1年以上雇用される見込みがあり、週の労働時間が正職員の4分の3以上の職員

岩手医科大学 健康管理センター
内丸(3816・3818) 矢巾(5019・5022)

28 健管第4号
平成29年3月30日

麻疹が流行しています

現在、関東・関西などを中心に麻疹が広がっています。幕張メッセ開催コンサートへの麻疹患者の来場や関西国際空港職員の発症などに関連し、各地で発症患者の増加が懸念されています。

- 麻疹(はしか)は感染力が非常に強く、時に肺炎や脳炎などの深刻な合併症を起こし、死亡する場合があります
- 感染経路は空気感染、飛沫感染、接触感染です
- 潜伏期は約10日
- 症状は発熱、咳、鼻水など風邪症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します

★症状出現時は早めに受診してください！

★有効な予防法はワクチン接種です

★今までに2回接種していない方は接種することをお勧めします

内丸健康管理センター (3816・3818)
矢巾健康管理センター (5022・5019)

28 健管第3号
平成28年11月10日

インフルエンザ発生！

学内でインフルエンザが発生しました。下記に留意してください。

- 人ごみではマスクを装着
- うがい・手洗いの励行
- バランスのよい食事と十分な睡眠を

インフルエンザと診断されたら・・・

学生は、

- ①発症後5日間かつ解熱後2日間は登校できません。
- ②各教務課に電話で報告する。
(教務課へ欠席・追試験願いを提出する場合は診断書が必要です。)

職員は、
感染対策の観点から解熱後3日以上かつ発症後5日以上経過から就業可。

健康管理センター 内丸 (3816・3818)
矢巾 (5019・5022)

28 健管第4号
平成29年3月30日

麻疹が流行しています

現在、山形県内及び近隣県において麻疹が発生しています。パリ島に滞在し帰国後、3月2日横浜市から新幹線で山形へ来県しその後感染が広がっております。各地で発症患者の増加が懸念されています。

- 麻疹(はしか)は感染力が非常に強く、時に肺炎や脳炎などの深刻な合併症を起こし重症化する場合もあります
- 感染経路は空気感染、飛沫感染、接触感染です
- 潜伏期は約10日
- 症状は発熱、咳、鼻水など風邪症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します

★症状出現時は早めに受診してください！

★有効な予防法はワクチン接種です

★今までに2回接種していない方は接種することをお勧めします

内丸健康管理センター (3816・3818)
矢巾健康管理センター (5022・5019)

VI 平成 28 年度学会・研修会

VI 平成 28 年度学会・研修会

1. 学会・研修会等参加状況

開催月日	件名	出席者名	会場
5/21～ 5/23	日本学生相談学会第 34 回大会・ ワークショップ	畠山 秀樹	成蹊大学 アキバホール
7/14～ 7/15	第 54 回全国大学保健管理研究集会 東北地方研究集会	名郷根 郁子 赤井 純子 藤井 ヌイ子	盛岡市メトロポリタン ニューウイング
9/5～ 9/7	日本心理臨床学会第 35 回大会	氏家 真梨子	パシフィコ横浜
11/24～ 11/26	第 54 回全国学生相談研修会プログラム	村山 美保	東京国際フォーラム
2/11	禁煙アドバイザーセミナー	藤井 ヌイ子	東京都 東京大学薬学研究棟
2/22	平成 28 年度（公財）岩手県対がん協会 検診担当者研修会	赤井 純子 藤井 ヌイ子	盛岡市ホテルメトロポリタン盛岡本館

岩手医科大学健康管理センター年報

第 3 号

平成 30 年 3 月 12 日 発 行

発行編集者／岩手医科大学健康管理センター

〒020-0805

岩手県盛岡市内丸 19 番 1 号

TEL (019) 651-5111

印 刷／河北印刷株式会社

醫藥